Pioneer sound.vision.soul

デジタルハイビジョンプラズマテレビ

取扱説明書

PDP-505HDL
PDP-505HDS
PDP-435HDL
PDP-435HDS

インターネットによる登録のお願い
http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

「据付工事」について

本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

デジタルハイビジョンプラズマテレビ
Pioneer

**このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。**

もくじ

はじめに

準備する

ふだんの使いかた

●本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
●特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
●なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

映像と音声を調整する

使いこなす

いろいろな機器をつないで楽しむ

故障かな？と思ったら

そ の 他

CONTENTS

付属品の確認

設置や接続の前に、付属品をご確認ください。

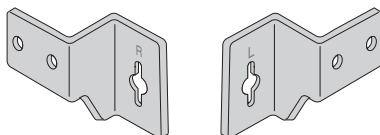
スピーカーに付属

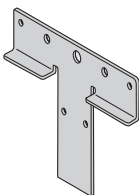
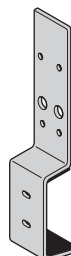
■ PDP-505HDS/PDP-435HDS

●スピーカーケーブル× 2
（➡26 ページ）

●取付ネジ（M5）× 12
（➡23・24 ページ）

ディスプレイの横にスピーカーを取り付ける場合

●スピーカーブラケット（➡23 ページ）
横側取付用（右）× 2
横側取付用（左）× 2

ディスプレイの下にスピーカーを取り付ける場合

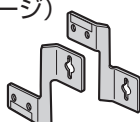
●スピーカーブラケット
下側取付中央用× 1
（➡23・24 ページ）

●スピーカーブラケット
下側取付左右用× 2
（➡23 ページ）

●リベット× 2
（➡23 ページ）

■ PDP-505HDL/PDP-435HDL

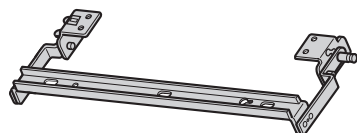
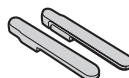
●スピーカーケーブル× 2
（➡26 ページ）

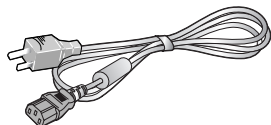
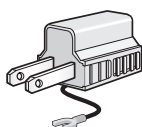
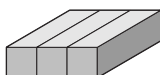
●取付ネジ（M5）× 12
（➡24 ページ）

スピーカーの角度を固定して取り付ける場合

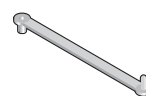
●スピーカーブラケット
ダイレクト取付用（右）× 2
ダイレクト取付用（左）× 2
（➡24 ページ）

●パッキン× 2
（➡24 ページ）

スピーカーの角度を調整できるように取り付ける場合

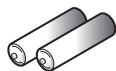
●スピーカーブラケット
ワイド取付用（右）× 1
ワイド取付用（左）× 1
（➡25 ページ）

●カバー
上側用× 2
下側用× 2
（➡25 ページ）

ディスプレイに付属

●電源コード（ノイズフィルター付き）×1
（2.0m、3 ピン）
（➡26 ページ）

● AC 変換プラグ×1
（➡ 26 ページ）

●スピーカークッション×1
（➡ 23 ページ）

●ワイピングクロス×1
（前面パネル部を拭く布）
（➡11 ページ）

●ビーズバンド×3
（➡27 ページ）

●スピードクランプ×3
（➡ 27 ページ）

●保証書

メディアレシーバーに付属

●リモコン×1
（➡18ページ）

●単3乾電池×2
（➡20ページ）

●システムケーブル(3m)×1
（➡26ページ）

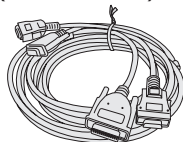
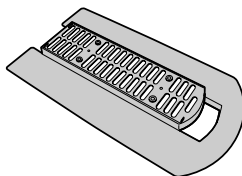
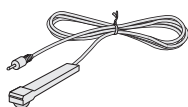
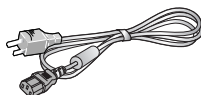
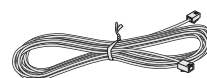
●Irシステムケーブル（1.8m）×1
（➡38ページ）

●簡単リモコン×1
（➡20ページ）

●単3乾電池×2
（➡20ページ）

●縦置用スタンド×1
（➡22ページ）

●電源コード(ノイズフィルター付き)×1
（2.0m、3 ピン）
（➡26ページ）

●モジュラー分配器×1
（➡32･33ページ）

●AC変換プラグ×1
（➡26ページ）

●縦置用スタンド固定用ネジ×4
（➡22ページ）

●ビスホールキャップ×4
（➡22ページ）

●モジュラーケーブル（10m）×1
（➡32･33ページ）

● B-CAS カード
●ユーザー登録用紙

ご注意

B-CAS カードのパッケージを開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

●取扱説明書（本書）
●基本的な使い方と故障と思われがちな事例
●安心サービス保証プログラムのご案内
●安心サービス保証プログラム申込書
●ご相談窓口・修理窓口のご案内

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠警告

異常時の処置	万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。	プラグを抜く
	万一内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
	画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。	
	万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
設置	本機には設置用のスタンドが付属していません。設置の際は、別売の当社製プラズマテレビ専用のスタンドや壁掛け金具などをご使用ください。本機は大型で質量があるので、ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。また、本機には転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。開梱や持ち運びは２人以上で行ってください。	注意
	ディスプレイ部を移動する場合は、「取っ手」を使用し必ず２人で作業してください。片側の「取っ手」のみでの移動はしないでください。	
	電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きになったりしないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うと、気づかずに重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。	禁止

区分	内容	表示
設置	ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しないでください。本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカー、または工事店にお問い合わせください。	禁止
使用環境	本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。	禁止
使用環境	表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。	100V以外禁止
使用方法	本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。	禁止
使用方法	本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、落下して中に入った場合、火災・感電の原因となります。	禁止
使用方法	本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。	禁止
使用方法	雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。	接触禁止
使用方法	本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。	分解禁止
使用方法	電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	ほこり除去
使用方法	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。	禁止
使用方法	ディスプレイの前面パネルに、たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。	（同上）

⚠ 注意

区分	内容	表示
設置	濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。	禁止
設置	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。	禁止
設置	本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	（同上）

安全上のご注意（つづき）

設置

放熱を良くするため、他の機器や壁などから以下の間隔を取って設置してください。
ディスプレイ：左右背面 10cm 以上、上 50cm 以上
メディアレシーバー：上左右 5cm 以上、背面 10cm 以上
また、次のような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
●押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
●じゅうたんやふとんの上に置く。
●テーブルクロスなどをかける。
●横倒しにする（メディアレシーバーの縦置き設置を除く）。
●逆さまにする。

禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
● 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
● BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナは強風を受けやすいので、しっかりと取り付けてください。

注意

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

ディスプレイを直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面保護パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。

禁止

移動させる場合は本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具をはずしたことを確認してください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

本機のディスプレイは質量が 33.5kg(PDP-505HDL/PDP-505HDS)・27.0kg(PDP-435HDL/PDP-435HDS)あり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は 2 人以上で取っ手を持って行ってください。

注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

プラグを抜く

ディスプレイはガラス部品を使用しています。万一部品が割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取り扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。

注意

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

ディスプレイ背面にある通気孔は、月に1回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。また、通気孔のお手入れは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

注意

設置	地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところにディスプレイを固定してください。	注意
	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。	確実に差す
	電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。	禁止
	オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、本機の電源を切った後、電源プラグをコンセントから抜いて接続してください。	プラグを抜く
使用環境	本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。	注意
	周囲温度は０～40℃の範囲内でご使用ください。	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	プラグを抜く
使用方法	長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	禁止
	同じ絵柄やパソコン・メモリーカードなどの静止画像、画面サイズ４：３や、上下や左右に黒帯が表示される映像を長時間連続で表示しないでください。画像が焼きつき、残像として残る場合があります。	
	本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。	禁止
	指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。	
	電池をリモコン内にセットする場合、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。	注意
	乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。	禁止
	電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。	
	長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。	電池を取り出す
	ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。	注意

使用上のご注意（守っていただきたいこと）

⚠注意

お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

プラズマテレビの保護機能について

- メモリーカード画像やパソコン画像などの動きのない映像を長い時間表示すると、画面がやや暗くなります。これはプラズマテレビの保護機能が、動きの少ない映像を検知すると自動的に明るさを調整して画面を保護するためで、故障ではありません。
  この機能は、動きの少ない映像を約3分間検知すると働きます。

プラズマテレビの画素欠陥について

- プラズマテレビは、微細な画素の集合体で、非常に精密な技術で作られていますが、ごく一部の画素が光らなかったり、常時点灯する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

画面の焼き付きと残像

- 静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示すると、画面に残像が残る場合があります。
  残像には次の2つの原因があります。

1. **電気負荷の残留による残像**
   輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像がでることがあります。これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。
2. **焼き付きによる残像**
   プラズマテレビに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像ができることがあります。この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。
   また、画面サイズ4：3や上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり短時間でも毎日くり返し表示すると同様の焼き付きによる残像が残ります。
   著作者の権利を侵害する恐れがある場合(→85ページ・「ご注意」)を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えて(→85ページ)お楽しみいただくことをお勧めします。また、「省エネ機能を使う」の「消費電力」の設定(→83ページ)により、焼き付きの発生を軽減することができます。

赤外線について

プラズマテレビは原理上赤外線を出しています。使用状態によっては周囲の機器のリモコンが効きにくくなったり赤外線を使用しているワイヤレスヘッドホンにノイズが入る場合があります。その場合は影響を受けないような場所に機器の受光部を設置してください。

電磁波妨害について

本機は公的規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「AMラジオ」や「パソコン」、「ビデオ」などの機器を近づけると妨害を与えることがあります。このときは機器を影響のない所まで本機から離してください。

ファンモーターの音について

メディアレシーバー周辺の温度が高くなると、冷却用のファンモーターの回転数が上がります。そのため、ファンモーターの音が大きく感じられる場合があります。

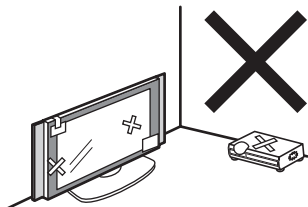
パネルの音について

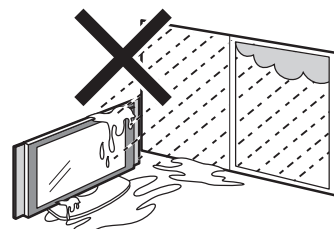
通電時にパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

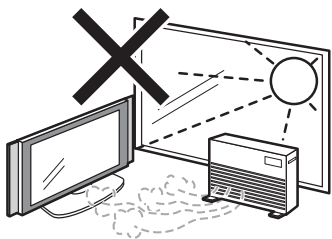
プラズマテレビの温度について

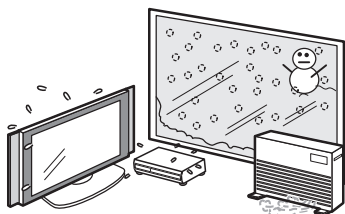
本機を長時間使用すると、パネルの表面や背面の上部が熱くなることがありますが、故障ではありません。

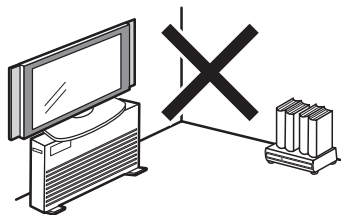
ステッカーやテープなどを貼らないでください

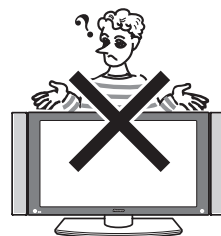
●キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

水に濡らさないでください

●雨天・降雪時などにご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

●窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
●直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

結露（つゆつき）について

●本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

設置について

●発熱する機器の上には本機を置かないでください。
●本機の上にはものを置かないでください。
●本機の上や後ろのスペースが十分とれる場所に設置してください。

国外では使用できません
This product cannot be used in any other countries.

●この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

前面パネル部のお手入れのしかた

●ディスプレイの前面パネル部の表面は、付属のワイピングクロスまたは他の柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
●前面パネル部の表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面を伝って、内部に侵入し故障の原因になることがあります。

スピーカーについて

（PDP-505HDL/PDP-435HDL）
●スピーカー前面のグリルネットに力を加えたり、指などを差し込んだりしないでください。ネットを破損したりスピーカーユニットを傷めることがあります。
（PDP-505HDS/PDP-435HDS）
●スピーカーユニット前面のパンチングシートに力を加えたり、指などを差し込んだりしないでください。シートを破損したりスピーカーユニットを傷めることがあります。
●スピーカーには自動保護機能が内蔵されています。自動保護機能は過大入力からスピーカーを守る機能で、スピーカーに過大入力が加わると自動的に高音の出力を停止します。保護機能が働いた場合は、本機の音量を下げて使用してください。5～10秒ほどで自動的に復帰します。

キャビネットのお手入れのしかた

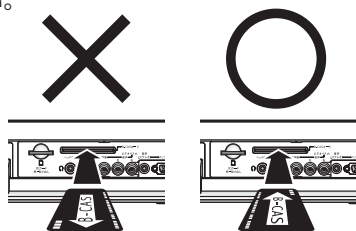
●キャビネットにはプラスチックが多く使われているのでベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。
●殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●キャビネットの表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本体の表面を伝って、内部に侵入し故障の原因になることがあります。

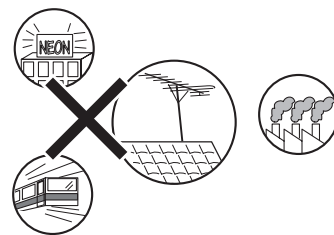
使用上のご注意（守っていただきたいこと）（つづき）

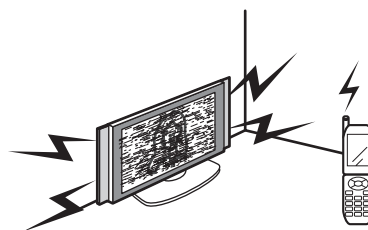
メモリーカードの使用上の注意

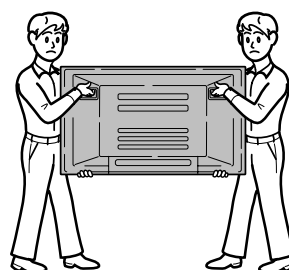
- メモリーカード使用中（「メモリーカード」画面での操作中）は電源を切ったり、カードを抜かないでください。データが破壊されることがあります。必ず「メモリーカード」画面を消してから抜いてください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部を手や金属で触らないでください。
- 貼られているラベルは、はがさないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿度の高いところやホコリが多いところには置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい環境で使用・保管しないでください。
- メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

B-CASカードは必要なとき以外は抜かないでください

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。

アンテナについて

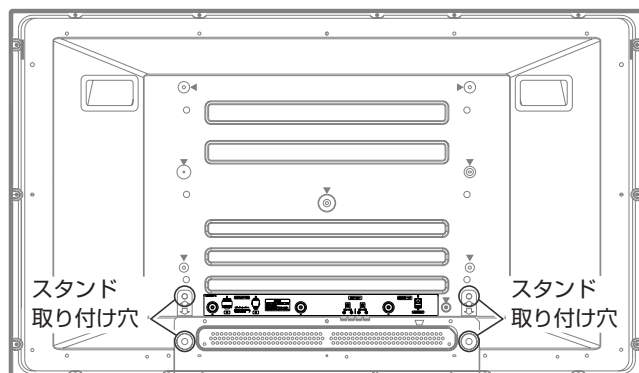
- 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナ線には、必ずBS・110度CSデジタル放送に対応した衛星放送用同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

背面の「取っ手」について

- ディスプレイ部を移動する場合は、必ず二人で作業を行い、背面の「取っ手」を使用してください（片側の「取っ手」のみでの移動は行わないでください）。右図のように使用してください。

設置時の注意事項

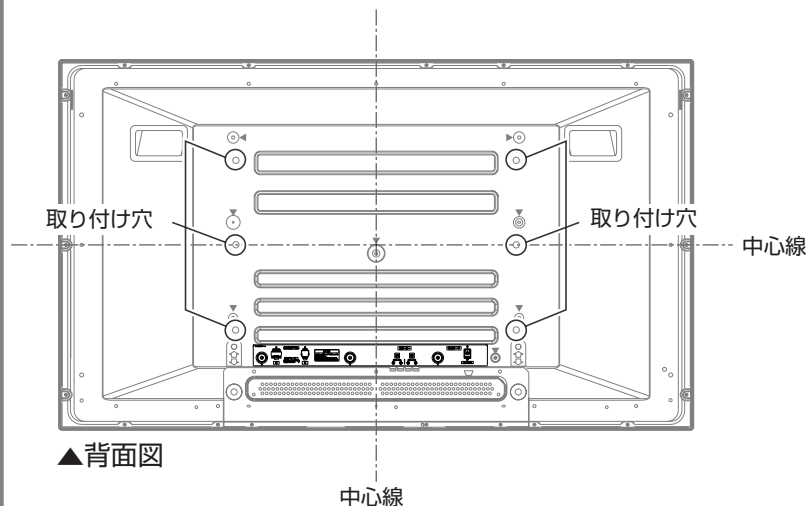
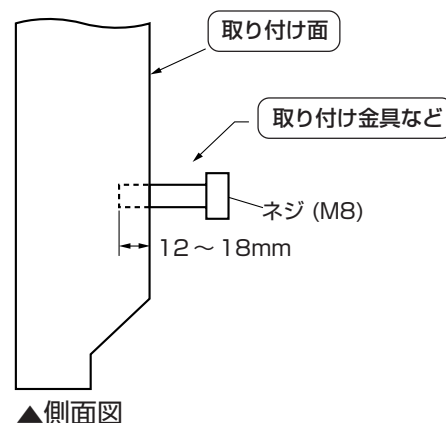
ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

■当社別売のスタンドなどを使って設置するとき

設置は販売店などに依頼してください。
スタンドで使う取り付け穴（4 カ所）は下図のとおりです。必ず付属のネジをお使いください。
詳細はスタンドなどの取扱説明書をお読みください。

▲背面図

■当社別売の金具などを使って設置するとき

販売店にご相談ください。
使うことのできる取り付け穴（6 カ所）は下図のとおりです。

▲背面図

▲側面図

⚠ 注意

- 必ずディスプレイの中心線に対して上下左右対称な 4 カ所以上をお使いください。
- ネジは M8 を使用し、本機の取り付け面より本機内に 12 ～ 18 mm入るものをお使いください。（背面図、側面図参照）
- 背面に開いている通風孔はふさがないようにしてください。
- 本機はガラスを使っていますので、必ず歪みのない面に取り付けてください。
- 上記の指定以外のネジ穴は指定製品専用です。指定製品以外の固定にはご使用にならないでください。
- スピーカーを取り付けたままスタンドから外したり、スタンドに取り付けたりしないでください。

ご注意

- 当社製品以外の部品による事故損傷については、当社は一切責任を負いません。
- 取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。
- 本機には設置用のスタンドは付属していません。
  設置の際は、別売のテーブルトップスタンド（PDK-TS05）や壁掛け金具をご使用ください。

設置時の注意事項（つづき）

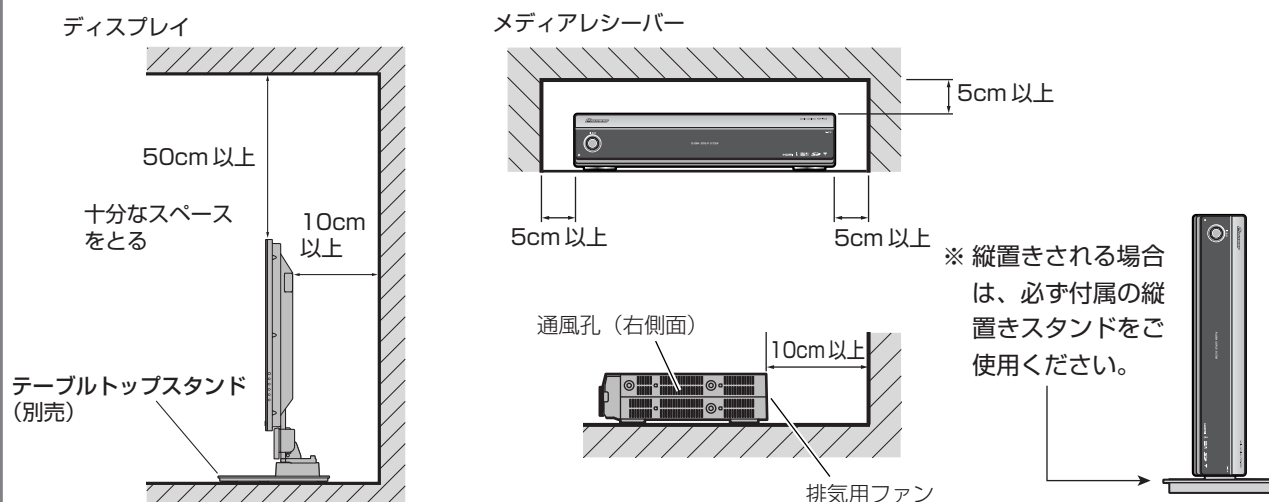
■設置スペースについて

ディスプレイ

50cm以上

十分なスペースをとる

10cm以上

テーブルトップスタンド（別売）

⚠ 注意

- メディアレシーバーの上には、ビデオデッキなどを載せないでください。
- ディスプレイの背面部・天面部、メディアレシーバーの背面部・側面部は、十分なスペースをとって設置してください。
- メディアレシーバー側面の通風孔および背面の排気用ファンはふさがないでください。
- メディアレシーバーをオーディオラックなどに設置するときは、放熱のため後部が開放されているものを使用するなど、通風を妨げないようにしてください。

■壁掛け設置する際の注意事項

1. 設置場所について
   - 人が容易にぶら下がったり、寄りかかったりできる場所への設置はできるだけしないでください。
   - 屋外や温泉など湿気の多い場所、水辺の近くには設置しないでください。
   - 振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。
   - 壁の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、工事専門業者または販売店にご相談ください。
2. **異常や不具合が発見された場合には、すみやかに販売店または工事専門業者に修理を依頼してください。**
3. **壁掛けの設置金具や壁面の取り付け部など、目につかない所が破損し、本機が落下する危険が生じる恐れがありますので、本機を壁掛け設置する際および点検修理時や内装工事の時などに、必ず工事専門業者または販売店に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。**
4. **本機を壁掛け設置して長期間使用されると、環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。**

●壁掛け設置されたお客様へ

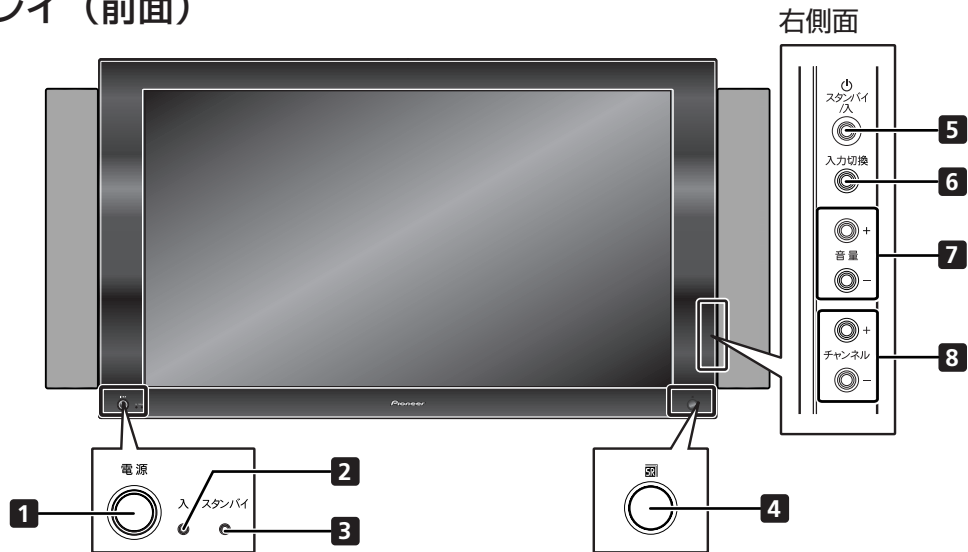
当社製の壁掛けユニットは、工事専門業者により安全な設置・据え付けが行われることを前提として発売されています。壁掛け設置をされているお客様は以下のことをお守りください。

- **壁掛け設置されているプラズマテレビ(本機)には、ぶら下がったり力を加えたりしないでください。**
- **壁掛け設置されているプラズマテレビ(本機)や壁掛けユニットには、物をぶらさげたりしないでください。**
- **地震が起きた場合には、壁掛け設置されているプラズマテレビ(本機)や壁掛けユニットの落下・転倒など万一の場合に備え、本機や壁掛けユニットから離れてください。**
- **壁掛け設置の際には、地震などの災害や万一の場合に備え、二重の落下防止策(チェーンなどでの固定)を、工事専門業者にご依頼ください。**

⚠ 注意

- 壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。

各部の名前

■ディスプレイ（前面）

1 **電源ボタン（➡74 ページ）**
ディスプレイの主電源ボタンです。
電源を「入（またはスタンバイ）」「切」します。

2 **入インジケーター（緑）（➡74 ページ）**
システムが電源「入」のとき、緑色で点灯します。

3 **スタンバイインジケーター（赤）（➡74ページ）**
システムが電源「スタンバイ」のとき、赤色で点灯します。

4 **リモコン受光部（➡19・74 ページ）**
リモコン信号を受信します。

5 **⏻ スタンバイ／入ボタン（➡74 ページ）**
電源を入 / スタンバイ（待機状態）します。

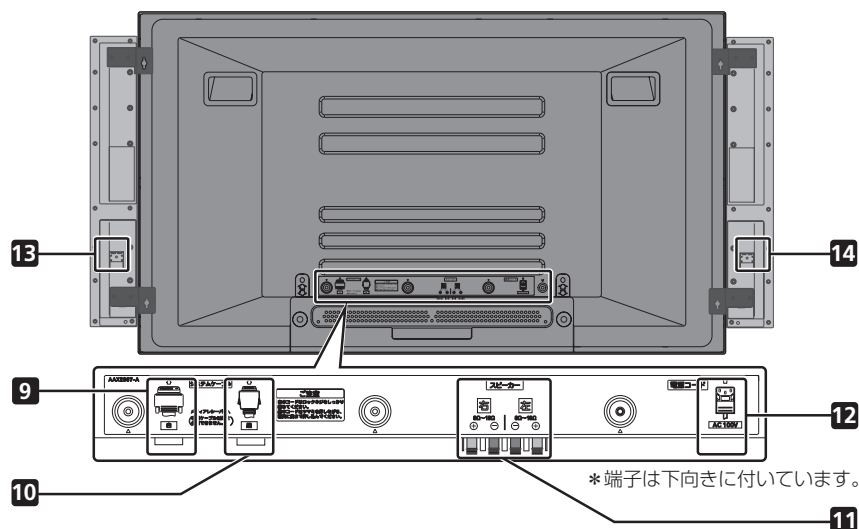
6 **入力切換ボタン（➡82 ページ）**
受信する放送や入力を切り換えます。

7 **音量（＋ / －）ボタン（➡75 ページ）**
お好みの音量に調整します。

8 **チャンネル（＋ / －）ボタン（➡75 ページ）**
見たい放送のチャンネルを順送りで選局します。

ご注意

- PDP-505HDL/435HDLでダイレクト取付した場合およびワイド取付で内向きに角度調整した場合には、右側面の操作ボタンが押せなくなります。その場合はリモコンで操作してください。

■ディスプレイ（背面）

9 **システムケーブル（白）接続端子（➡26ページ）**
メディアレシーバーと接続します。

10 **システムケーブル（黒）接続端子（➡26ページ）**
メディアレシーバーと接続します。

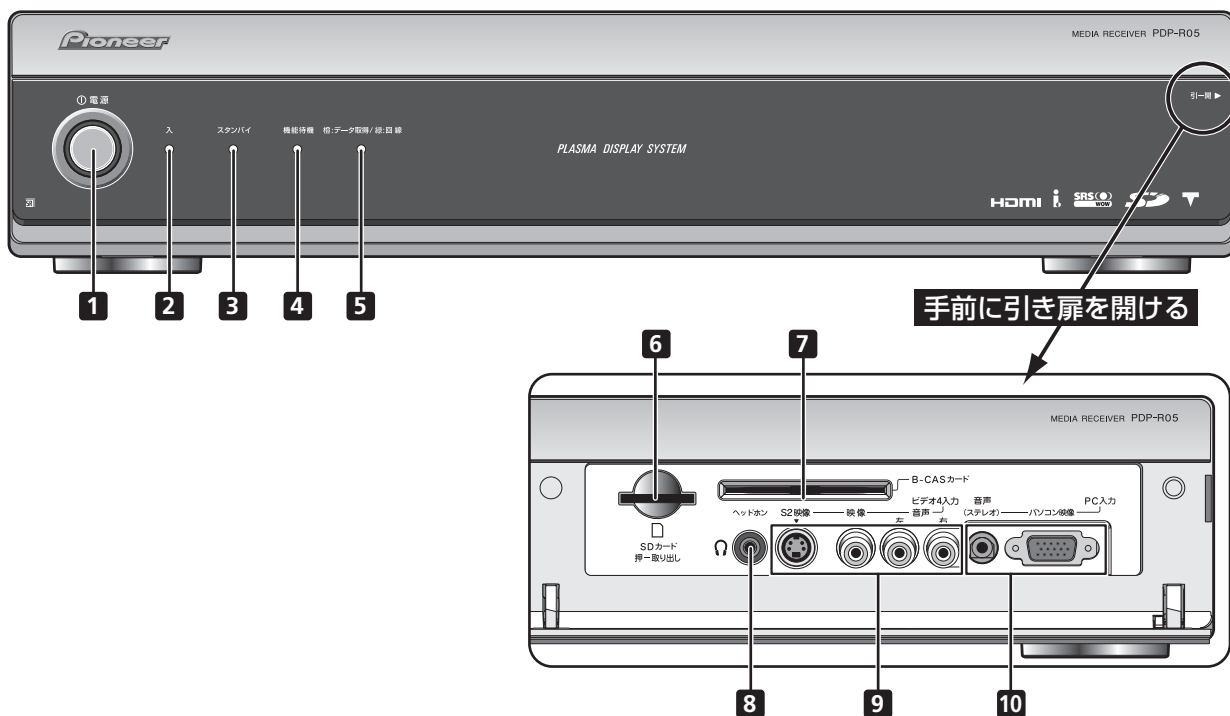
11 **スピーカー（右／左）接続端子（➡26 ページ）**
スピーカーと接続します。

12 **電源コード接続端子（➡26 ページ）**
電源コードを接続します。

13 **右スピーカー接続端子（➡26 ページ）**
右スピーカーケーブルを接続します。

14 **左スピーカー接続端子（➡26 ページ）**
左スピーカーケーブルを接続します。

各部の名前（つづき）

■メディアレシーバー（前面）

1 電源ボタン（➡74 ページ）
メディアレシーバーの主電源ボタンです。
電源を「入（またはスタンバイ）」「切」します。

2 入インジケーター（緑）（➡74 ページ）
システムが電源「入」のとき、緑色で点灯します。

3 スタンバイインジケーター（赤）（➡74ページ）
システムが電源「スタンバイ」のとき、赤色で点灯します。

4 機能待機インジケーター（橙）
i.LINK スタンバイ、予約実行中のとき、橙色で点灯します。

5 データ取得インジケーター（橙）／回線インジケーター（緑）（➡32 ページ）
放送局から番組表や情報を放送電波を通じて受信しているとき、橙色で点灯します。また、本機が電話回線を使用すると、緑色で点灯します。

6 SD カード挿入口（➡125 ページ）
デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどで撮影した画像データを見ることができます。またホームページ上のデータを保存、表示することができます。（本機ではSD カードにテレビの映像や音声を記録することはできません。）

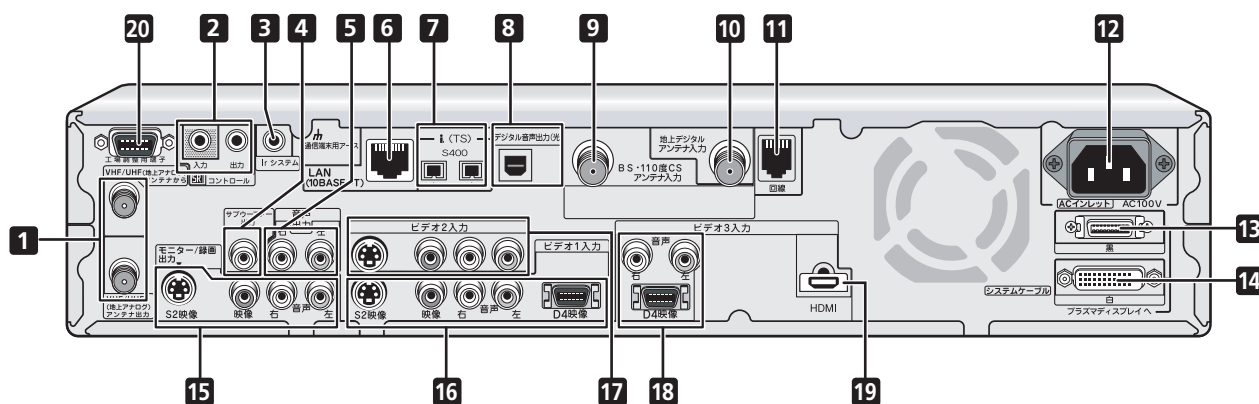
7 B-CAS カード挿入口（➡41 ページ）
B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に挿入したままお使いください。
2004 年４月からデジタル放送の著作権保護のため、コピー制御の仕組みが導入されています。B-CAS カードを常時挿入していないとデジタル放送が視聴できません。

8 ヘッドホン出力端子
ヘッドホン（16 ～ 32 Ω推奨）を接続します。ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音声が出なくなります。

9 ビデオ４入力端子（S2 映像・映像・音声）（➡82 ページ）
前面に配置されているビデオ入力端子です。ビデオカメラなどの映像出力と音声出力に接続します。

10 PC 入力端子（音声・パソコン映像）（➡122 ページ）
パソコンの映像出力と音声出力に接続します。

ご注意
- ヘッドホンをご使用になる場合は、耳をあまり刺激しないような適度な音量でお楽しみください。

■メディアレシーバー（背面）

1 **VHF/UHF （地上アナログ）アンテナ（➡28 ページ）**
地上アナログ放送受信用アンテナを接続します。

2 **コントロール（入力／出力）端子（➡40ページ）**
SR マークの付いた当社製 AV アンプなどを接続します。

3 **Ir システム端子（➡38 ページ）**
Ir システムケーブルを接続します。

4 **サブウーファー出力端子（➡39 ページ）**
パワードサブウーファーの音声入力端子と接続します。

5 **音声出力端子（➡39 ページ）**
AV アンプなどの音声入力端子と接続します。

6 **LAN（10BASE-T）端子（➡33 ページ）**
ハブやブロードバンドルーターなどの10BASE-T端子または 10BASE-T/100BASE-TX 共用端子と接続します。

7 **i.(TS）端子（➡36 ページ）**
i.LINK ケーブルで i.LINK 対応機器と接続します。S400 は最大データ転送速度を表しており、本機は最大で約 400Mbps のデータ転送が行えます。

8 **デジタル音声出力（光）端子（➡39 ページ）**
AVアンプなどのデジタル音声入力（光）端子と接続します。

9 **BS・110 度 CS アンテナ入力（➡29 ページ）**
BS・110度CS デジタル放送受信用アンテナを接続します。

10 **地上デジタルアンテナ入力（➡28 ページ）**
地上デジタル放送受信用アンテナを接続します。

11 **電話回線端子（➡32 ページ）**
電話回線を接続します。

12 **AC インレット端子（➡26 ページ）**
付属の電源コードを接続します。

13 **システムケーブル（黒）接続端子（➡26ページ）**
プラズマディスプレイと接続します。

14 **システムケーブル（白）接続端子（➡26ページ）**
プラズマディスプレイと接続します。

15 **モニター / 録画出力端子（S2 映像・映像・音声）（➡35 ページ）**
AV アンプや DVD レコーダーなどの入力端子と接続します。

16 **ビデオ 1 入力端子（S2 映像・映像・音声・D4 映像）（➡35 ページ）**
DVD レコーダーなどの出力端子と接続します。またD端子出力のある機器は、D端子ケーブルで接続できます。

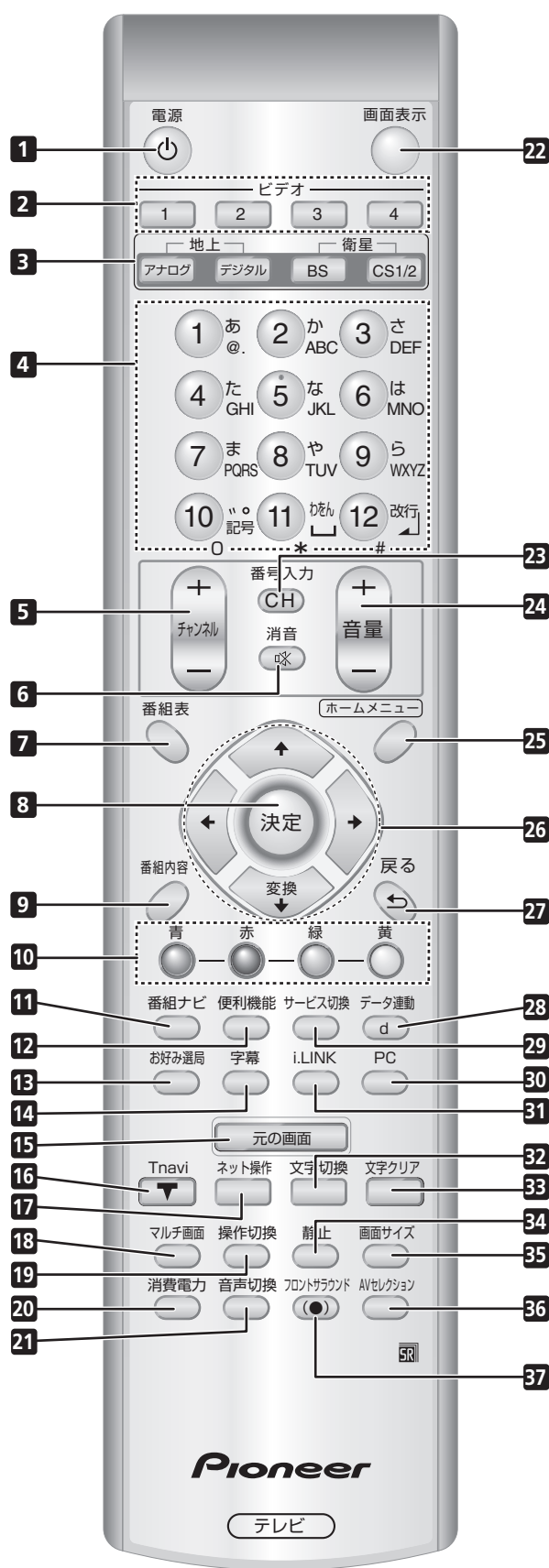
17 **ビデオ2入力端子（S2映像・映像・音声）（➡35 ページ）**
ビデオデッキなどの出力端子と接続します。

18 **ビデオ3 入力端子（音声・D4映像）（➡36ページ）**
DVD プレーヤーなどの出力端子と接続します。

19 **HDMI 端子（ビデオ 3）（➡39 ページ）**
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）対応DVDプレーヤーなどのHDMI端子と接続します。

20 **工場調整用端子**
何も接続しないでください。

各部の名前（つづき）

■リモコン

1　電源（➡74ページ）
電源を入／スタンバイ（待機状態）します。

2　ビデオ１～４（➡82ページ）
外部入力に切り換えます。

3　放送切換ボタン（➡74ページ）
地上アナログ放送、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送（CS1、CS2）を切り換えます。

4　チャンネル（➡74ページ）
見たい放送のチャンネルを一発選局します。

5　チャンネル（＋／－）（➡75ページ）
見たい放送のチャンネルを順送りで選局します。

6　消音（➡75ページ）
音を一時的に消します。

7　番組表（➡76ページ）
デジタル放送の電子番組表の表示を入／切します。

8　決定　（➡21ページ）
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

9　番組内容（➡78ページ）
視聴中のデジタル放送の番組について詳細な情報を表示します。

10 カラーボタン（青／赤／緑／黄）（➡77ページ）
デジタル放送の電子番組表やデータ番組の操作などに使います。

11 番組ナビ（➡98・107ページ）
デジタル放送専用のいろいろな操作や設定をまとめたメニューを表示します。

12 便利機能（➡89ページ）
視聴中のデジタル放送に合わせた便利な機能を表示します。

13 お好み選局（➡51・75ページ）
デジタル放送視聴中に、お好み選局の画面を表示します。

14 字幕（➡100ページ）
デジタル放送で字幕があるときに表示の設定を選びます。

15 元の画面
マルチ画面、静止画面、電子番組表やメニュー画面などを終了し、テレビ放送やビデオ入力の画面に戻ります。

16 Tnavi（➡115ページ）
Tナビ（インターネットを利用した情報サービス）の画面を表示します。Tナビ機能を使用するときは、ブロードバンド環境（→33ページ）が必要になります。

17 ネット操作（➡116ページ）
ホームページ表示中に便利な操作をまとめたメニューを表示します。

18 マルチ画面（➡87ページ）
２画面表示やPinPなどのマルチ画面表示にします。

19 操作切換（➡87 ページ）
マルチ画面表示のとき、操作できる画面を切り換えます。

20 消費電力（➡83 ページ）
節電しながらテレビを見るときに使います。

21 音声切換（➡79 ページ）
複数の音声がある番組を見ているときに、他の音声に切り換えることができます。また二重音声の切り換えもできます。

22 画面表示（➡78 ページ）
番組タイトルやチャンネル番号など現在の状態を確認するときに使います。

23 CH 番号入力（➡75 ページ）
チャンネル番号を直接入力してデジタル放送を選局するときに使います。

24 音量（＋／－）（➡75 ページ）
お好みの音量に調整します。

25 ホームメニュー（➡21 ページ）
本機で行ういろいろな設定の基本となるメニューを表示します。ホームメニューを使うと、ほとんどの設定を行うことができます。

26 カーソル（↑／↓／←／→）（➡21 ページ）
項目を選びます。

27 戻る
操作を誤ったときや、やり直したいときに1つ前の操作に戻ります。

28 d データ連動（➡80 ページ）
デジタル放送のテレビ番組やラジオ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

29 サービス切換（➡75 ページ）
デジタル放送のテレビ番組、ラジオ番組、独立データ番組を選びます。

30 PC（➡122 ページ）
パソコン入力に切り換えます。

31 i.LINK（➡114 ページ）
i.LINK 機器を操作するときに使います。

32 文字切換（➡119 ページ）
文字の入力モードを切り換えます。

33 文字クリア（➡120 ページ）
入力した文字を消します。

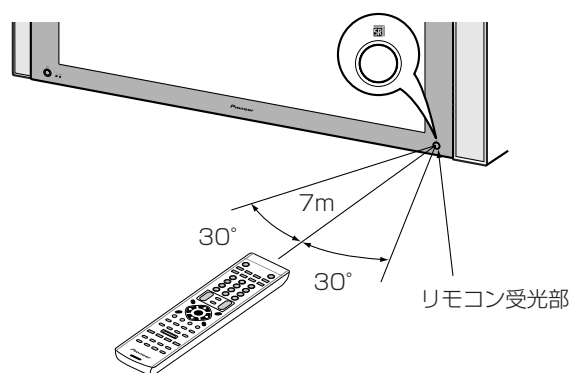
34 静止（➡88 ページ）
視聴中の映像を2画面にして、静止画と動画で表示します。

35 画面サイズ（➡85 ページ）
お好みの画面サイズを選びます。

36 AV セレクション（➡90 ページ）
番組やソフトの内容に合わせ、お好みの画質・音質設定を選びます。

37 フロントサラウンド（➡96 ページ）
番組やソフトの内容に合わせ、最適な音場の設定を選びます。

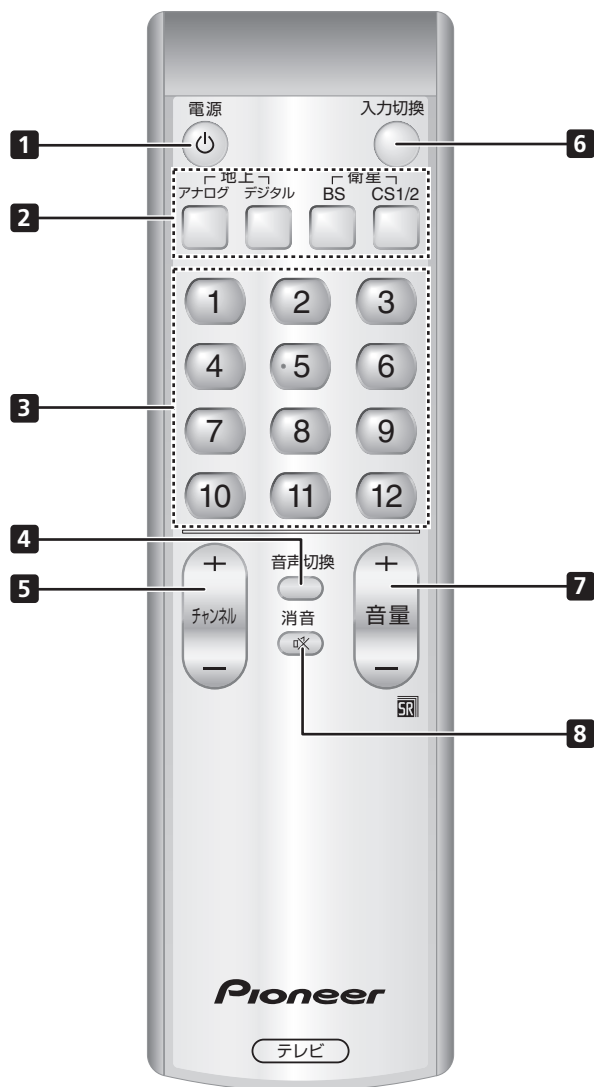
●リモコンで操作できる範囲

リモコンは、ディスプレイ前面右下の受光部（SR）に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から 7m、左右に 30 度以内です。

・リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
・電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
・本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオなどの赤外線リモコンを使って操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。
・設置環境によっては、プラズマテレビから放出される赤外線の影響によって、本機がリモコン操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。画面から放出される赤外線の強さは、表示される絵がらによって変わります。
・リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えてください。

ご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高いところに置いたりしないでください。

各部の名前（つづき）

■簡単リモコン

1 電源（➡74ページ）
電源を入 / スタンバイ（待機状態）します。

2 放送切換ボタン（➡74ページ）
地上アナログ放送、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送（CS1、CS2）を切り換えます。

3 チャンネル（➡74ページ）
見たい放送のチャンネルを一発選局します。

4 音声切換（➡79ページ）
複数の音声がある番組を見ているときに他の音声に切り換えることができます。また二重音声の切り換えもできます。

5 チャンネル（＋ / －）（➡75ページ）
見たい放送のチャンネルを順送りで選局します。

6 入力切換（➡82ページ）
受信する放送や入力を切り換えます。

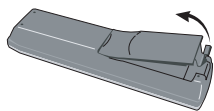
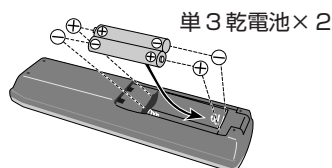
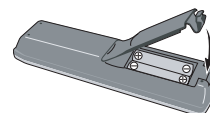
7 音量（＋ / －）（➡75ページ）
お好みの音量に調整します。

8 消音（➡75ページ）
音を一時的に消します。

ご注意

乾電池は誤った使いかたをすると液漏れや破裂することがありますので次のことをお守りください。
- 種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電したり、分解しない。
- ⊕極と⊖極を正しく入れる。
- ショートさせない。

●リモコンの乾電池の入れかた

① カバーを開ける

② 付属の乾電池を入れる
（⊕⊖ の表示どおりに入れてください）

③ カバーを閉める

お知らせ

- 簡単リモコンは、テレビを見るなど本機の基本的な操作のみを行うことができます。デジタル放送のラジオ番組やデータ番組を受信したり、ホームメニューを操作したりすることはできません。
- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間リモコンを使わないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池の向きを確かめて、入れ直してください。
- 不要となった乾電池を処理するときは、各地方自治体の指示に従って処理してください。

ホームメニューの使いかた

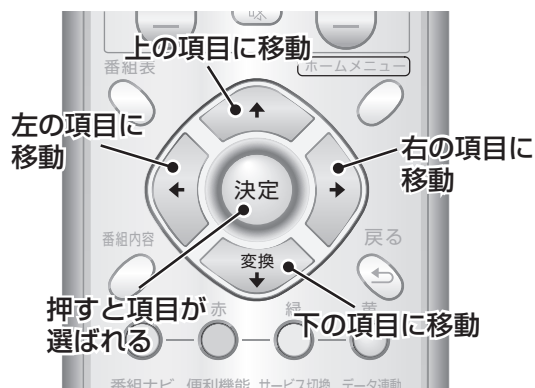
本機のいろいろな設定はメニュー画面にまとめられています。このメニュー画面を「ホームメニュー」と呼び、リモコンひとつで簡単に操作できます。ここではホームメニューの基本的な使いかたを説明します。

■ホームメニューを表示するには

① を押す

（例）かんたん操作ガイド
選択されている項目に関する説明を表示します。また、元の画面のボタンを押すとメニュー画面を終了することを表しています。

② 項目を選んで、決定を押す

• 画面により操作方法が異なることがあります。

■メニューが複数ページにまたがっているときや、スクロールバーが表示されたときは

  を押して項目を送る

ページが切り換わります。

リモコン	受信CH	表示CH
7	42	42
8	8	8
9	46	46
10	10	10
11	38	38
12	12	12

メニューが複数ページにまたがっているときに表示されます。

スクロールバー

■ホームメニューを終了するには

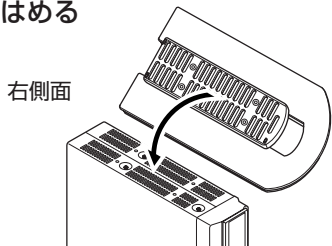
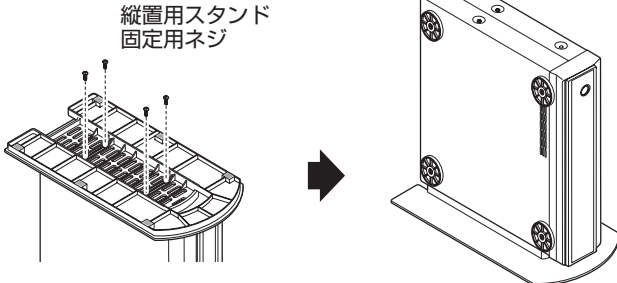
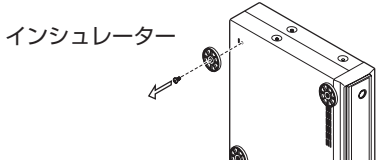
元の画面 を押す

ホームメニューが消え、元の画面が表示されます。

■1つ前の画面や1つ前の手順に戻すには

 を押す

［戻る］が表示されている画面では［戻る］を選んで、決定 を押しても戻れます。

お知らせ

• 本書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なる場合があります。

設置のしかた

■設置の手順

1 置く場所を決める

使用上のご注意(→10ページ)、設置時の注意事項(→13ページ)をご覧になり設置場所を決めてください。

2 ディスプレイとメディアレシーバーを設置する

ディスプレイの取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。

3 スピーカーを取り付けて、プラズマテレビの接続をする

スピーカーの取り付けかた、プラズマテレビの接続(→26ページ)をご覧ください。

■メディアレシーバーを縦置きしたいとき

1 縦置用スタンドをメディアレシーバーの右側面にネジ穴が合うようにはめる

2 縦置用スタンド固定用ネジを取り付ける

3 インシュレーターを取り外す(4カ所)

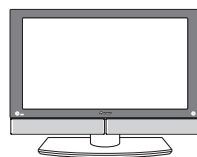
メディアレシーバーを横置きに戻すとき必要ですので、取り外したインシュレーターとネジはなくさないように大切に保管してください。

4 ビスホールキャップで穴をふさぐ(4カ所)

■スピーカーの取り付けかた

お客様のお好みや設置スペースに応じてスピーカーの取り付け方法を選ぶことができます。

PDP-505HDS/PDP-435HDS

スピーカーを
ディスプレイの横に
取り付けた場合
(→ 23 ページ)

スピーカーを
ディスプレイの下に
取り付けた場合
(→ 23 ページ)

PDP-505HDL/PDP-435HDL

スピーカーの角度を固定して取り付けた場合
(ダイレクト取付)
(→ 24 ページ)

スピーカーの角度を調整できるように取り付けた場合（ワイド取付）
(→ 25 ページ)

⚠注意

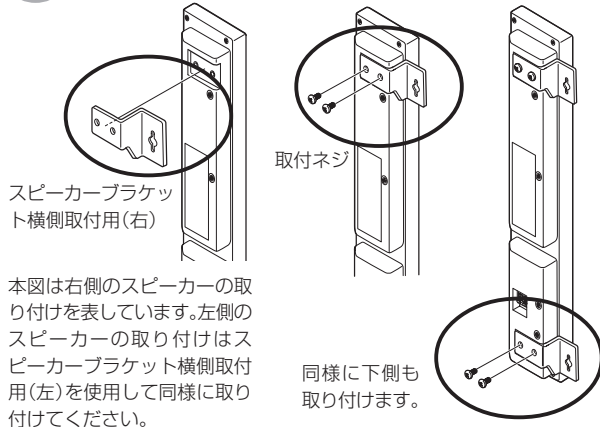
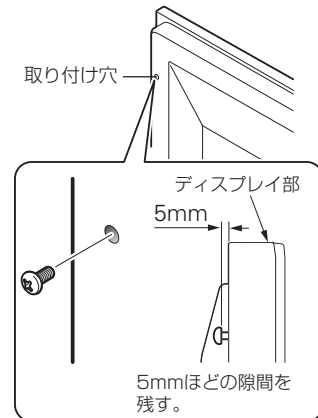
- スピーカーを取り付けるときは、必ず付属のネジを使用してください。付属以外のネジを使用すると、スピーカーが外れて故障する恐れがあります。
- スピーカーを取り付けるときは、ネジにゆるみがないようしっかりと締めてください。
- 本機を持ち運ぶときには、スピーカー部分を持たないようにしてください。スピーカーが外れる恐れがありますので、ディスプレイの下部と取っ手を持って持ち運んでください。

スピーカーを取り付ける（PDP-505HDS・435HDS）

■ PDP-505HDS/PDP-435HDS での取り付け

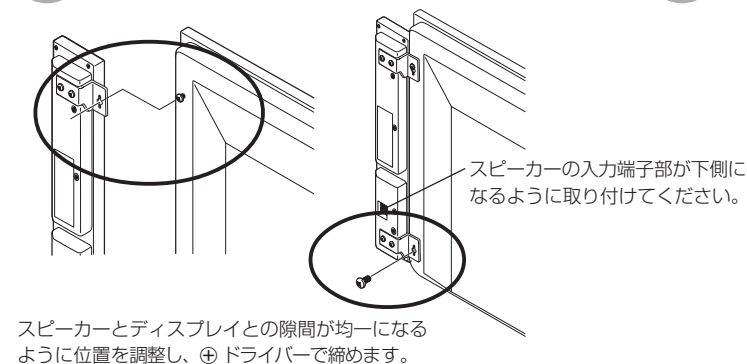
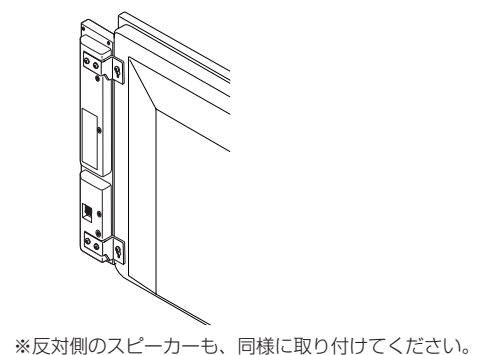
●横に取り付ける

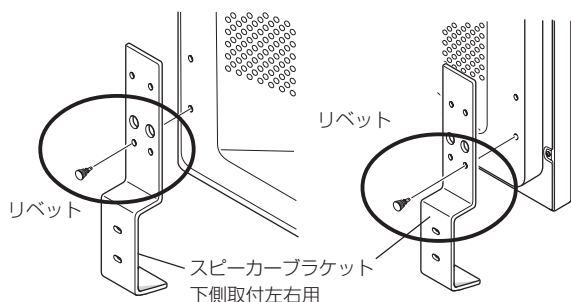
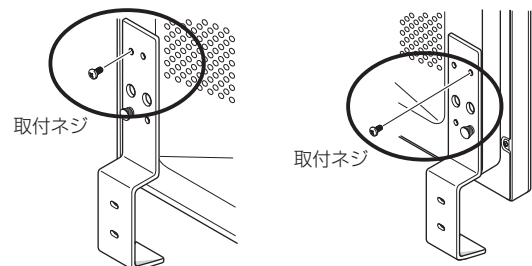
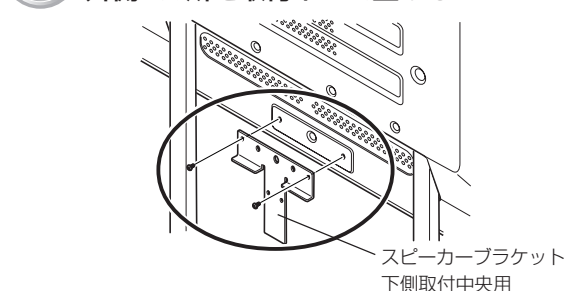
1 スピーカーにスピーカーブラケット横側取付用を取り付ける

本図は右側のスピーカーの取り付けを表しています。左側のスピーカーの取り付けはスピーカーブラケット横側取付用（左）を使用して同様に取り付けてください。

2 ディスプレイ背面の取り付け穴に取付ネジを取り付ける

3 取り付けたネジにスピーカーを引っ掛け、下のネジを仮止めする

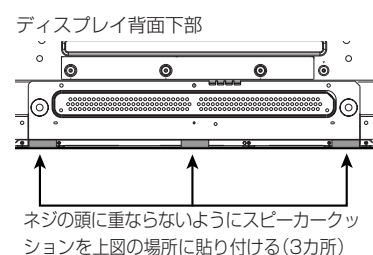
スピーカーとディスプレイとの隙間が均一になるように位置を調整し、⊕ ドライバーで締めます。

4 スピーカーがディスプレイと平行になるように調整してから、上下の取付ネジを固定する

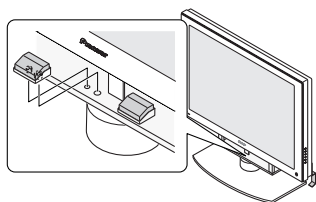
※反対側のスピーカーも、同様に取り付けてください。

●下に取り付ける

1 スピーカーブラケット下側取付左右用を外側1カ所ずつリベットで止める

2 取付ネジで外側1カ所ずつ仮止めする

3 スピーカーブラケット下側取付中央用の外側2カ所を取付ネジで止める

4 ディスプレイにスピーカークッションを貼り付ける

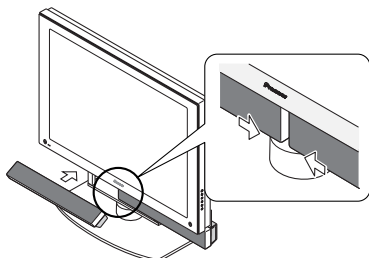
ネジの頭に重ならないようにスピーカークッションを上図の場所に貼り付ける（3カ所）

次ページにつづく

スピーカーを取り付ける (PDP-505HDS・435HDS/505HDL・435HDL) (つづき)

5 スタンドに付属しているスペーサーのボスをスタンドの穴に合わせて入れる

6 スピーカーを傾けながら、ディスプレイの下にもぐらせ、スピーカーブラケット下側取付左右用にはめ込む

7 スピーカーの間の隙間がなくなり、左右に片寄りがないように調整する

8 スピーカーブラケット下側取付中央用の中央2カ所を取付ネジで止める

スピーカーブラケットの孔とスピーカーの取付孔の位置を合わせて取り付けてください。

9 スピーカーブラケット下側取付左右用の左右各2カ所を取付ネジでそれぞれ止める

- スピーカーがディスプレイと平行になるよう調整してから固定し、手順②で仮止めしたネジを本締めします。
- 取付ネジが２本余りますので、なくさないように保管してください。

スピーカーブラケットがスピーカーの凹部にはまり込んでいることを確認してから固定します。

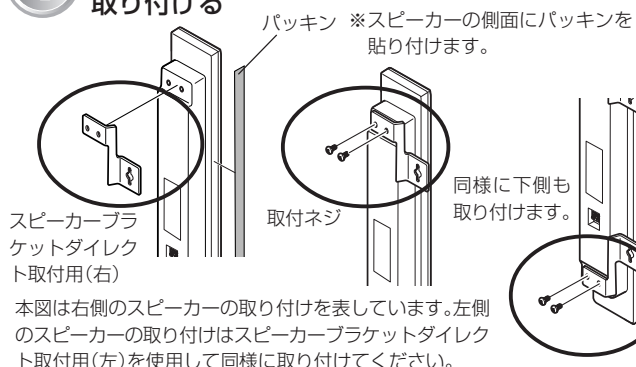
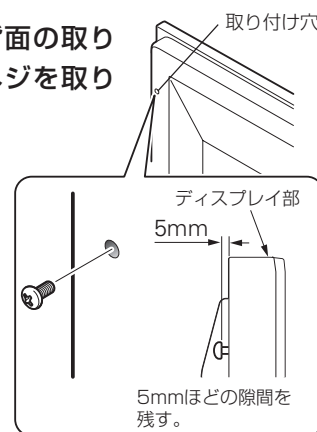
⚠注意

- 別売テーブルトップスタンド(PDK-TS05)には2種類の支柱が同梱されています。別売テーブルトップスタンド(PDK-TS05)を使用する場合は、スピーカーをディスプレイの横と下のどちらに取り付けるかによって使用する支柱が異なりますのでご注意ください。

■PDP-505HDL/PDP-435HDLでの取り付け

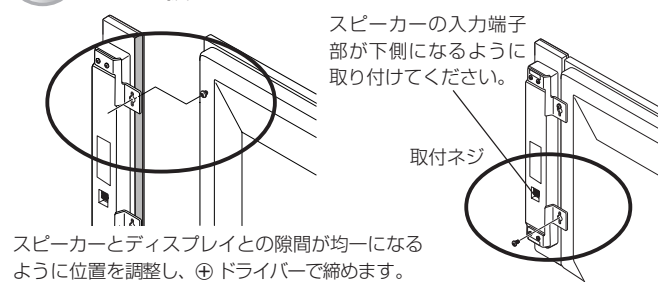
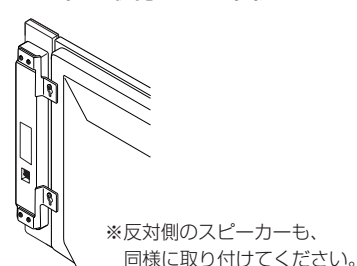
●角度を固定して取り付ける（ダイレクト取付）

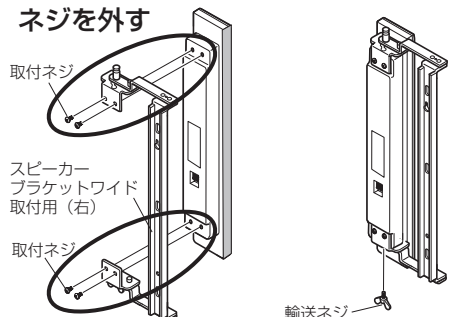
1 スピーカーにスピーカーブラケットを取り付ける

本図は右側のスピーカーの取り付けを表しています。左側のスピーカーの取り付けはスピーカーブラケットダイレクト取付用(左)を使用して同様に取り付けてください。

2 ディスプレイ背面の取り付け穴に取付ネジを取り付ける

3 取り付けたネジに引っ掛け、スピーカー下側のネジを仮止めする

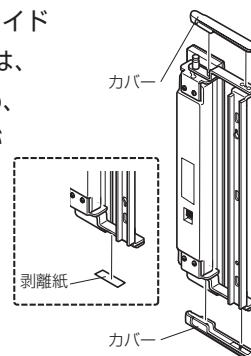
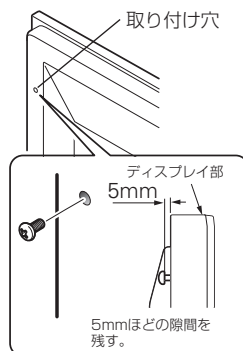
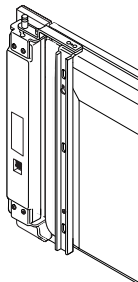
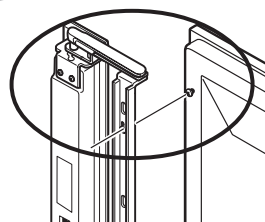
スピーカーとディスプレイとの隙間が均一になるように位置を調整し、⊕ドライバーで締めます。

4 スピーカーがディスプレイと平行になるように調整してから、上下の取付ネジを固定する

※反対側のスピーカーも、同様に取り付けてください。

●角度を調整できるように取り付ける（ワイド取付）

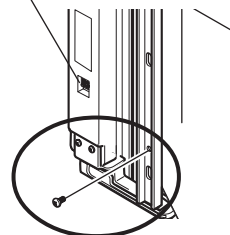
1 スピーカーにスピーカーブラケットワイド取付用(右)を取り付け、輸送ネジを外す

輸送ネジはスピーカー下側にのみ取り付けられています。

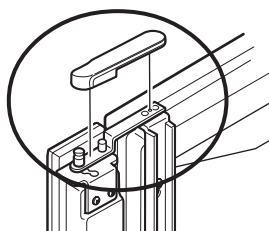
2 両面テープの剥離紙をはがしてからカバーをそれぞれ取り付ける

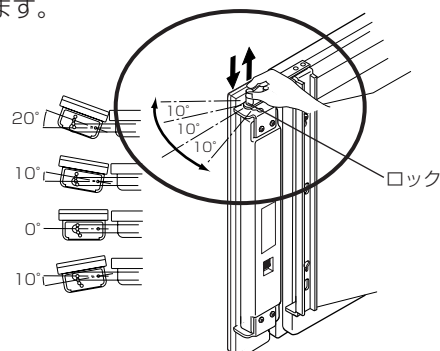
スピーカーブラケットワイド取付用(左/右)の下側には、カバーの落下防止のため、あらかじめ両面テープが貼られています。

3 ディスプレイ背面の取り付け穴に取付ネジを取り付ける

4 取り付けたネジに引っ掛け、下のネジを仮止めする

スピーカーの入力端子部が下側になるように取り付けてください。

スピーカーとディスプレイとの隙間が均一になるように位置を調整し、⊕ドライバーで締めます。

5 スピーカーがディスプレイと平行になるように調整してから、上下の取付ネジを固定する

※反対側のスピーカーも、同様に取り付けてください。

●スピーカーの角度の調整

1 上側用カバーを外す

2 ロックを引っぱり、角度を変えてからロックを元に戻す

スピーカーの角度はお好みに応じて4段階に調節できます。

⚠注意

- ダイレクト取付した場合およびワイド取付で内向きに角度調整した場合には、ディスプレイ右側面の操作ボタンが押せなくなります。その場合はリモコンで操作してください。
- ワイド取付のときスピーカーの角度を切り換えたあとは、必ずロックしてスピーカーが動かない状態にしてからお使いください。ロックせずに使用すると、ディスプレイとスピーカーとの間に指などをはさんでけがをする恐れがあります。

ロック

プラズマテレビの接続

■ケーブルをつなぐ

スピーカーケーブルのつなぎかた（ディスプレイ側）

スピーカー端子の極性（⊕には灰色の線が付いています。）に合わせてつないでください。

1 ツマミを押してケーブルの先端を差し込む。
2 ツマミを離すとスピーカーケーブルが固定されます。

スピーカーコードを端子の奥まで差し込むと、被覆（ビニール部分）を挟み込んで音が出なくなる場合があります。
銅線が外側から見えるように差し込んでください。

白（灰色線）　白（灰色線）　白

スピーカーケーブルのつなぎかた（スピーカー側）

横取り付け時　下取り付け時

黒　赤　白（灰色線）　白　白（灰色線）

この部分を押しながら、スピーカーケーブルの先端を穴に差し込みます。

スピーカー端子の極性（⊕には灰色の線が付いています。）に合わせてつないでください。

スピーカーコードを端子の奥まで差し込むと、被覆（ビニール部分）をはさみ込んで音が出なくなる場合があります。
銅線が外側から見えるように差し込んでください。

▼ディスプレイ背面

システムケーブル（WHITE=白）接続端子　システムケーブル（BLACK=黒）接続端子

＊下から見た図

SYSTEM CABLE　WHITE　BLACK　SPEAKERS　SPEAKER IMPEDANCE 8Ω〜16Ω /SPEAKER　R　L　AC INLET

白　黒

両側のフックが「カチッ」と音がするまで、しっかりと差し込みます。

端子に差し込んだあと、ネジを右に回して固定します。

電源コード（3ピン）（付属品）

ノイズフィルター
電源から入ってくるノイズをカットします。

コンセント　AC変換プラグ（付属品）　アース線　3ピンプラグ

システムケーブル（付属品）

▼メディアレシーバー背面

電源コード（3ピン）（付属品）

システムケーブル（黒）接続端子へ　黒

白　システムケーブル（白）接続端子へ

ノイズフィルター
電源から入ってくるノイズをカットします。

コンセント　AC変換プラグ（付属品）　アース線　3ピンプラグ

⚠注意　AC 変換プラグ使用上の注意

本機の電源コードは、ディスプレイ用、メディアレシーバー用ともに3ピンプラグになっています。性能維持のため、アース線をつないでお使いください。

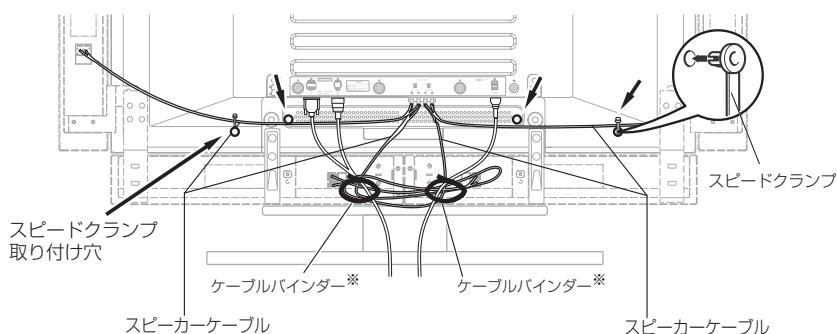
- アース端子のある2芯コンセントの場合は、付属のAC変換プラグを付けてお使いください。
- コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要ですので、専門業者に工事を依頼してください。
- コンセントが3芯の場合は、AC 変換プラグを付けず、そのままお使いください。

⚠注意

- すべての接続が終わるまでは、電源を入れないでください。
- ディスプレイとメディアレシーバーの電源コードは、それぞれの梱包箱に同梱されているものをご使用ください。入れ換えて使用したりしないでください。

■ケーブルを束ねる

ケーブルを束ねるときは、付属のスピードクランプやビーズバンド、およびスタンドに付属のケーブルバインダーを使います。

▼ディスプレイ背面

ケーブルを出す方向に応じて、スピードクランプを取り付けます。

※当社別売のスタンドを使わないときは、左図4カ所の矢印(➡)の穴をスピードクランプ取り付け穴としてご利用ください。

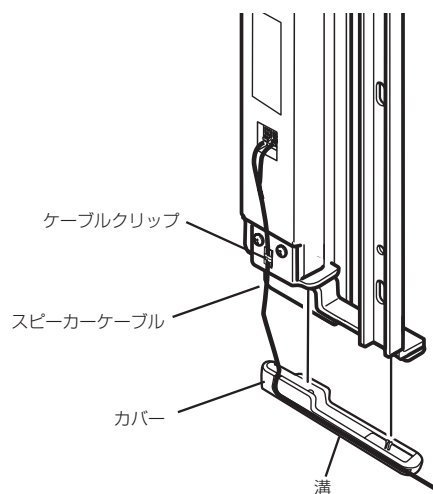
束ねたケーブルをスピードクランプでくるむようにし、Ⓐの穴にⒷを押し込みます。

スピードクランプを外すには、ペンチを使って90度ねじり、引っ張ります。
場合によっては劣化したり、破損することがあります。

お知らせ

- 左図ではスピーカーをディスプレイの横に取り付けた時と下に取り付けた時とを同時に説明しています。

●ワイド取付時のスピーカーケーブルの取り扱いかた

1 下側用カバーの溝とケーブルクリップにスピーカーケーブルを押し込む

アンテナをつなぐ

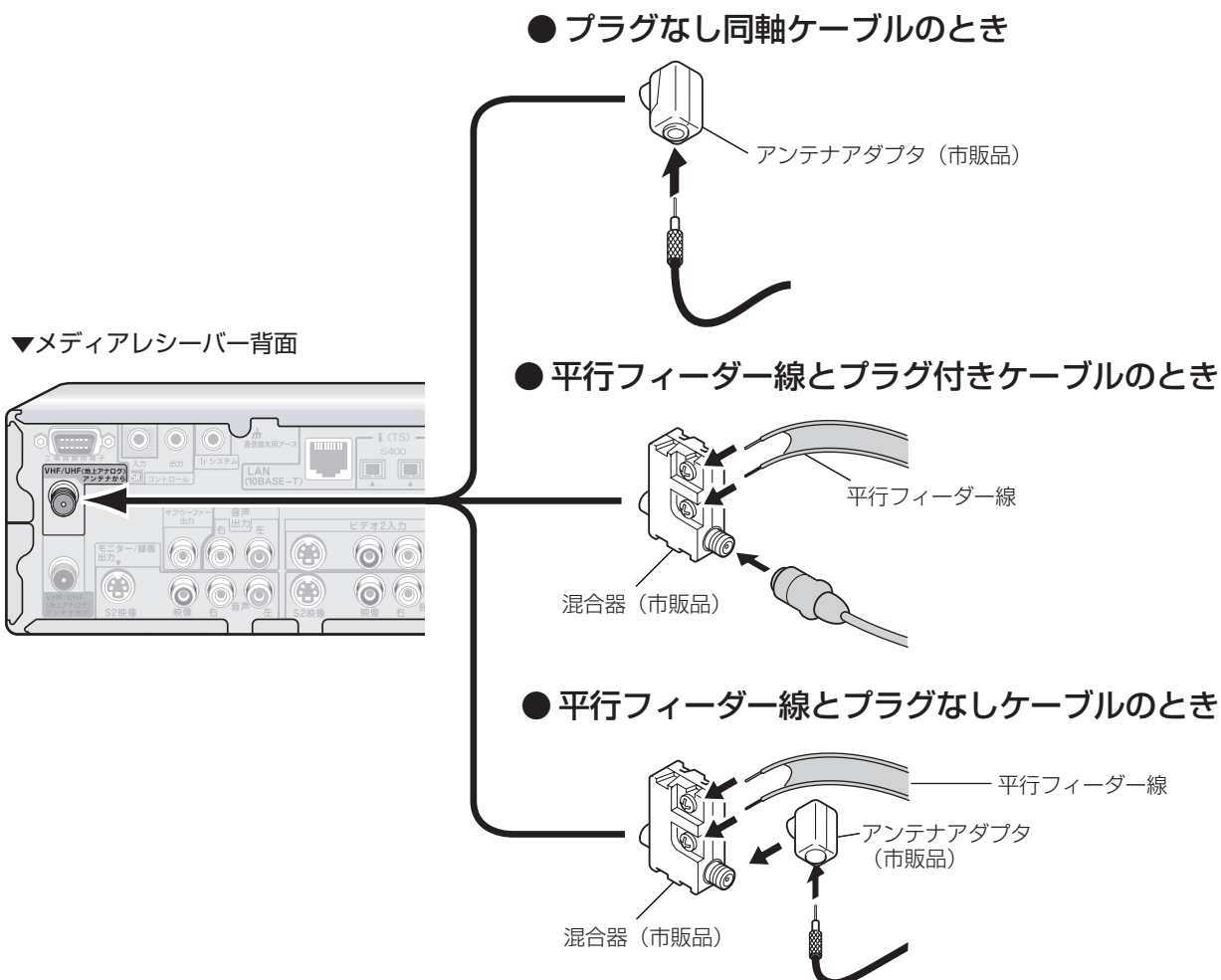
■ VHF/UHF（地上アナログ）アンテナをつなぐ

市販のアンテナケーブル、アンテナ混合器などを、使用するアンテナ線に応じて接続し、メディアレシーバー背面のVHF/UHF（地上アナログ）アンテナ入力端子に接続してください。

● プラグなし同軸ケーブルのとき

▼メディアレシーバー背面

● 平行フィーダー線とプラグ付きケーブルのとき

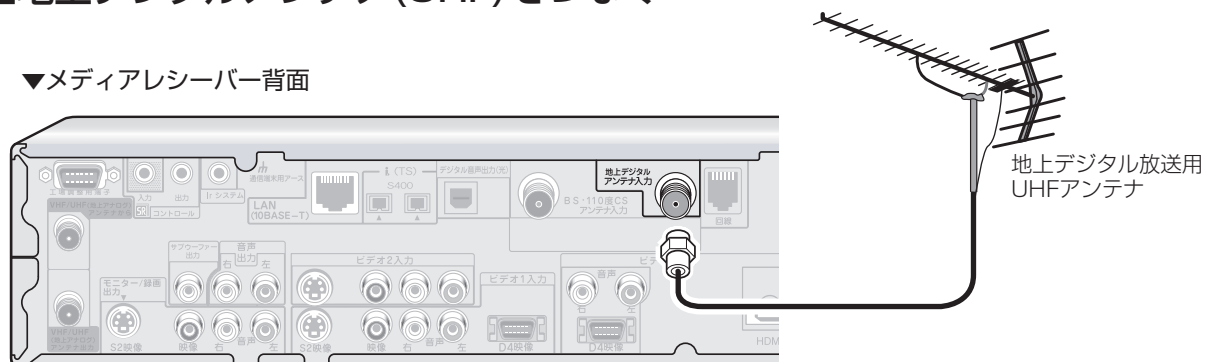
● 平行フィーダー線とプラグなしケーブルのとき

ご注意

- 平行フィーダー線はなるべく使用しないでください。
- 平行フィーダー線を使用する場合は本機からできるだけ離してください。

お知らせ

- VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■地上デジタルアンテナ(UHF)をつなぐ

▼メディアレシーバー背面

●CATV（ケーブルテレビ）での受信方法について

地上デジタル放送をCATVで伝送する方式には、次の２つの方式があり、方式により受信方法が異なります。本機は**「CATV パススルー対応（UHF)」**となります。

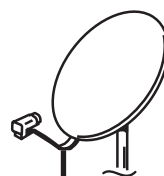
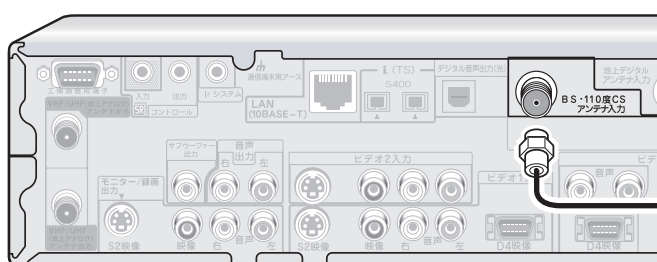
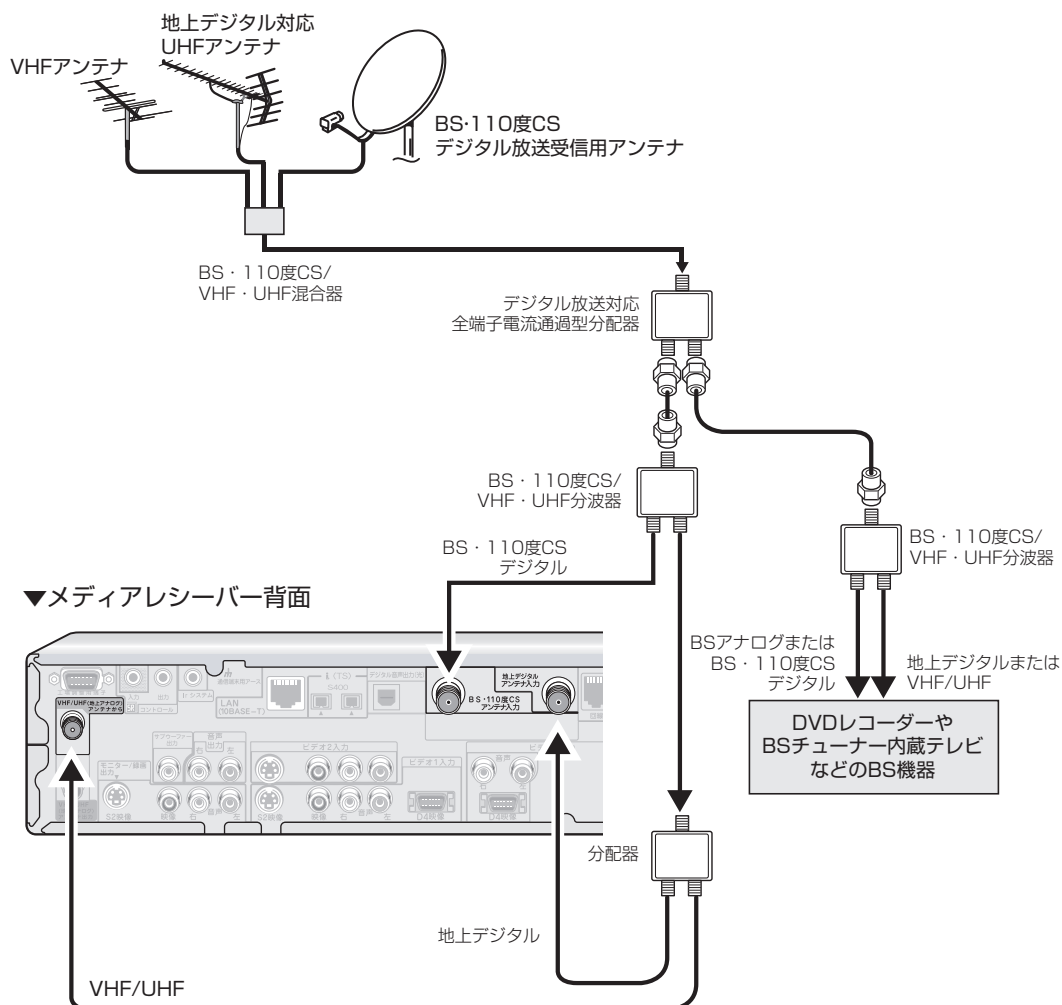
- パススルー伝送方式：変調方式を変更せずに再送信する方式です。運用方式により、次の２つの方式があります。
  - 同一周波数パススルー運用方式： 地上デジタル放送をそのままの周波数で伝送する方式です。本機の地上デジタルアンテナ入力端子にCATVからのアンテナ線を接続するだけで受信できます。
  - 周波数変換パススルー運用方式：ＵＨＦ帯の中で周波数を変換する方式、またはＵＨＦ帯以外の周波数へ変換して伝送する方式があります。前者の場合は、本機の地上デジタルアンテナ入力端子にCATVからのアンテナ線を接続するだけで受信できます。後者の場合は、その再送信信号に対応した受信機が必要となります。
- トランスモジュレーション伝送方式 ：変調方式を変更して伝送する方式です。ホームターミナルやセットアップボックスなどと呼ばれるCATV 専用のアダプターが必要です。

詳しくは、ご契約されているCATV 事業者にお問い合わせください。

お知らせ

- 地上デジタル放送用アンテナをはじめて設置したときや、引越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要になります。かんたん設置（→41ページ）や地上デジタル放送用のアンテナ設定（→54ページ）を行ってください。
- 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で開始されますので、受信エリアが限定されます。
- 受信するには、地上デジタル送出局に向け、アンテナを設置してください。
- 専用のUHFアンテナやデジタル放送対応の機器などが必要な場合があります。
- 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。
- 地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに開始される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。
- 本機では、地上デジタル放送の電波の送出が変更される情報（新規の開局など）を電波を通して受信すると、電源を「入」時にお知らせのメッセージを表示します。この場合は、地上デジタル放送のチャンネルの再設定をしてください。（地上アナログ放送などの電波の送出の変更に関しては、メッセージは表示されませんので、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。）

■BS・110度CSデジタル放送用アンテナを個別でつなぐ

▼メディアレシーバー背面

■すべての放送アンテナが混合されているときのつなぎかた

お知らせ

- BS・110度CSアンテナ入力端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を［オフ］にしておいてください。（→54ページ）
- BS・110度CSデジタル放送用アンテナをはじめて設置したときや、引越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要になります。かんたん設置（→41ページ）やBS・110度CSデジタル放送用のアンテナ設定（→41、54ページ）を行ってください。

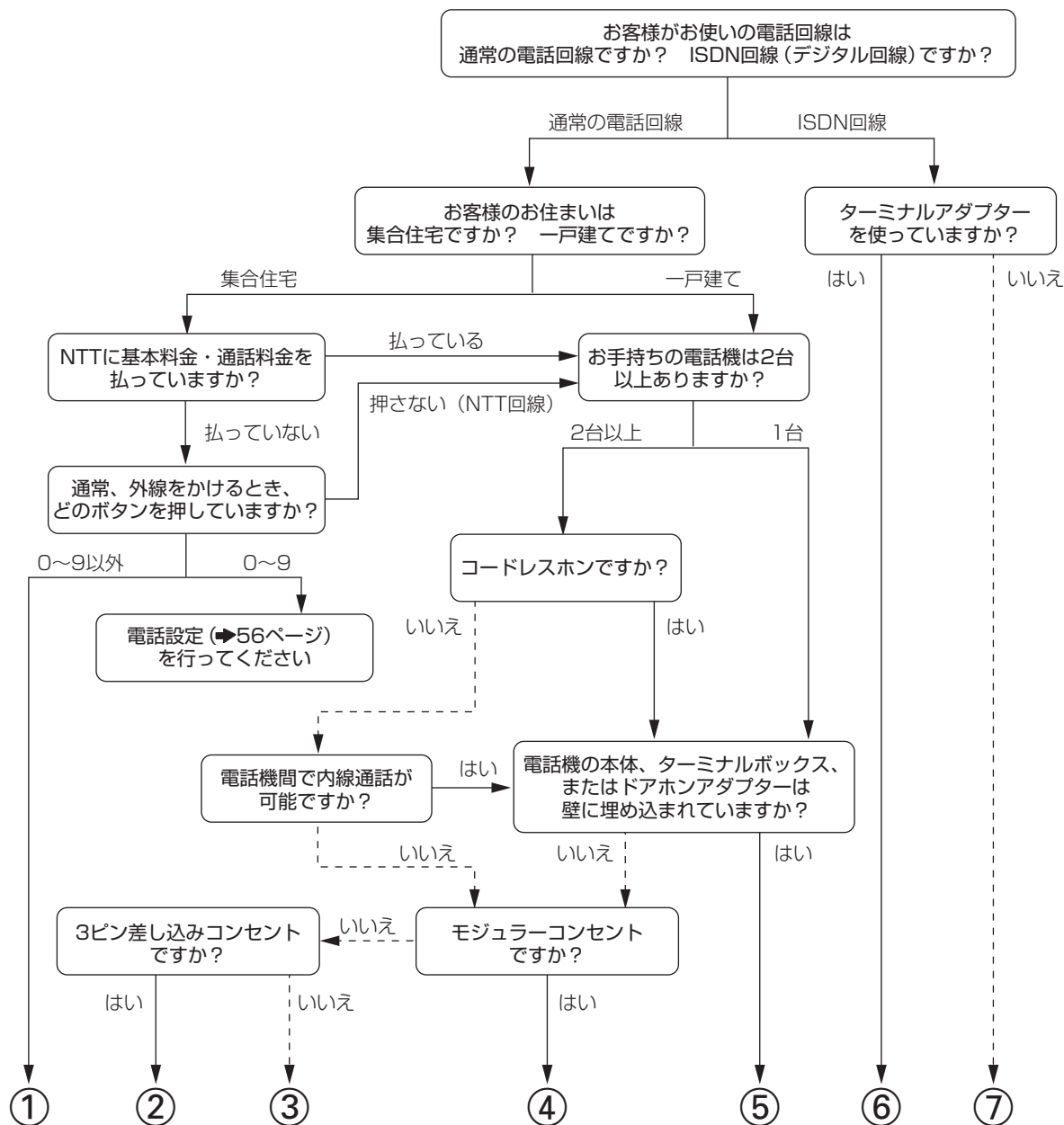
ご注意

- アンテナケーブルやブースター、混合器、分配器などをお使いの場合は、デジタル放送に対応しているものをお使いください。使用する機器やケーブルについては、お買い上げの販売店にご相談ください。
- BS・110度CSデジタル放送の受信には、市販のBS・110度CSデジタル放送対応アンテナをお使いください。従来の衛星アンテナを使うと、放送を受信できなくなることがあります。
- アンテナの取り付けについては、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

電話回線をつなぐ

有料番組や視聴者参加番組を楽しむには、電話回線端子の接続が必要です。ご使用の前に必ず電話回線につないでください。

■電話回線を確認する

下記に従って、お使いの電話回線の種類を確認してください。

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が高いので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の３ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお買い求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属のモジュラーケーブルとモジュラー分配器のみでつなげます。
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、または116（局番なし）でご相談ください。

電話回線をつなぐ（つづき）

■電話回線につなぐ

▼メディアレシーバー背面

2 外した電話機のモジュラーケーブルを、付属のモジュラー分配器に差し込む

電話コンセント

モジュラー分配器（付属）

3 付属のモジュラーケーブルでモジュラー分配機と電話回線端子をつなぐ

電話機

ツメを押さえて外す

1 本機と電話機の電源を切ってから、電話機のモジュラーケーブルを外す

ご注意

電話用のモジュラーケーブルを、ＬＡＮ（10BASE-T）端子に、誤挿入しないでください。故障の原因となります。

スプリッター

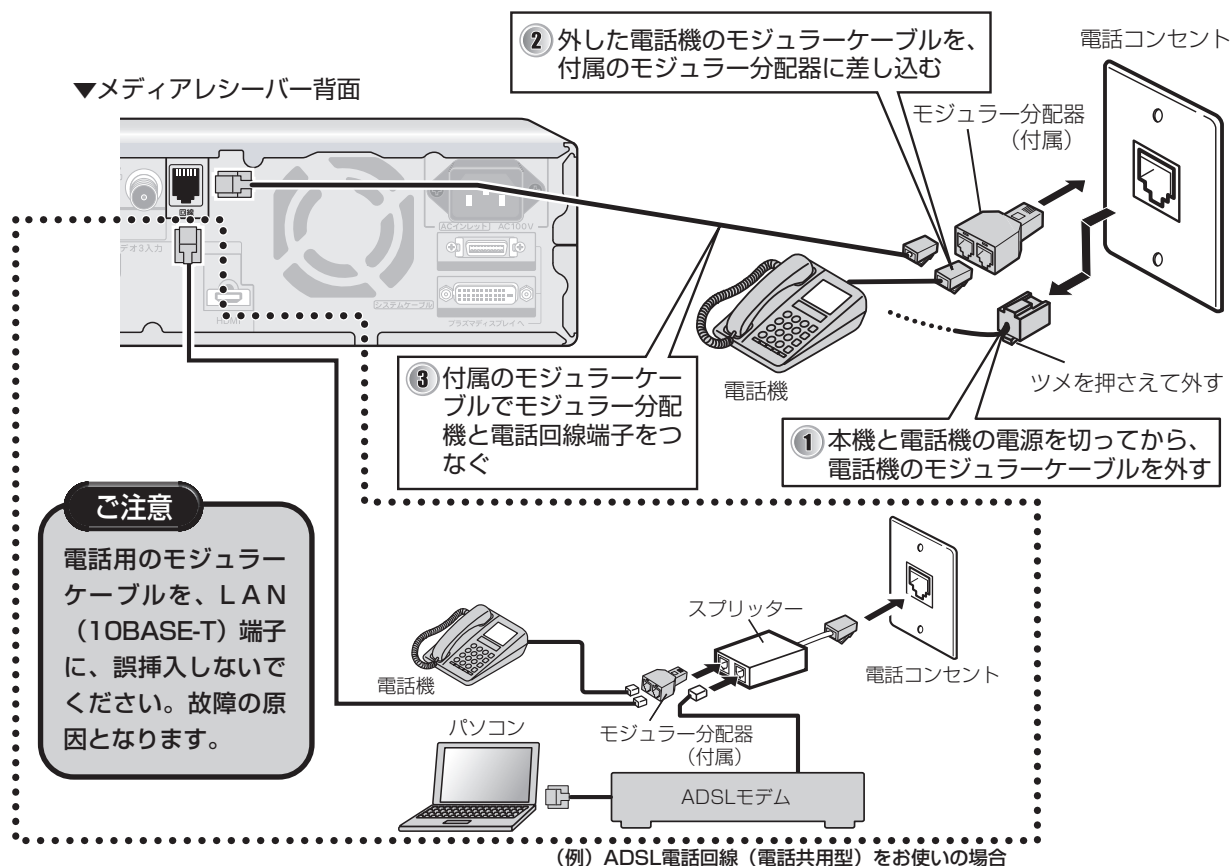
電話機

電話コンセント

パソコン

モジュラー分配器（付属）

ADSLモデム

（例）ADSL電話回線（電話共用型）をお使いの場合

ご注意

電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

- 3ピンプラグの場合には
  市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- 直結配線方式の場合には簡単な工事が必要です。詳細はお近くのNTT営業窓口、または116（局番なし）にお問い合わせください。
- キャッチホンでは通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンIIへのご加入をお勧めします。詳細はお近くのNTT営業窓口、または116(局番なし）にお問い合わせください。
- 本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。（回線使用中は、メディアレシーバー前面の回線インジケーターが緑色で点灯します。） 通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ．．．．）が聞こえます。その間は電話をしないでください。
- 直接デジタル回線に接続することはできません。 会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）などの端末器を介して接続してください。
- ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しないでください。 本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。詳細は電話設置会社にご相談ください。
- 電話回線用のモジュラーケーブルをLAN（10BASE-T）端子に接続しないでください。故障の原因となります。
- 1つの電話回線に3つ以上の機器を接続する場合は、市販のモジュラー分配器とモジュラーケーブルを必要に応じて別途お買い求めください。

お知らせ

- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る場合がありますが故障ではありません。
- 通信先によってはお客様がご契約している電話会社以外の会社から請求が来る場合があります。

ネットワークにつなぐ

Tナビを楽しむには、本機とADSLモデムやブロードバンドルーターとの接続および設定が必要です。本書では、すでにブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでないお客様は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご注意

- 回線業者やプロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。
  - ー ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。また、お使いの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
  - ー 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きのADSLモデムなどの設定はできません。パソコン（PC）などでの設定が必要になることがあります。
- ADSLモデムについて、ご不明の点は、ご利用のADSL回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-Tに対応していることをご確認ください。

お知らせ

- ブロードバンドルーターまたはブロードバンドルーター機能付きADSLモデムをお使いの多くの場合には、本機の「LAN（10BASE-T）」端子に接続して設定すると使えます。
- ブリッジ型ADSLモデムをお使いのお客様は、ブロードバンドルーターが必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いのときなどは、ADSL事業者にご相談ください。
- 回線業者やプロバイダー、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。

■本機のMACアドレスの確認のしかた

1. ホームメニュー を押す
2. [初期設定]を選んで、決定 を押す
3. [デジタルチューナーの設定]を選んで、決定 を押す
4. [ネットワーク設定]を選んで、決定 を押す
5. ↓ で2ページ目にして確認する
6. 終わったら 元の画面 を押す

■必要な機器を接続する

- 詳しくは販売店にご相談ください。接続後は、ネットワークの設定を行ってください。（→60ページ）
- 接続ケーブル、接続機器などは、必要に応じて市販品をお買い求めください。

ご注意

電話用のモジュラーケーブルを、ＬＡＮ（10BASE-T）端子に、誤挿入しないでください。故障の原因となります。

いろいろな機器をつなぐ

■録画・再生機器をつなぐ前に

HDMI対応の機器ですか？ →はい HDMI機器をつなぐ（→39ページ）
⇩いいえ
i.LINK対応のD-VHSビデオデッキですか？ →はい i.LINKでD-VHSビデオデッキとつなぐ（→36ページ）
⇩いいえ
録画機器ですか？ →はい DVDレコーダー、ビデオデッキなどをつなぐ（→35ページ）
Irシステムケーブルをつなぐ（→38ページ）
⇩いいえ
DVDプレーヤーなどをつなぐ（→36ページ）

ご注意

- お客様が録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本書とあわせて、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

接続上のご注意

- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切ってください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いの距離を十分に離してください。

お知らせ

- ケーブルが足りない場合は、市販のケーブルを必要に応じて別途お買い求めください。

S2映像入力端子について

- 画面サイズ制御信号（フルモード制御信号、レターボックス制御信号）の入った映像がS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定できます。
- 本機のS2映像入力端子に外部機器のＳ映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。（この場合、画面サイズは手動で選びます。）

D4映像入力端子について

- 画面サイズ制御信号（フルモード制御信号、レターボックス制御信号）の入った映像がD4映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すことができます。

モニター/録画出力端子について

- モニター/録画出力端子から出力できる信号の関係は下表のとおりです。

		モニター/録画出力		
		S2映像出力	映像出力	音声出力
地上アナログ放送		×	○	○
デジタル放送（地上・BS・110度CS）		○	○	○
i.LINK		○注1	○注1	○注1
ビデオ1入力	D4映像	×	×	－
	S2映像	○注1	○注1	－
	映像	×	○注1	－
	音声	－	－	○注1
ビデオ2入力 または ビデオ4入力	S2映像	○注1	○注1	－
	映像	×	○注1	－
	音声	－	－	○注1
ビデオ3入力	HDMI（映像・音声）	×	×	○注1
	D4映像	×	×	－
	音声	－	－	○注1
PC入力	パソコン映像	×	×	－
	音声	－	－	○

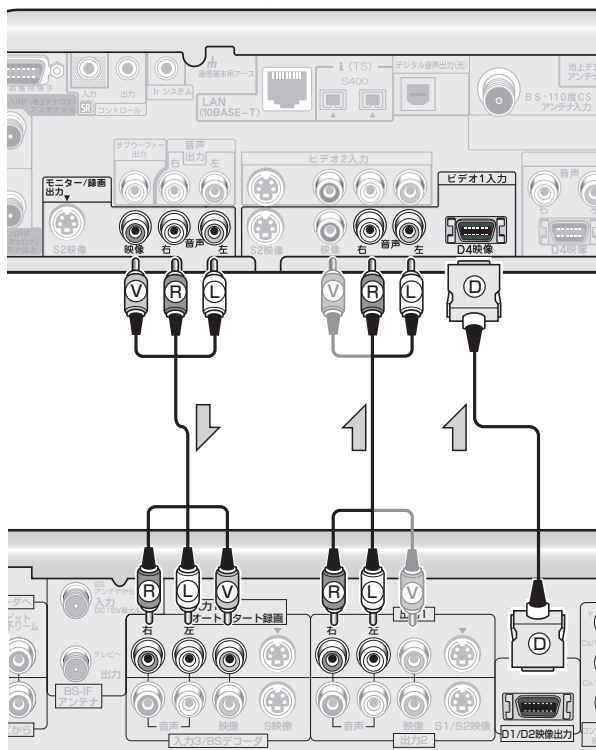
○　：信号出力できます。　×　：信号出力できません。
注１：モニター/録画出力端子の設定（→65ページ）で信号出力を停止できます。

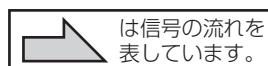
- デジタル放送を、モニター/録画出力端子に接続した機器で録画する場合、コピー制御信号により録画やダビングが制限されることがあります。

■ DVD レコーダーやビデオデッキなどをつなぐ

モニター/録画出力端子に接続（録画）できるDVDレコーダーやビデオデッキなどは1台です。

● DVR-710HなどのD端子付きの録画機器をつなぐ

▼メディアレシーバー背面

▲DVR-710Hなど

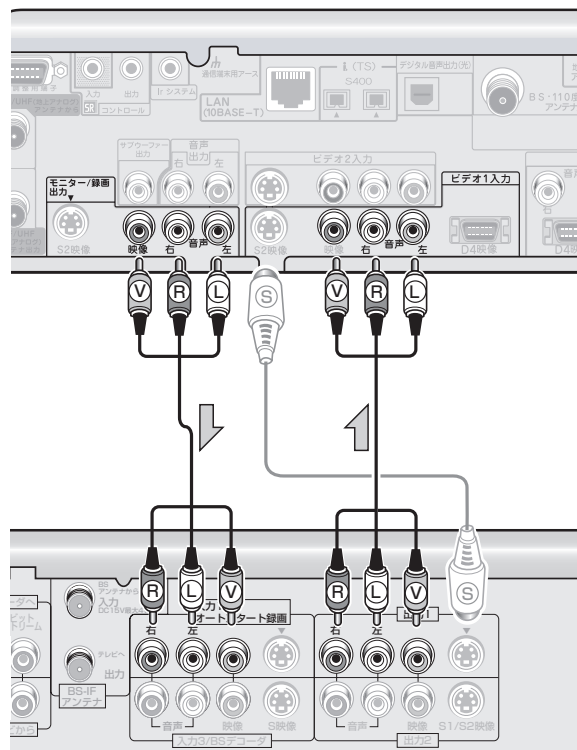
● D 端子のない録画機器をつなぐ

▼メディアレシーバー背面

● 映像入力端子の優先順について

- 本機の入力端子は、接続を自動的に検出して以下の優先順で映像信号が選ばれます。

D4映像→S2映像→ビデオ映像

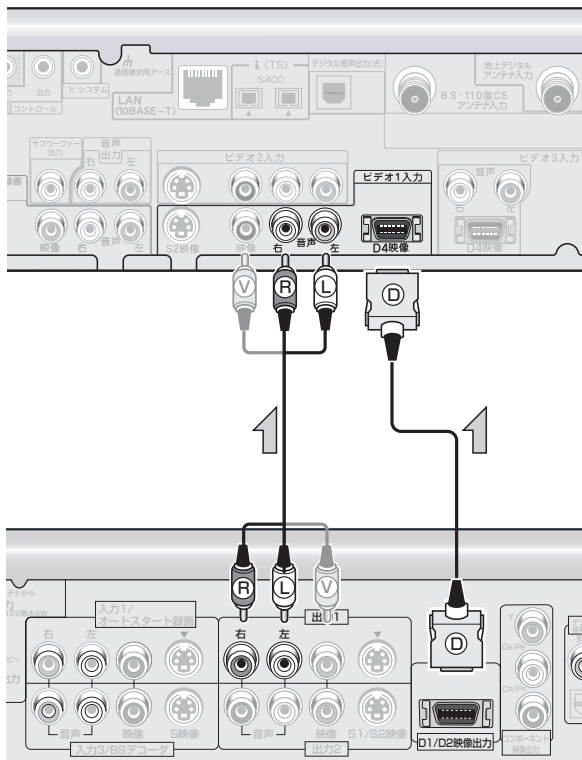
お知らせ

- 接続後は、「モニター/録画出力端子の設定」を行ってください。（→65ページ）
- 不要な映像入力端子にはつながないでください。
- 本書とあわせて、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

■ DVD プレーヤーなどをつなぐ

DVDプレーヤーなどの再生専用機器のつなぎかたです。
ビデオカメラやゲーム機器をつなぐときは、「ビデオカメラやゲームを楽しむ」（→82ページ）をご覧ください。

● D端子付きのDVDプレーヤーをつなぐ

▼メディアレシーバー背面

● D端子のないDVDプレーヤーをつなぐ

▼メディアレシーバー背面

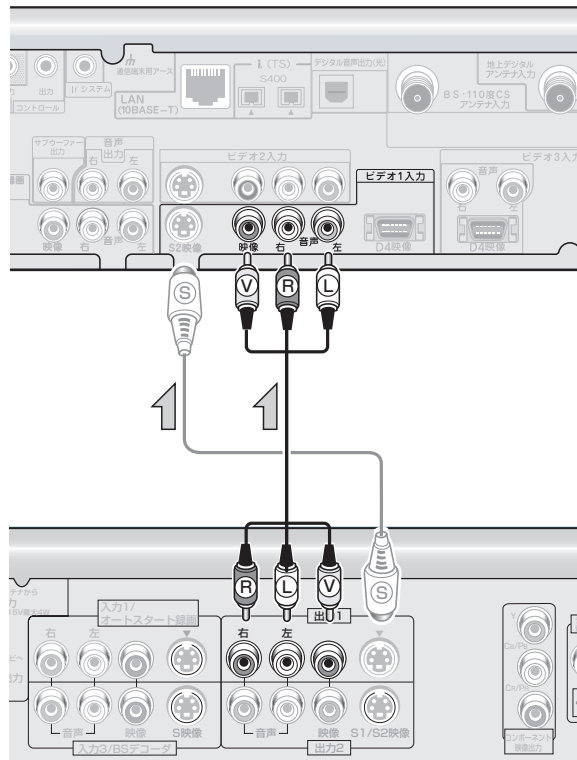
は信号の流れを表しています。

● 映像入力端子の優先順について

- 本機の入力端子は、接続を自動的に検出して以下の優先順で映像信号が選ばれます。

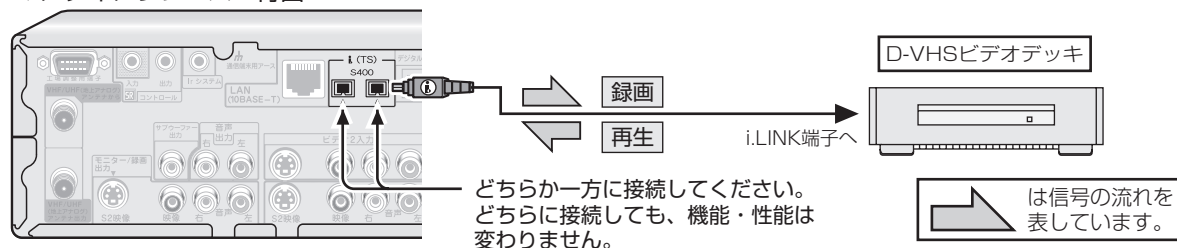
D4映像→S2映像→ビデオ映像

お知らせ

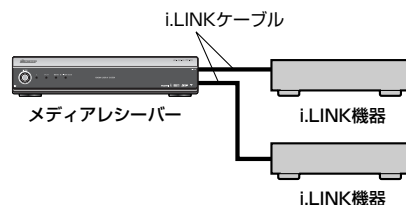
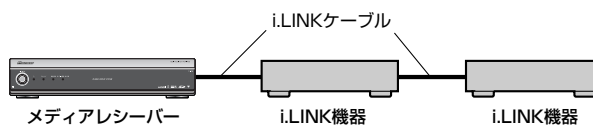
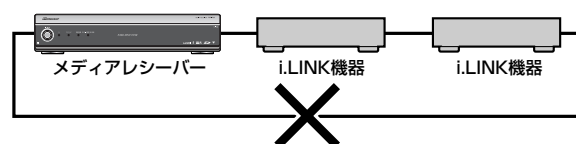
- 不要な映像入力端子にはつながないでください。
- 本書とあわせて、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

■ i.LINK で D-VHS ビデオデッキをつなぐ

つないだあとは、i.LINK接続の設定が必要です。（→67ページ）

● 接続する i.LINK 機器（D-VHS ビデオデッキ）が 1 台のとき

▼メディアレシーバー背面

は信号の流れを表しています。

● 接続するi.LINK機器（D-VHS ビデオデッキ）が2台のとき

• 直接2台接続します。

• デイジー・チェーン（数珠つなぎ）で接続します（2台まで接続できます）。

※下図のようなループ(輪)接続はしないでください。

ご注意

- 本機との接続にはS400対応以上の4ピンi.LINKケーブルをお使いください（→146ページ）。
- i.LINKで接続されている機器を使っての録画、予約録画中、および再生中に、他の使っていないi.LINK機器の電源を「入」「切」したり、i.LINKケーブルを抜き差しすると、映像や音声がとぎれることがあります。
- 録画・予約録画中や再生中は、使っていない機器でも電源の「入」「切」をしたり、i.LINKケーブルの抜き差しは行わないでください。
- i.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もご覧ください。また、本機では「i.LINK待機」の設定で、電源スタンバイ時のi.LINK制御の設定を切り換えることができます（→69ページ）。
- パソコン（PC）、パソコン周辺機器を接続していると、誤作動を起こすことがあります。
- 万一i.LINK操作で、D-VHSビデオデッキが正常に録画・録音や再生ができなかったとき、内容の補償についてはご容赦ください。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

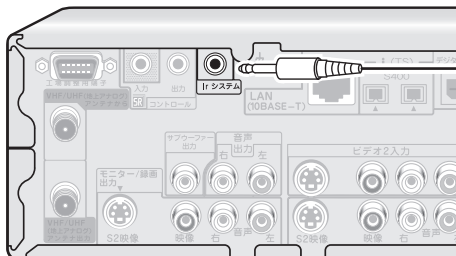
お知らせ

- 本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。DV方式のデジタルビデオカメラ、パソコン（PC）、パソコン周辺機器などは、扱う信号の仕様が異なりますので接続できません。
- i.LINK対応D-VHSビデオデッキでは、本機を使用してデジタル録画したデジタル放送を再生して、本機で視聴することができます。
- 本機とD-VHSビデオデッキをi.LINK接続して録画できるのは、デジタル放送のみです。それ以外の地上アナログ放送、外部入力（ビデオ1～4）、PC入力は、i.LINK録画ができません。
- 本機では、i.LINK対応D-VHSビデオデッキを同時に2台まで接続して、基本的な操作のみできます。
  D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネルで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- 本機に接続する機器によっては、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像・音声をi.LINKで視聴することができないことがあります。このような場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ映像出力を、本機のビデオ1～4入力のいずれかに接続してお使いください。
  D-VHSビデオデッキをアナログ接続したときは、アナログ接続設定（→67ページ）もあわせてご覧ください。
- 本機で受信しているデジタル放送の映像や音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画や録音ができない場合があります。
- 本機に接続したi.LINK機器（D-VHSビデオデッキ）で録画した内容を再生したとき、ビデオサーチ（早送り／巻戻し）をすると画面がモザイクになる場合があります。

いろいろな機器をつなぐ（つづき）

■ Ir システムケーブルをつなぐ

本機とIrシステム対応録画機器をIrシステムケーブルでつなぐと、デジタル放送の番組を簡単に録画できます。

▼メディアレシーバー背面

Irシステムケーブル（付属）
録画機器を接続して、本機から録画機器で録画するためのリモコン信号を送る場合に接続します。

ご注意

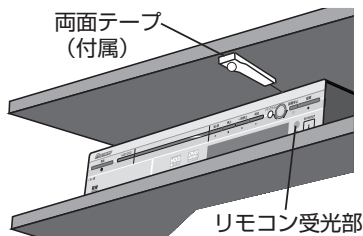
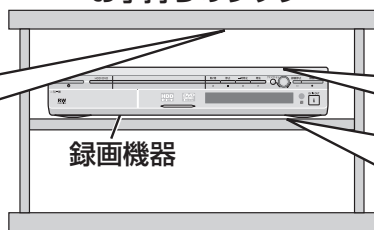
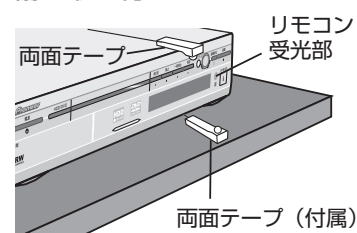
Irシステムケーブルは、メディアレシーバー背面のIrシステム端子に確実に接続してください。 誤ってコントロール（入力／出力）端子に接続すると、リモコン操作ができなくなります。

リモコン受光部の近くに取り付ける

リモコン発光部

DVDレコーダーなどの録画機器

リモコン受光部

● Ir システムケーブルの取り付け例

ご注意

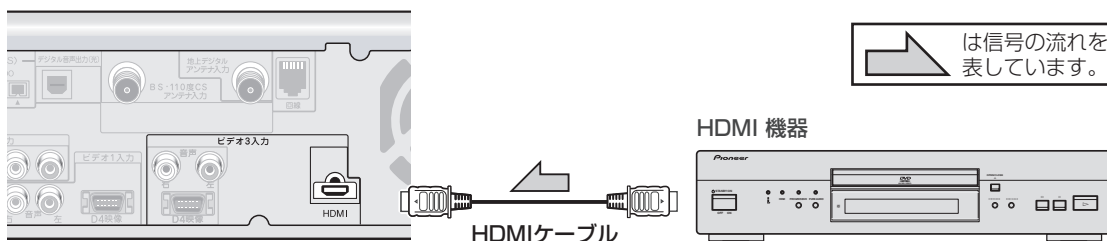
- 両面テープは貼り付ける箇所のゴミやホコリを取り除いてから貼り付けてください。
- 両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ

- 本書とあわせて、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続後は「Irシステムの設定」を行ってください。（→70ページ）

■HDMI 機器をつなぐ

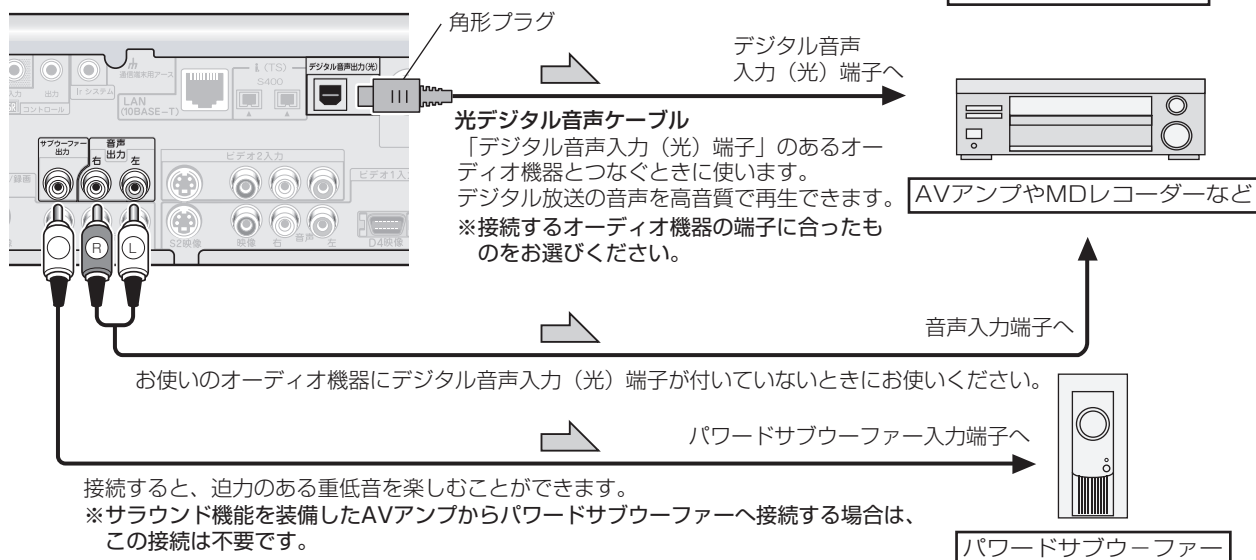
HDMI ケーブルをつなぐだけで、映像や音声が再生できます。

▼メディアレシーバー背面

お知らせ

- 本書とあわせて、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI入力はビデオ3入力で選ぶことができます。接続後は「HDMI接続の設定」を行ってください。（→66ページ）
- 「HDMI 接続の設定」を「使用する」に設定しているとき、ビデオ３入力端子（D4 映像）につないでいる機器は使えません。

■オーディオ機器をつなぐ

接続する前に本機とオーディオ機器の電源を切ってください。

▼メディアレシーバー背面

ご注意

- 字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル音声出力（光）端子から出力されません。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。デジタル録音できるのは、サンプリング周波数32kHz、および48kHzのPCM信号に対応したデジタル音声入力（光）端子付きのオーディオ機器に限ります。
- 録音、再生のしかたについては、本機に接続するオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。
- AAC対応のオーディオ機器をつなぐと、5.1chサラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。
- 通常のご使用では、デジタル音声出力（光）、音声出力の内容はモニター/録画出力端子からの音声出力と同じです。
- HDMI端子（ビデオ3入力）からの入力信号（デジタル音声）を、デジタル音声出力（光）端子から出力することはできません。
- 番組により録音が制限されている場合があります。
- デジタル音声出力（光）端子を使うときは、「デジタル音声出力」の設定を行ってください。（→65ページ）

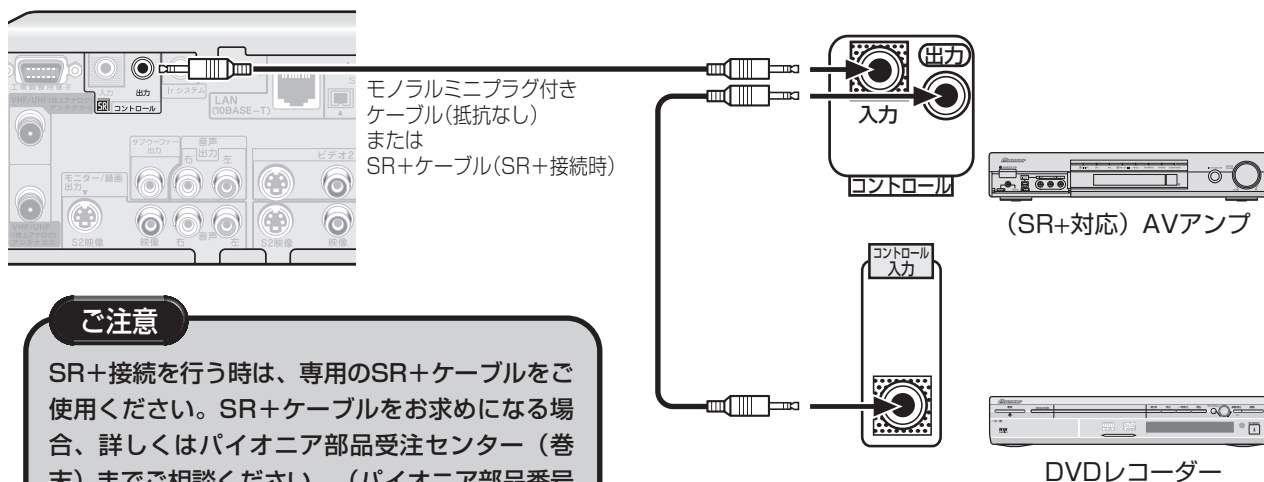
コントロール接続について

SRマークのある当社製機器とコントロール接続すると、本機のリモコン受光部で他の機器のリモコン信号を受信できるようになります。コントロール入力端子を使用した機器のリモコンは、本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

コントロール接続をする前に、他の機器の接続をすべて済ませておいてください。

接続例

▼メディアレシーバー背面

モノラルミニプラグ付き
ケーブル（抵抗なし）
または
SR+ケーブル（SR+接続時）

ご注意

SR+接続を行う時は、専用のSR+ケーブルをご使用ください。SR+ケーブルをお求めになる場合、詳しくはパイオニア部品受注センター（巻末）までご相談ください。（パイオニア部品番号ADE7095）
また、上記の接続例のように、間に他の機器を挟まず、本機とＡＶアンプを直接接続してください。

● SR＋について

メディアレシーバー背面のSRコントロール出力端子は、SR＋に対応した当社製AVアンプとの連動動作を可能にするSR＋に対応しています。SR＋にはシステム連動動作機能やサラウンドモードのディスプレイ表示などがあります。 詳しくは、お使いのSR＋に対応した機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

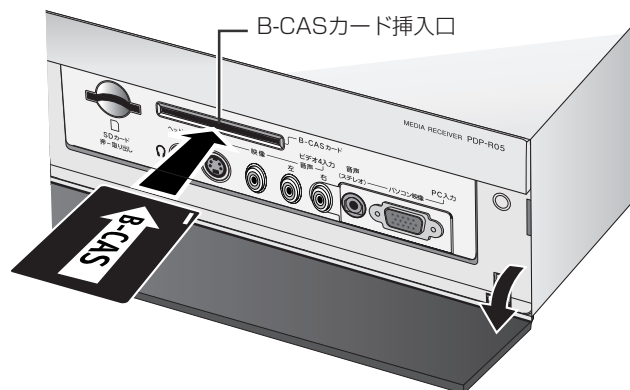
- コントロール端子とIrシステム端子を間違えないようご注意ください。
- SR ＋接続を開始すると、本機の音量が一時的に最小になります。

かんたん設置をする

本機を購入後はじめて電源を入れると、自動的にかんたん設置の画面が表示されます。テレビ受信に関する設定がかんたんにできます。

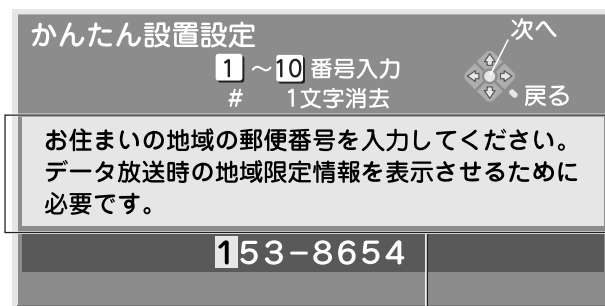
■はじめて電源を入れる前に、必ず以下の内容を確認してください。

- ●本機は正しく設置されていますか？
  （→ 13ページ）
- ●アンテナや電話回線は正しくつながれていますか？（→28・31ページ）
- ● B-CAS カードは正しく挿入されていますか？
  2004年4月からデジタル放送の著作権保護のため、コピー制御の仕組みが導入されています。B-CAS カードを常時挿入していないとデジタル放送が視聴できません。

▼メディアレシーバー前面の扉を開けたところ

※B-CASカードを表面の矢印の方向に挿入する。
（奥まで確実に挿入してください。）

■かんたん設置の操作のしかた

かんたん設置の画面では、かんたん操作ガイドが表示されます。ホームメニューの使いかた（→21ページ）をご覧になり、各画面の指示にしたがって設定を行ってください。

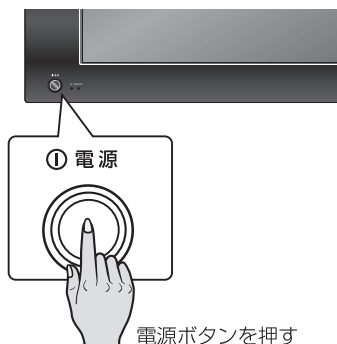
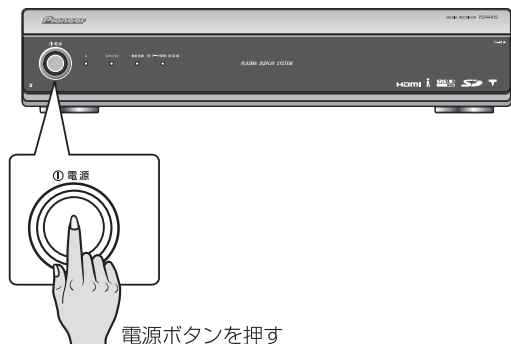
<例 1>

<例 2>

かんたん操作ガイド

かんたん設置をする（つづき）

■ かんたん設置をはじめる

1 メディアレシーバーとディスプレイの電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

入インジケーター（緑）が点灯します。

2 かんたん操作ガイドに従って操作する

一括チャンネル設定（地上アナログ放送のチャンネル設定）
お住まいの地域名を[←][→]で選ぶか、またはコードを[1]～[10₀]で入力します。 • [決定]を押すと、チャンネル設定結果が表示されます。 • コードについては、「地上アナログ放送地域コード一覧表」(→137ページ)をご覧ください。
郵便番号
お住まいの地域の郵便番号を[1]～[10₀]で入力します。
県域設定
お住まいの都道府県を[←][→]で選びます。 • 伊豆、小笠原諸島地域の方は、［東京都島部］を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、［鹿児島県島部］を選んでください。
地上デジタルのチャンネル設定
お住まいの地域名を[←][→]で選びます。 • [決定]を押すと、チャンネル設定結果が表示されます。
衛星アンテナの種類の設定
［共同］または［個別］を選びます。 • お使いの衛星アンテナが共同受信か個別に設置されているのか分からないときは［おまかせ］を選びます。
電話テスト
• [決定]を押すと、テストが開始されます。 • 電話テストには最大約3分かかります。 • NGが表示されたときは、かんたん設置終了後に、もう一度テストを行ってください。（→56ページ）
B-CASカードテスト
• [決定]を押すと、テストが開始されます。（→58ページ）

■「かんたん設置」をやりなおすときは

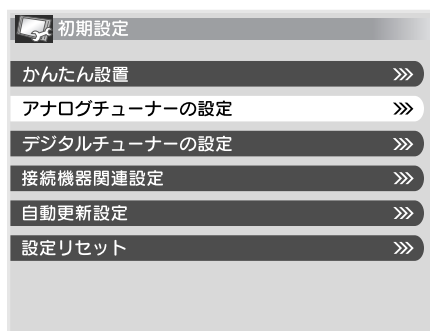
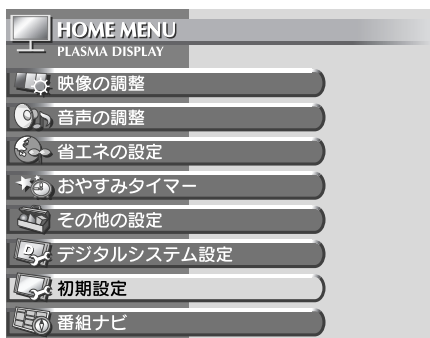
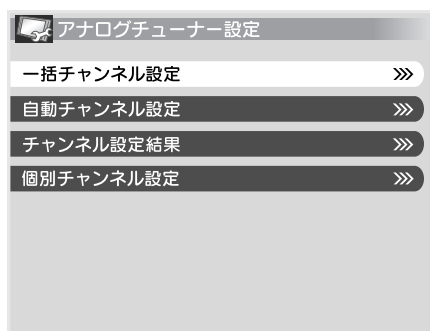
1 [ホームメニュー]を押す

2 [初期設定]を選び[決定]を押す

3 [かんたん設置]を選び[決定]を押す

かんたん設置がはじまります。各画面の指示にしたがって、もう一度設定を行ってください。

地上アナログ放送のチャンネル修正

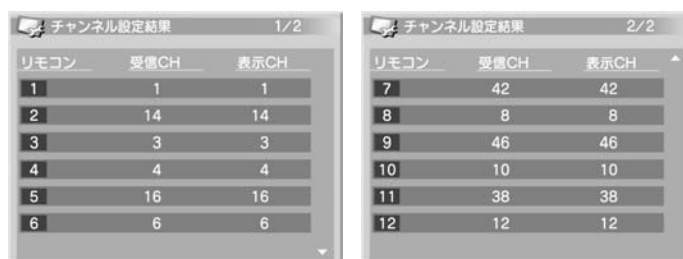
「一括チャンネル設定」、「自動チャンネル設定」、「個別チャンネル設定」の3種類があります。

次ページにつづく

地上アナログ放送のチャンネル修正（つづき）

はじめに43ページの共通手順を行ってください。

一括でチャンネル設定する（一括チャンネル設定）

お住まいの地域、または最寄りの地域に合わせて地上アナログ放送の受信チャンネルを一括で設定します。

① [地域名]からお住まいの地域を選択するか、[コード]を選んで、1～10₀を押して直接お住まいの地域のコードを入力する

お知らせ

- お買い上げ時の[地域名]は、[東京(23区)]に設定されています。
- コードの入力は地上アナログ放送地域コード一覧表をご覧ください。(→137ページ)
- コードの入力は、ボタンを押すと、左の桁から順に入力できます。
- コードの入力を間違えたときは、もう一度はじめから操作してください。

② 決定を押す

- 自動的に地上アナログ放送のチャンネルが設定されます。設定が終了すると、［チャンネル設定結果］が表示されます。

お知らせ

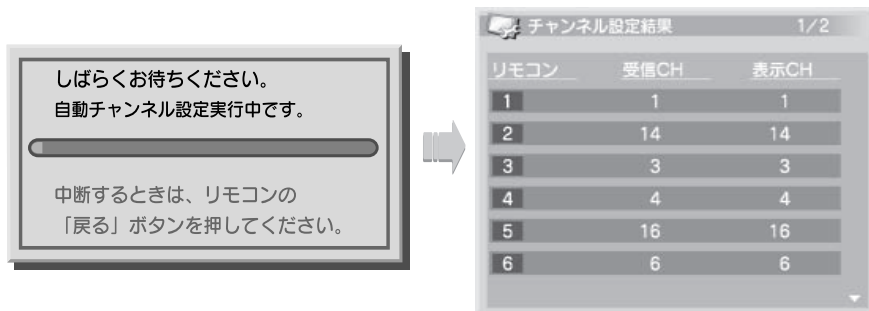
- ↑↓で設定結果のページを切り換えることができます。

終了するときは、元の画面を押す

お知らせ

- 地上デジタル放送への移行に伴い、お住まいの地域によっては現在放送されている地上アナログ放送の一部のチャンネルが他のチャンネルに変更になる場合があります。この場合、地域名または地域コードによる設定では受信できないチャンネルがありますので、自動チャンネル設定(→45ページ)や個別チャンネル設定(→46ページ)を行ってください。

自動でチャンネル設定する
（自動チャンネル設定）

受信可能な地上アナログ放送のチャンネルを自動的に設定します。一括チャンネル設定では設定できない地域にお住まいの場合などに使います。
設定が終了すると、[チャンネル設定結果]が表示されます。

お知らせ

- 自動チャンネル設定中は、数分乱れた映像が表示されます。
- [↑][↓]で設定結果のページを切り換えることができます。

チャンネル設定結果を見る
（チャンネル設定結果）

[チャンネル設定結果]が表示され、設定したチャンネルを確認することができます。

お知らせ

- [↑][↓]で設定結果のページを切り換えることができます。

終了するときは、[元の画面]を押す

地上アナログ放送のチャンネル修正（つづき）

はじめに43ページの共通手順を行ってください。

個別にチャンネル設定する
（個別チャンネル設定）

設定されているチャンネルを変更したいときなどに使います。

① 調整したい項目を選んで ← → で設定する

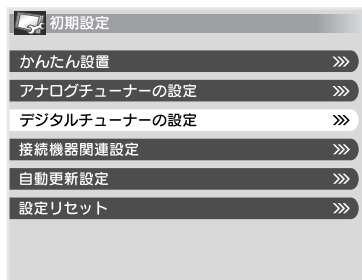
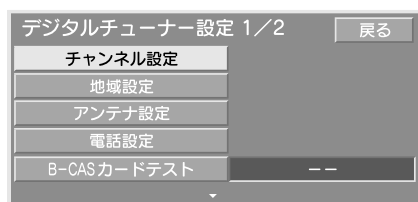
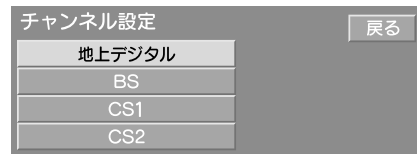
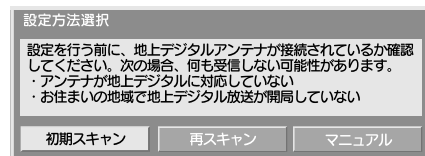
項目	説明
[リモコン]	：リモコンの地上アナログ放送のチャンネル（数字）ボタンの番号です。
[受信CH]	：放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
[表示CH]	：テレビ画面に表示されるチャンネルのことです。共同受信など、放送と画面表示が一致しないときに書き換えると便利です。
[スキップ]	放送のないチャンネルは［スキップ（飛び越し選局）］を［する］に設定すると便利です。 ［する］　：チャンネル＋/－ で選局できません。 ［しない］：チャンネル＋/－で選局できます。
[GR]	［する］　：ゴースト（2重映像）を軽減します。 ［しない］：ゴースト（2重映像）を軽減しません。
[AFT]	［する］　：自動的に最適な状態で選局します。 ［しない］：自動調整しません。
[手動微調整]	：受信するチャンネルによっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。そのようなときは［AFT］を［しない］に設定したあと、手動微調整を行ってください。また、手動微調整中は、［GR］は一時的に［しない］になります。

終了するときは、元の画面を押す

お知らせ

- 次のような場合は、［GR］を［する］に設定してもゴースト軽減効果が得られません。
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキからの映像を見るとき
- ［GR］を［する］に設定し、チャンネルを切り換えると、画面が一瞬動いたり、明るさなどが変化したりしますが、故障ではありません。
- かんたん設置や一括チャンネル設定、自動チャンネル設定を行うと、受信可能な地上アナログ放送のチャンネルは、［GR］が［する］に設定されます。
- 電波が弱いときなど、［GR］を［する］にしておくと映像が見づらい場合は、［しない］にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。（アンテナは、最も強い電波が受信できる方向に向けてください。）
- ゴーストは、場所・天候などにより発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。
- マルチ画面（→87ページ）のときは、主画面（または左画面）のみGR機能が働きます。

地上デジタル放送のチャンネル修正

引越しなどで受信地域が変わったときは「初期スキャン」を、新たに放送局が増えるなど受信状況が変わったときは「再スキャン」を、また、チャンネルごとに設定を修正したいときは「マニュアル」を行ってください。

次ページにつづく

地上デジタル放送のチャンネル修正（つづき）

はじめに47ページの共通手順を行ってください。

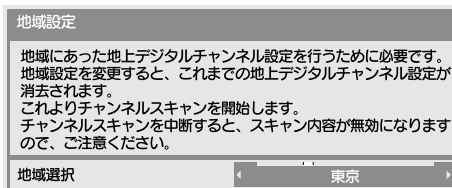
引越しなどで受信地域が変わったときは（初期スキャン）

① お住まいの地域を選んで、決定を押す

- チャンネルスキャン画面が表示されます。受信できるチャンネルを一覧表示します。
  - ー 今までの設定はリセットされます。
  - ー チャンネルスキャンが終わるまで最大約10分かかります。その間、映像が乱れることがあります。

地域設定

地域にあった地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。
地域設定を変更すると、これまでの地上デジタルチャンネル設定が消去されます。
これよりチャンネルスキャンを開始します。
チャンネルスキャンを中断すると、スキャン内容が無効になりますので、ご注意ください。

地域選択　東京

② 正しく設定されていることを確認してから、[終了]を選んで、決定を押す

- 受信エリア外の場合などは受信できません。

チャンネル設定　修正　入替　終了

リモコン	CH	放送局名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHK教育・東京	テレビ
3	——	——	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	——	——	
11	——	——	
12	——	——	

●修正したいときは

「チャンネル設定を修正したいときは（マニュアル）」の手順①へ進みます。（→ 49 ページ）

③ [はい]を選んで、決定を押す

お知らせ

- 電波状況によっては初期スキャンしてもチャンネルが設定できなかったり、一部のチャンネルが設定できないことがあります。

新たに地上デジタル放送局が増えたときなど、受信状況が変わったときは（再スキャン）

新たに受信できた放送局が自動的に追加されます。

お知らせ

- 再スキャンが終了するまで最大約10分かかります。その間、映像が乱れることがあります。

① 正しく設定されていることを確認してから、[終了]を選んで、決定を押す

チャンネル設定　修正　入替　終了

リモコン	CH	放送局名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHK教育・東京	テレビ
3	——	——	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	——	——	
11	——	——	
12	——	——	

●修正したいときは

「チャンネル設定を修正したいときは（マニュアル）」の手順①へ進みます。（→ 49 ページ）

② [はい]を選んで、決定を押す

終了するときは、元の画面を押す

チャンネル設定を修正したいときは

（マニュアル）

1. [修正]を選んで、決定を押す

チャンネル設定

修正　入替　終了

リモコン	CH	放送局名	種類
1	011	ＮＨＫ総合・東京	テレビ
2	021	ＮＨＫ教育・東京	テレビ
3	——	——	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	ＴＢＳ	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京ＭＸテレビ	テレビ
10	——	——	
11	——	——	
12	——	——	

2. 修正したい行（リモコン番号）を選ぶ
3. ← → でCHの列を選ぶ
4. ↑ ↓ でチャンネルを修正する
5. 修正が終わったら戻るを押す
6. [終了]を選んで、決定を押す
7. [はい]を選んで、決定を押す
8. 終わったら元の画面を押す

●リモコン番号ごとに項目（[CH]や[放送局名]など）をすべて入れ替えたいときは

1. [入替]を選んで、決定を押す
2. 入れ替えたい行（リモコン番号）を選んで、決定を押す
3. 入れ替え先の行を選んで、決定を押す
4. 修正が終わったら戻るを押す
5. [終了]を選んで、決定を押す
6. [はい]を選んで、決定を押す
7. 終わったら元の画面を押す

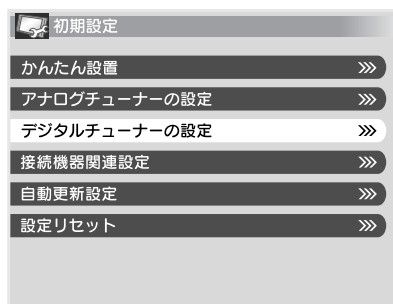
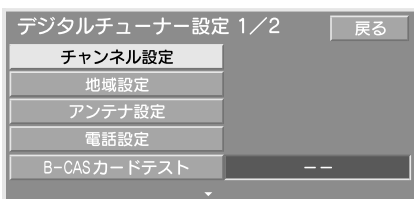
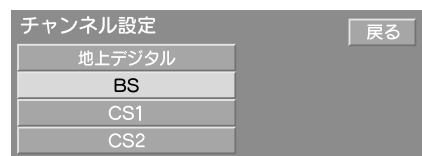
BS・110度CSデジタル放送のチャンネル修正

リモコンのチャンネルボタンに割り当てられているチャンネルの変更やお好み選局へのチャンネル登録などをすることができます。

■チャンネル設定を修正したいときは（衛星チャンネル設定）

1 ホームメニューを押す

2 [初期設定]を選んで、決定を押す

3 [デジタルチューナーの設定]を選んで、決定を押す

4 [チャンネル設定]を選んで、決定を押す

5 [BS]、[CS1]または[CS2]を選んで、決定を押す

6 修正したい行（リモコン番号）を選ぶ

（例）［BS］を選んだ場合

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	101	テレビ	NHK BS1
2	102	テレビ	NHK BS2
3	103	テレビ	NHK h
4	141	テレビ	BS日テレ
5	151	テレビ	BS朝日1
6	161	テレビ	BS-i テレビ⑥
7	171	テレビ	BSジャパン
8	181	テレビ	BSフジ・181

7 ←→でCHの列を選ぶ

8 ↑↓でチャンネルを修正する

9 終わったら元の画面を押す

お知らせ

- BS、CS1、CS2それぞれ36チャンネルまで設定できます。
- 「リモコン」の1～12で設定したチャンネルは、リモコンのチャンネルボタンで選局できます。

■デジタル放送で お好み選局 を押したとき(→75ページ)のチャンネル設定のしかた

デジタル放送には多くのチャンネルがあります。普段よくご覧になるチャンネルはリモコンのチャンネルボタンや［お好み選局］に登録しておくと便利です。

① 設定したいチャンネルを視聴する

② お好み選局 を約3秒間押す

- 設定画面が表示されます。

③ 画面に表示されるボタンを選んで、決定 を押す

- 設定したチャンネルを削除するには、削除したいボタンを選び、お好み選局を1秒以上押してください。

お知らせ

- チャンネル設定の「リモコン」で1～12に設定したチャンネルは、リモコンのチャンネルボタンで選局できます。またお好み選局の1ページ目の1～12に表示されます。
- チャンネル設定の「リモコン」で13～24に設定したチャンネルは、お好み選局の2ページ目の1～12に表示されます。
- チャンネル設定の「リモコン」で25～36に設定したチャンネルは、お好み選局の3ページ目の1～12に表示されます。

お買い上げ時のチャンネル設定は以下のようになっています。
（放送局名やチャンネルは、実際の表示と異なる場合があります）

●BS デジタル放送

リモコン	チャンネル	放送局名
①	101	NHK BS1
②	102	NHK BS2
③	103	NHK ハイビジョン
④	141	BS 日テレ
⑤	151	BS 朝日
⑥	161	BS-i
⑦	171	BS ジャパン
⑧	181	BS フジ
⑨	191	WOWOW
⑩0	200	スター・チャンネル
⑪*	700	NHK データ 1
⑫#	701	NHK データ 2

（2004 年 4 月現在）

お知らせ

- 地上アナログ放送、地上デジタル放送の受信チャンネルは、地域によって異なります。
- 110度CSデジタル放送の受信チャンネルは、放送事業者とのご契約によって異なります。
- **110度CSデジタル放送のお問い合わせ先**
  スカパー!110 カスタマーセンター
  TEL　0570-012-110（ナビダイヤル）または
  　　　045-339-0002
  受付時間　　10:00 ～ 20:00（年中無休）
  URL　http://www.skyperfectv110.jp/

■デジタル放送で チャンネル+/− を押して順送りできるチャンネルを選ぶ(選局対象)

1. ホームメニュー を押す
2. [デジタルシステム設定]を選んで、決定 を押す
3. [選局対象]を選ぶ
4. ← → で項目を選ぶ

[お好み]	:リモコンの[1]~[12]に設定されているチャンネルとデジタル放送のチャンネル設定で設定した13~36までのチャンネル
[テレビ]	:テレビ放送(映像および音声)のチャンネルのみ
[ラジオ]	:ラジオ放送(音声のみ)のチャンネルのみ
[データ]	:データ放送のチャンネルのみ
[すべて]	:現在放送されているすべてのチャンネル

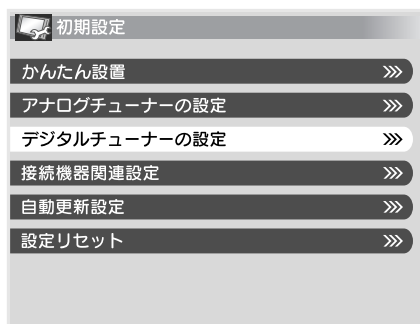
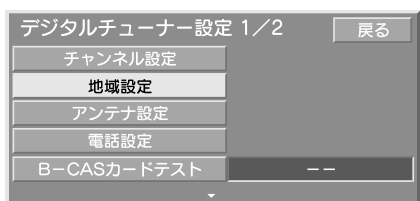
5. 終わったら 元の画面 を押す

地域を設定する

デジタル放送の緊急警報放送やデータ放送時におけるお客様の地域に関する情報を受信するための設定です。

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定]を選んで、決定 を押す

3 [デジタルチューナーの設定]を選んで、決定 を押す

4 [地域設定]を選んで、決定 を押す

5 [県域設定]を選んで、← → でお住まいの都道府県を選ぶ

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、［東京都島部］を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、［鹿児島県島部］を選んでください。

6 [郵便番号]を選んで、決定 を押す

7 1 〜 10₀ でお住まいの地域の7桁の郵便番号を入力して、決定 を押す

- 12# を押すたびに最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

8 登録確認をする画面で[はい]を選んで、決定 を押す

[は　い]	：入力した郵便番号が登録されます。
[いいえ]	：入力した郵便番号が取り消され［地域設定］画面に戻ります。

9 終わったら 元の画面 を押す

●[地域設定]を取り消すには

① 「地域を設定する」の手順⑤で[地域設定取消し]を選んで、決定 を押す

② [はい]を選んで、決定 を押す

[は　い]	：	［県域設定］と［郵便番号］をお買い上げ時の設定に戻します。
[いいえ]	：	［地域設定］画面に戻ります。

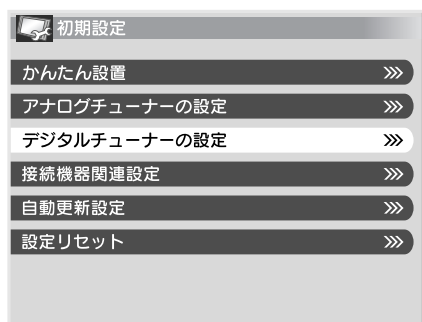
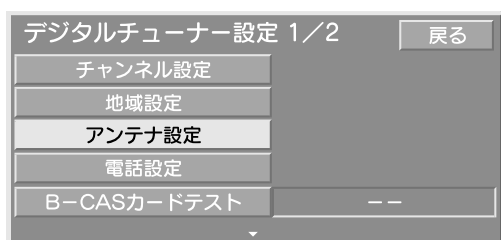
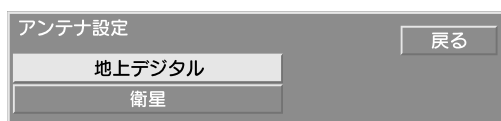
③ 終わったら 元の画面 を押す

アンテナ設定

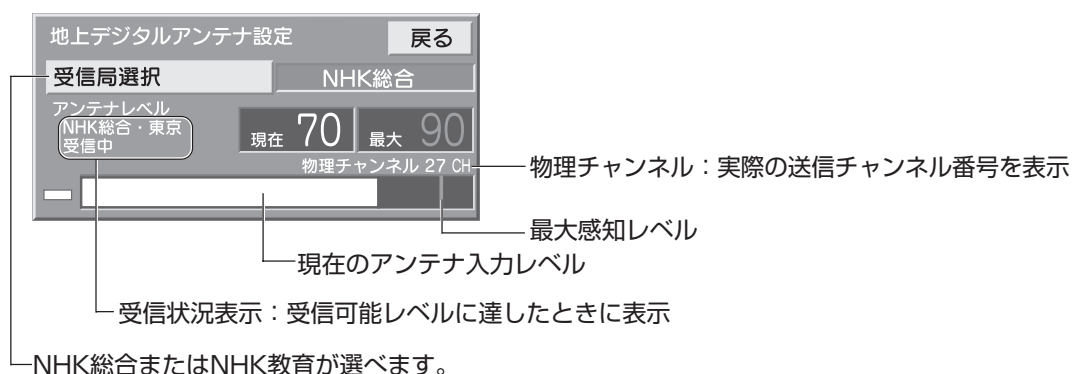
衛星アンテナへの電源供給やアンテナ入力レベルの確認ができます。

共通手順

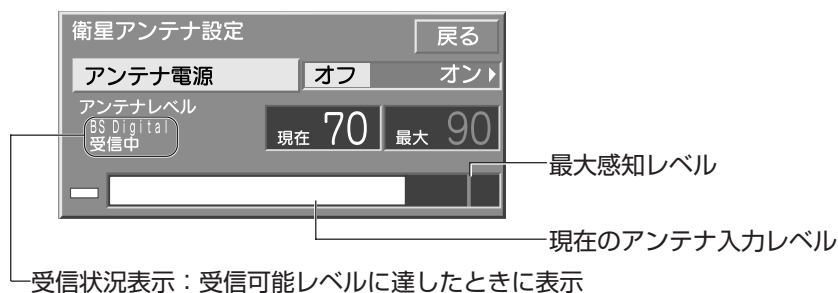
1. ホームメニューを押す
2. [初期設定]を選んで、決定を押す

3. [デジタルチューナーの設定]を選んで、決定を押す

4. [アンテナ設定]を選んで、決定を押す

5. [地上デジタル]または[衛星]を選んで、決定を押す

地上デジタル放送のアンテナ入力レベルを確認する
（地上デジタル）

衛星アンテナへの電源供給やアンテナ入力レベルの確認をする
（衛星）

① アンテナの向きを調整し、アンテナの入力レベルを最大にする

① [アンテナ電源]を選んで、← →で設定する

[オン]	：	個別に衛星アンテナを設置して受信する場合に設定してください。衛星アンテナへ電源が供給されます。
[オフ] *	：	マンションなどで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

② アンテナの向きを調整し、アンテナの入力レベルを最大にする

- 衛星アンテナの仰角・方位角の調整方法は衛星アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- 衛星アンテナの調整は、アンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。受信状況表示に［他の衛星受信中］と表示されている場合は、BS・110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。正しい向きをご確認のうえ、もう一度アンテナを調整してください。
- アンテナの最大入力レベルは、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。
- 110度CSデジタル放送を受信してアンテナの調整を行うと、そのままの状態でＢＳデジタル放送も受信できます。(もう一度BSデジタル放送を受信してBS用に調整する必要はありません。)

終了するときは、元の画面を押す

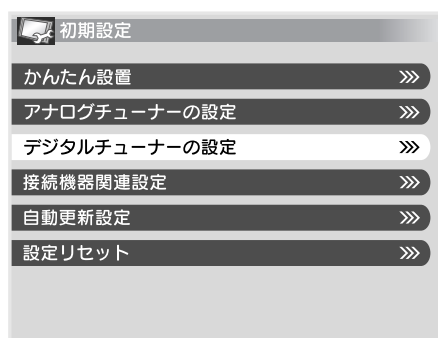
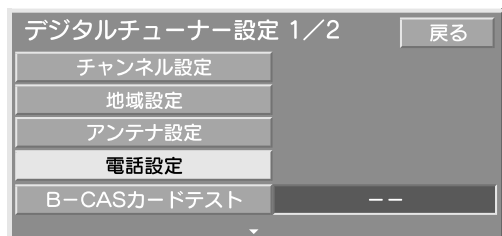
電話設定

デジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への接続が行われます。電話回線に接続（→31ページ）をしたうえ、必要に応じて電話設定を行ってください。

共通手順

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定]を選んで、決定 を押す

3 [デジタルチューナーの設定]を選んで、決定 を押す

4 [電話設定]を選んで、決定 を押す

5 各項目を選ぶ

- ［発信者番号通知］、［電話会社設定］、［マイラインプラス］を設定するときは ↓ を押して２ページ目を表示させてください。

電話回線を設定する
（回線設定）
（トーン検出）

外線電話に0発信などが必要なときは
（内線設定）

電話設定が正しいかどうか確認する
（電話テスト）

相手に電話番号を通知するかどうかを選ぶ
（発信者番号通知）

本機から電話をかけるときのみ
電話会社を変えたいとき
（電話会社設定）
（マイラインプラス）

■回線設定

① [回線設定]を選んで、← →で設定する

[自動]*	:[電話テスト]をすると、自動的に電話回線が設定されます。
自動でうまく設定できないときは	
[プッシュ]	:プッシュ回線のときに選びます。
[ダイヤル20][ダイヤル10]	:20PPSまたは10PPSのダイヤル回線のときに選びます。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

- 次の場合は[プッシュ]に設定してください。
  ーISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続しているとき
  ーデジタルコードレス電話機でワイヤレスリンク接続しているとき

■トーン検出

① [トーン検出]を選んで、← →で設定する

[する]	:通常はこの設定でお使いください。
[しない]	:内線電話のときに設定します。

- [しない]のとき、同じ回線に接続した電話機などを使用中に本機で番組購入記録などの送信操作をすると、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。
- 回線設定が[自動]のときは、トーン検出は[する]に固定されます。

① [内線設定]を選んで、決定を押す

② 内線発信番号を入力して決定を押す

- 青を押すと","(カンマ)が入力されます。","(カンマ)1つで3秒間の待ち設定になります。
- 赤を押すたびに最後の桁を1つずつ取り消すことができます。
- 登録している内線発信番号を取り消すときは何も入力せずに決定を押し、[はい]を選びます。

③ [はい]を選んで、決定を押す

① [電話テスト]を選んで、決定を押す

[OK]	:正常に終了しました。
[NG]	:不具合が発生しています。表示される説明に従ってください。
[テスト中]	:テスト中です。
[ーー]	:テストしていません。

- 電話テストは、最大約3分かかります。
- 電話テストは、同じ回線に接続している電話機などが使われていない状態で行ってください。
- 電話テストをすると接続先までの電話料金がかかることがあります。

① [発信者番号通知]を選んで、← →で設定する

[指定なし]*	:お客様と電話会社との契約内容に従います。
[通知する]	:相手に通知します。
[通知しない]	:相手に通知しません。

- [指定なし][通知しない]に設定しても、データ放送によっては通知することがあります。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

① 電話会社番号を入力して決定を押す

② [はい]を選んで、決定を押す

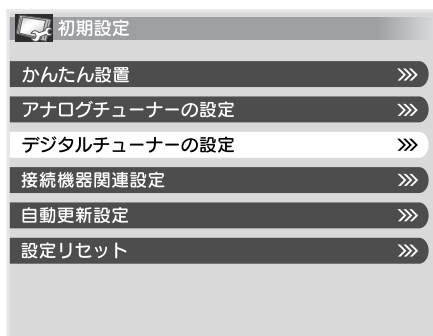
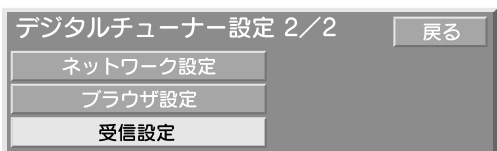
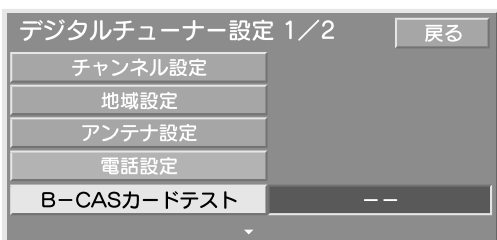
③ マイラインプラスを契約のとき[マイラインプラス]を選んで、← →で[解除する]を選ぶ

終了するときは、元の画面を押す

準備する

電話設定

B-CAS カードテスト／受信設定

共通手順

1. ホームメニューを押す
2. [初期設定]を選んで、決定を押す
3. [デジタルチューナーの設定]を選んで、決定を押す
4. 各項目を選ぶ

B-CASカードの動作を確認する

(B-CASカードテスト)

アンテナ入力レベルを確認する

（受信設定-地上デジタル）

BS・110度CSデジタル放送局からの案内があるとき

（受信設定-衛星）

本機にB-CASカードを挿入して3秒以上たってからテストを行ってください。

① [B-CASカードテスト]を選んで、決定を押す

- テスト結果が表示されます。

[OK]	:正常に動作しています。
[NG]	:正常に動作していません。B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないカードが挿入されていないか、などを確認してください。
[テスト中]	:テスト中です。
[−−]	:テストしていません。

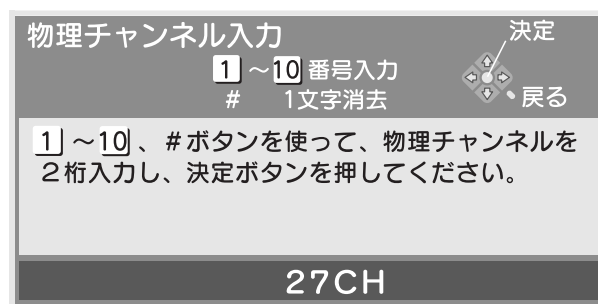
地上デジタル放送の物理チャンネルのアンテナ入力レベルを確認します。

① [受信設定]を選んで、決定を押す

② [地上デジタル]を選んで、決定を押す

受信状況表示：受信可能レベルに達したときに表示

③ [物理チャンネル選択]を選んで、決定を押す

④ 1～10₀を使って[物理チャンネル]を入力して決定を押す

- 入力した物理チャンネルのアンテナレベルが手順②の画面に表示されます。

① [受信設定]を選んで、決定を押す

② [衛星]を選んで、決定を押す

- 以降の操作はBS・110度CSデジタル放送局からの案内に従ってください。

ご注意

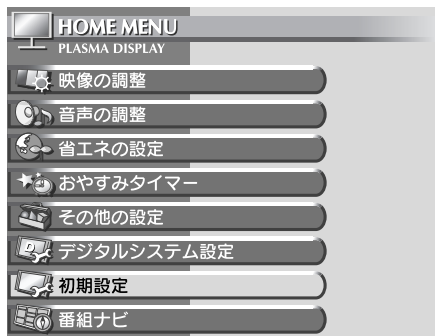
- BS・110度CSデジタル放送局からの案内がないかぎり設定を変えないでください。設定を変更するとBS・110度CSデジタル放送が視聴できなくなることがあります。

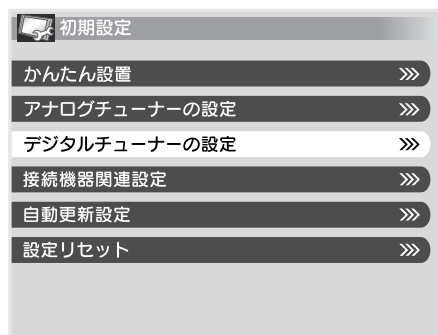
終了するときは、元の画面を押す

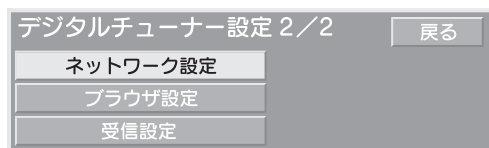
ネットワークの設定

本機をネットワークにつないで楽しむために、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定とDNSの設定を行ってください。また設定後には必ず、接続テストを行ってください。

共通手順

1 ホームメニューを押す

2 [初期設定]を選んで、決定を押す

3 [デジタルチューナーの設定]を選んで、決定を押す

4 [ネットワーク設定]を選んで、決定を押す

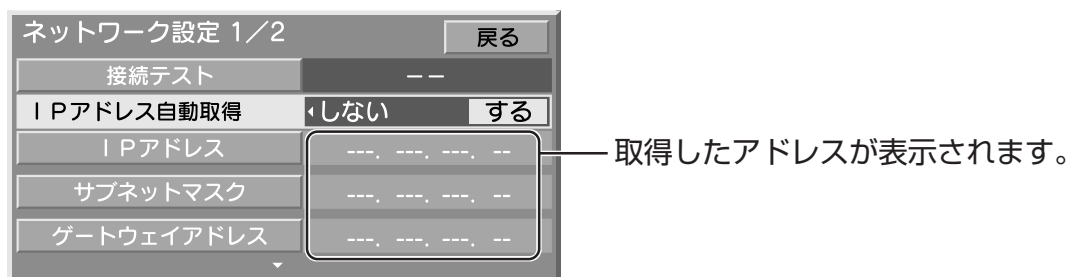
- ↓を押すと２ページ目の設定画面が表示されます。

各種アドレスを設定する

（IPアドレス）
（サブネットマスク）
（ゲートウェイアドレス）

お知らせ

- ネットワーク機器との接続については「ネットワークにつなぐ」（→33ページ）をご覧ください。

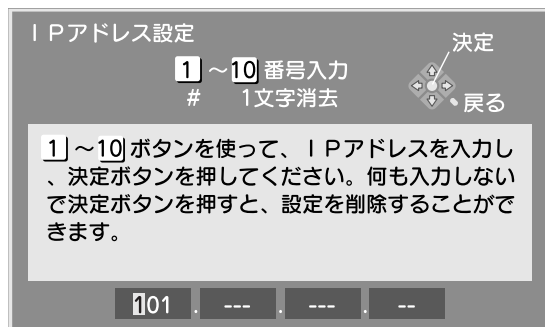
●DHCPでの自動取得が使えるときは

① [IPアドレス自動取得]を選び、← →で[する]を選ぶ

- ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いのときは、通常DHCPでのIPアドレス自動取得が使えます。不明の場合は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

●手動で入力するときは

① [IPアドレス自動取得]を選び、← →で[しない]を選ぶ

② [IPアドレス]を選んで、決定を押す

③ 1～10₀を使ってIPアドレスを入力し、決定を押す

- 間違って入力したときは、12#（1文字消去）を押すたびに最後の桁を取り消すことができます。

④ 確認画面で決定を押す

⑤ 必要に応じて[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を選んで、決定を押す

⑥ それぞれを入力し、決定を押す

⑦ 確認画面で決定を押す

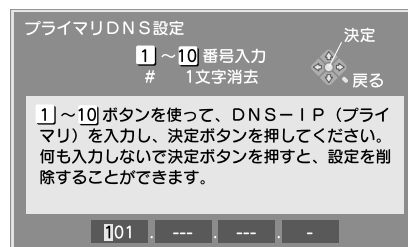
- 設定は［接続テスト］（→62ページ）を行うと有効になります。

ネットワークの設定（つづき）

はじめに60ページの共通手順を行ってください。

DNSを設定する
（プライマリDNS）
（セカンダリDNS）

●DHCPでの自動取得が使えるときは

1. [DNS-IP自動取得]を選び、← →で[する]を選ぶ

取得したアドレスが表示されます。

●手動で入力するときは

1. [DNS-IP自動取得]を選び、← →で[しない]を選ぶ
2. [プライマリDNS]を選んで、決定を押す
3. 1～10を使ってプライマリDNSを入力し、決定を押す
4. 確認画面で「はい」を選んで、決定を押す
   - 間違って入力したときは、12(1文字消去)を押すたびに最後の桁を取り消すことができます。

5. 必要に応じて[セカンダリDNS]を選んで、決定を押す
6. セカンダリDNSを入力し、決定を押す
   - 設定は下記の[接続テスト]を行うと有効になります。

設定を確認する
（接続テスト）

1. [接続テスト]を選んで、決定を押す

[OK]	：接続が完了しました。
[NG]	：ネットワーク機器との接続（→33ページ）と上記の設定を確認して、不具合を修正した後にもう一度テストしてください。
[テスト中]	：テスト中

2. 終わったら元の画面を押す

インターネットの設定（ブラウザ設定）

プロバイダーからの指定がある場合には、プロキシを設定してください。また設定後には必ず、接続テストを行ってください。

次ページにつづく

インターネットの設定（ブラウザ設定）（つづき）

はじめに63ページの共通手順を行ってください。

プロキシを設定する（プロキシアドレス、プロキシポート番号）

① [プロキシアドレス]を選んで、決定を押す

ブラウザ設定	戻る
標準に戻す	
プロキシアドレス	
プロキシポート番号	0
ホームアドレス	https://t-navi.tv/
接続テスト	

② 1～10₀を使ってプロキシアドレスを入力して、決定を押す
③ [はい]を選んで、決定を押す
④ [プロキシポート番号]を選んで、決定を押す
⑤ 1～10₀を使ってポート番号を入力して、決定を押す
⑥ [はい]を選んで、決定を押す

ホームのアドレス(URL)を確認する（ホームアドレス）

「ネット操作」（→116ページ）で［ホーム］を選んだときのページのアドレス（URL）が表示されます。

ネットワーク設定とプロキシ設定を確認する（接続テスト）

① [接続テスト]を選んで、決定を押す

ブラウザ設定	戻る
標準に戻す	
プロキシアドレス	×××.×××.××.××
プロキシポート番号	9000
ホームアドレス	https://t-navi.tv/
接続テスト	

●正しく接続できたとき
- 接続テスト用サイトにつながり、正しく接続したことを示すメッセージが表示されます。

●正しく接続できなかったとき
- メッセージが表示されます（→134ページ）。メッセージ内容に従って、ネットワーク機器との接続（→33ページ）と上記の設定を確認して、もう一度テストしてください。

② 終わったら元の画面を押す

ブラウザ設定を元に戻す（標準に戻す）

プロキシアドレスやホームアドレスをお買い上げ時の設定に戻します。

① [標準に戻す]を選んで、決定を押す
② [はい]を選んで、決定を押す
③ 終わったら元の画面を押す

■デジタル音声入力(光)対応のオーディオ機器をつなぐ

本機のデジタル音声出力（光）端子を使うときに設定します。

1. ホームメニュー を押す
2. [初期設定]を選んで、決定 を押す
3. [接続機器関連設定]を選んで、決定 を押す
4. [デジタル音声出力]を選んで、← → で項目を設定する

[PCM]＊	：AACフォーマット未対応のオーディオ機器を接続するときに設定します。
[AAC]	：AACフォーマット対応のオーディオ機器を接続するときに設定します。
[自動]	：AACフォーマット対応のオーディオ機器を接続するときに設定します。サラウンド・ステレオの番組のみ自動的に［AAC］に切り換えます。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

- ［AAC］に設定すると、字幕放送やデータ放送の効果音は、本機のデジタル音声出力（光）端子から出力されません。この場合は、［PCM］に設定するか、モニター/録画出力端子や音声出力端子をご使用ください。
- 地上アナログ放送や、音声入力端子（ビデオ１～4・PC）からの音声は、設定に関係なく［PCM］に変換して出力します。
- AACフォーマット対応アンプを接続する場合、［PCM］と［AAC］の入力に対し自動切り換え機能のあるものをお勧めします。

5. 設定が終わったら 元の画面 を押す

お知らせ

- HDMI端子（ビデオ3入力）からの入力信号（デジタル音声）をデジタル音声出力（光）端子から出力することはできません。

■モニター/録画出力端子の設定(モニター出力の設定)

録画機器を接続したときに、映像や音声が乱れないようにモニター/録画出力端子から出力する信号を制限できます。

1. ホームメニュー を押す
2. [その他の設定]を選んで、決定 を押す
3. [モニター出力の設定]を選んで、決定 を押す
4. 項目を選んで、決定 を押す
5. 終わったら 元の画面 を押す

［常に出力する］： すべての入力端子からの信号を出力します。
［ビデオ1信号を出力しない］＊～［ビデオ4信号を出力しない］： ビデオ1～4入力端子いずれかの信号を出力しません。 お買い上げ時は［ビデオ1信号を出力しない］に設定してあります。
［D-VHS＿信号を出力しない］： （i.LINK接続時に表示されます） i.LINK端子からの信号を出力しません。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

■HDMI接続の設定（HDMI入力）

1 ビデオ3 を押す

- 簡単リモコンや、ディスプレイ右側面の操作パネルで操作するときには 入力切換 を押して［ビデオ 3］を選びます。

2 ホームメニュー を押す

3 ［その他の設定］を選んで、決定 を押す

4 ［HDMI入力］を選んで、決定 を押す

5 項目を選んで、決定 を押す

設定	
［使用しない］＊	：機器とD端子（ビデオ3入力）で接続するときに選びます。
［使用する］	：機器とHDMI端子（ビデオ3入力/アナログ音声）で接続するときに選びます。

映像　HDMI 端子から入力する映像信号を設定します。	
［自動］＊	：入力信号に合わせて自動的に設定するときに選びます。
［カラー1］～［カラー3］	：自動で色が正しく表示されないとき、正常に表示されるよう最適な設定を選びます。

音声　音声信号の入力方法を設定します。	
［自動］＊	：HDMI端子と音声入力（ビデオ3入力）を併用して接続するときに選びます。自動的にデジタル音声とアナログ音声が切り換わります。
［デジタル固定］	：HDMI端子だけで接続するときに選びます。
［アナログ固定］	：HDMI端子と音声入力（アナログ音声）を併用して接続するときに選びます。音声はアナログ音声に固定されます。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

6 設定が終わったら 元の画面 を押す

お知らせ

- HDMI接続の設定をする前に、HDMI機器を次の解像度に設定してください。
  - 720 × 480 ピクセルのプログレッシブ映像
  - 720 × 480 ピクセルのインターレース映像
  - 1280 × 720 ピクセルのプログレッシブ映像
  - 1920 × 1080 ピクセルのインターレース映像

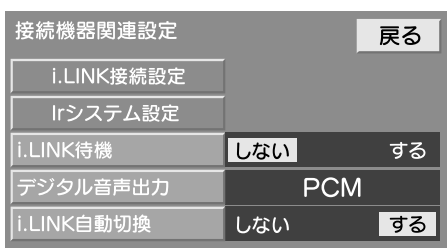
i.LINK 接続の設定

共通手順

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定]を選んで、決定 を押す

3 [接続機器関連設定]を選んで、決定 を押す

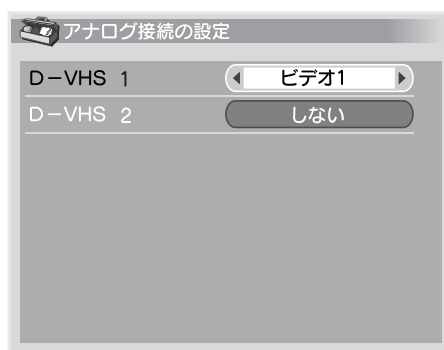
4 各項目を選ぶ

■i.LINK 接続した機器のアナログ接続設定

VHS や S-VHS で録画されたテープを D-VHS ビデオデッキで見るための設定です。

1 ホームメニュー を押す

2 [その他の設定]を選んで、決定 を押す

3 [アナログ接続の設定]を選んで、決定 を押す

4 機器を選んで、← → で設定する

[しない]	：デジタルからアナログ（またはその逆）に切り換えたとき、本機の入力を自動的に切り換えません。
[ビデオ1 ～ 4]	：本機に接続されているビデオ入力（1 ～ 4）を選びます。

- 接続機器が1台のみの場合は、［アナログ接続の設定］画面の項目は1つだけ表示されます。

5 終わったら 元の画面 を押す

i.LINK 接続の設定（つづき）

はじめに67ページの共通手順を行ってください。

D-VHSビデオデッキの設定（i.LINK接続設定）

本機でi.LINK対応D-VHSビデオデッキの操作や予約録画を行うには、［i.LINK接続設定］が設定されている必要があります。本機で設定できるi.LINK対応D-VHSビデオデッキは2台です。

① ［i.LINK接続設定］を選んで、決定を押す

② 接続しているi.LINK機器を確認する

［機器］	： i.LINK接続されているD-VHSビデオデッキ名（D-VHS＋番号（接続した順番））が表示されます。		
［メーカー］	： i.LINK接続されているD-VHSビデオデッキのメーカー名が表示されます。本機で認識できない場合は［不明］と表示されます。		
［機種］	： i.LINK 接続されているD-VHSビデオデッキの機種名が表示されます。本機で認識できない場合は［不明］と表示されます。		
［接続状態］	［オン］	：電源［入］で接続中	
	［オフ］	：電源［切］で接続中（i.LINKで制御できる）	
	［未接続］	：一度接続したが現在は接続していない（i.LINKで制御できない）	
	［予約］	：予約録画の待機中	
	［不明］	：制御できない機器、または［使用］の項目が［しない］に設定されている機器	
［使用］	［する］	：本機で制御する設定	
	［しない］	：本機で制御しない設定	
	［不可］	：本機で制御できない機器	

設定を変更するには「i.LINK接続の設定を変更する」（→69ページ）を行ってください。

i.LINK入力を自動で切り換える（i.LINK自動切換）

i.LINK機器での再生時に本機の入力を自動的に切り換えるかどうかを設定します。

① ［i.LINK自動切換］を選んで、← →で設定する

［する］＊	： 本機の入力を切り換え、（i.LINK待機が［する］の場合は、電源スタンバイ状態から自動的に電源を「入」にして）再生画面を表示します。
［しない］	：本機の入力切り換え、および再生画面の自動表示はしません。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

終了するときは、元の画面を押す

i.LINK 接続の設定を変更する

使用する i.LINK 機器を設定または変更する場合に行います。

① [i.LINK接続設定]を選んで、決定を押す

② 設定または変更したい機器を選んで、決定を押す

③ 設定を選んで、決定を押す

[使用する]	：本機で使用する設定に変更します。[使用しない]に設定しているときのみ表示されます。
[使用しない]	：本機で使用しない設定に変更します。[使用する]に設定しているときにのみ表示されます。
[削除する]	：機器を[i.LINK接続設定]画面から削除できます。[接続状態]が[未接続]の場合にのみ表示されます。

- [使用する]に設定できる機器は2台までです。他の機器を使いたいときは[使用する]に設定されている機器の一つを[使用しない]に設定すると[使用する]に設定できます。

電源スタンバイ時に、i.LINK機器からの制御を受け付けるかどうかを設定する（i.LINK待機）

i.LINK 機器を接続していない場合は、消費電力が少なくなる[しない]に設定してください。

① [i.LINK待機]を選んで、← →で設定する

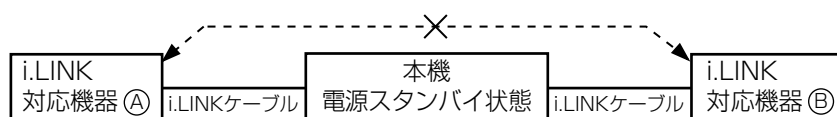
[する]	：電源スタンバイ状態にすると、機能待機状態になります（機能待機インジケーターが橙色に点灯）。本機からの信号出力は停止しますが、i.LINK機器からの信号の中継や制御ができます。
[しない]＊	：電源スタンバイ時の消費電力を少なくします。電源スタンバイ状態にすると、スタンバイインジケーターが赤色に点灯し、本機からの信号出力を停止します。また、i.LINK 機器からの信号の中継や制御ができません。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

お知らせ

- 複数のi.LINK機器をi.LINK接続した場合、[i.LINK待機]を[しない]にして電源スタンバイ状態にすると、本機を中継した機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。
  また、電源[入]時にのみi.LINK機器を使用する場合は、[しない]に設定してご使用ください。

Ⓐ Ⓑ 間の制御やデータのやりとりができない

i.LINK 対応機器 Ⓐ — i.LINKケーブル — 本機 電源スタンバイ状態 — i.LINKケーブル — i.LINK 対応機器 Ⓑ

終了するときは、元の画面を押す

Ir システムの設定

録画機器とIrシステムケーブルを接続したあとに、Irシステムを設定します。

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定]を選んで、決定 を押す

3 [接続機器関連設定]を選んで、決定 を押す

4 [Irシステム設定]を選んで、決定 を押す

5 調整したい項目を選んで、← → で設定する

[Irシステム]
[オン]　Irシステムを使います。
[オフ]＊ Irシステムを使いません。
[メーカー]
接続機器のメーカー名を選びます。本機で設定できる録画機器メーカー：パイオニア＊、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC（ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります）
[リモコン種別]
メーカーにより複数のリモコン信号を使っているため、録画機器を操作できるリモコン種別が異なります。下記のテストをしても、機器が動かないとき他のリモコン種別に切り換えてください。
例）当社製DVDレコーダー（DVR-710Hなど）をIrシステム接続する場合、リモコン種別はDVDレコーダー1＊～3の中からひとつを選びます。DVR-3000またはDVR-1000をご使用の場合は、DVR3000 1～3のいずれかに設定してください。

[外部入力]
［メーカー］の設定が松下で、［リモコン種別］の設定がビデオ1～3、DVDレコーダー1～3のときのみ設定できます。本機の映像・音声の信号が、ビデオデッキ側の外部入力端子のどこに入っているか調べて、その番号を選びます。

＊印は、お買い上げ時の設定です

メーカー	リモコン種別
パイオニア	DVDレコーダー1＊～3 DVR3000 1～3
松下	ビデオ1～5、 DVDレコーダー1～3
ビクター	ビデオ1～5
東芝	ビデオ1・2
三菱	ビデオ1～4
三洋	
シャープ	ビデオ1～3
ソニー	
日立	
アイワ	
NEC	ビデオ1～4

6 [テスト]を選んで、決定 を押す

- テストは、録画機器が予約待機状態や予約録画実行中でないときに行ってください。

7 Irシステムケーブル接続が正常に接続されたか確認する

- 録画機器の電源が「入」「切」するか確認してください。
- テスト中は、「送信中」が表示されます。テストを中止する場合は、もう一度決定を押します。

8 「テスト」画面で録画機器の電源が「入」「切」したら、決定を押す

- 設定が終了したら、録画機器の電源を「切」にします。

9 終わったら元の画面を押す

ご注意

- Irシステムケーブルの取り付け位置が適切でない場合、Ir システムのテストで、どの設定を選んでも録画機器の電源が「入」にならないことがあります。その場合は、テストをくり返して録画機器の電源が確実に「入」になる取り付け位置を見つけ、その位置にIrシステムケーブルを固定してください。また、Ir システムの発光部が録画機器のリモコン受光部に確実に向いているか、もう一度ご確認ください。
- ［外部入力］は、必ず本機と接続している録画機器の外部入力端子の番号に設定してください。この設定を間違えると、本機でタイマー予約の設定をしてもデジタル放送の番組は録画できません。

お知らせ

- 設定が有効でない項目は灰色で表示されます。

●録画機器の電源が「入」「切」しないとき

1. 録画機器のリモコンで、電源を「入」「切」できるか確認する
2. Irシステムケーブルの接続と設置を確認する
3. 複数のリモコン信号があるメーカーの録画機器の場合、「リモコン種別」の設定を変更する

- ［テスト］のリモコン信号を受け付けない録画機器の場合は、本機のIrシステムは使えません。この場合、Ir システムの設定を［オフ］にして、録画機器側で録画操作をしてください。
- テスト中は［メーカー］の設定などを変えることはできません。また、カーソルを移動させると、テストは中止されます。

自動更新の設定（ダウンロード予約）

衛星から送られてきたデータを本機に取り込む（ダウンロードする）ことにより、本機のソフトを更新します。デジタルチューナーの機能向上や新たなサービスに対応できるようになります。

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定]を選んで、決定 を押す

3 [自動更新設定]を選んで、決定 を押す

4 [ダウンロード予約]を選んで、← → で設定する

[自動]＊	：電源スタンバイ状態のときに自動的にダウンロードを行います。
[手動]	：ダウンロード情報が届いたとき、メールでお知らせします。メールを確認して、ダウンロード予約［する］か［しない］を選びます。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

5 終わったら 元の画面 を押す

●[ダウンロード予約選択メール]での設定

［手動］のときに、重要なダウンロード情報が届いた場合は、ダウンロード予約選択メールが届きます。「放送メール」（→ 110 ページ）でメールを確認し、［ダウンロード予約］を設定してください。

[する]	：ダウンロード予約を行う。
[しない]	：ダウンロード予約を行わない。
[戻る]	：メールの一覧に戻ります。

お知らせ

- ダウンロード実行中は、放熱のためメディアレシーバー背面のファンが回転しますが故障ではありません。
- ［ダウンロード予約］が［手動］のとき、メールでダウンロードの実行結果が届きます（→110ページ）。
- ダウンロードは悪天候のときなどに失敗することがあります。
- ダウンロード機能をお使いいただくため、本機の使用後はリモコンの電源ボタンを押して、スタンバイ状態にしておくことをお勧めします。

設定をリセットする（設定リセット）

共通手順

1. ホームメニューを押す
2. [初期設定]を選んで、決定を押す
3. [設定リセット]を選んで、決定を押す

設定をリセットする（設定項目リセット）

［衛星アンテナ設定］［電話設定］の設定値をお買い上げ時に戻します。

1. [設定項目リセット]を選んで、決定を押す
2. [はい]を選んで、決定を押す

ご注意

- 正常に受信できているときは実行しないでください。放送を受信できなくなる場合があります。

設定をリセットする（個人情報リセット）

廃棄などで本機を手放すときに本機に記録されているお客様の個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）をすべて消去します。

1. [個人情報リセット]を選んで、3秒以上決定を押す
2. [はい]を選んで、決定を押す

ご注意

- 廃棄などで本機を手放すとき以外は実行しないでください。

終了するときは、元の画面を押す

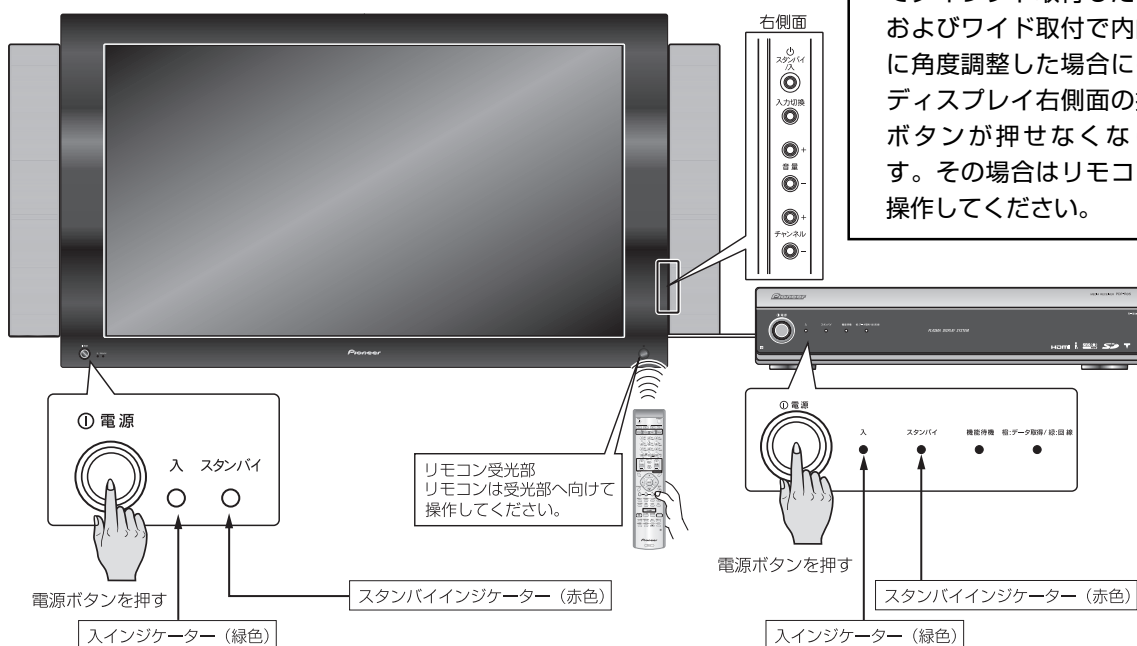
テレビを楽しむ（地上アナログ放送

1 メディアレシーバーとディスプレイの[電源]を押して、主電源を入れる

スタンバイ状態（スタンバイインジケーターが赤色で点灯）、または動作状態（入インジケーターが緑色で点灯）になります。

- スタンバイ状態のとき、手順2に進みます。
- 動作状態のとき、手順3に進みます。

ご注意

- PDP-505HDL/435HDLでダイレクト取付した場合およびワイド取付で内向きに角度調整した場合には、ディスプレイ右側面の操作ボタンが押せなくなります。その場合はリモコンで操作してください。

2 リモコンの 電源 を押して、電源を入れる

- 入インジケーターが緑色に点灯します。
- リモコン、簡単リモコンのどちらでも操作できます。
- ディスプレイ右側面の操作パネルでも操作することができます。

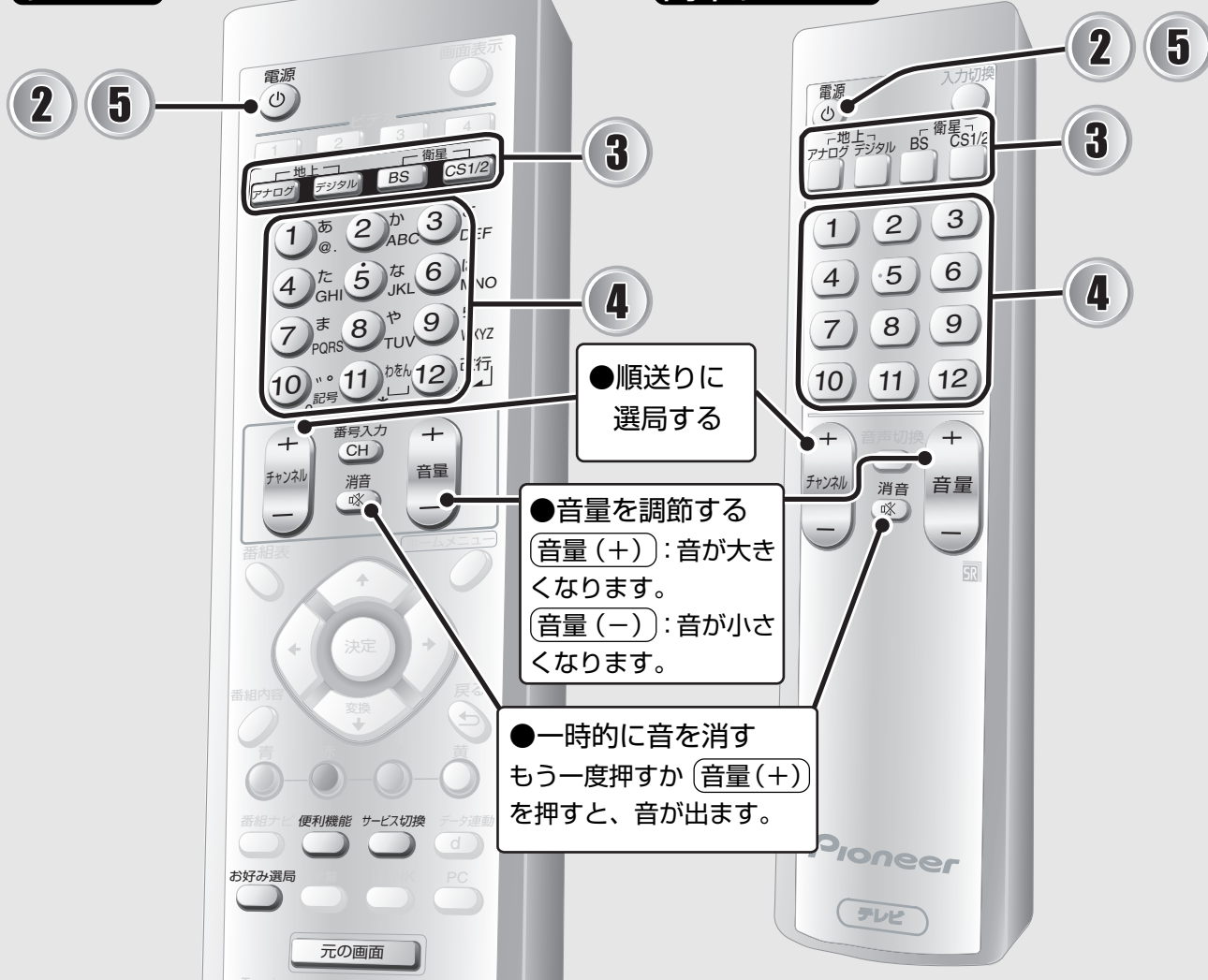
3 リモコンの放送切換ボタンで放送を選ぶ

アナログ ：地上アナログ放送
デジタル ：地上デジタル放送
BS ：BS デジタル放送
CS1/2 ：110 度 CS デジタル放送（押すたびに CS1 と CS2 が切り換わります。）

4 リモコンの 1 ～ 12# を押して、チャンネルを選局する

5 電源を切るときは、リモコンの 電源 を押す

ご注意

- リモコンはご使用前に必ず乾電池を入れてください。乾電池の入れかた（→20ページ）
- 本機はスタンバイ状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。本機のご使用後は、リモコンの 電源 ボタンを押してスタンバイ状態にしておくことをお勧めします。

●チャンネル番号で選局する（デジタル放送）

1 リモコンの CH番号入力 を押す

- ［チャンネル番号入力］画面になります。［チャンネル番号入力］画面表示中に CH番号入力 を押すと、放送を切り換えることができます。

2 リモコンの 1～10₀ で、見たいチャンネルのチャンネル番号（3桁）を入力する

- 1つの番号を押してから、5秒以内に次の番号を押してください。
- 「0」を入力するにはリモコンの 10₀ を押します。

●同じチャンネルに複数の放送が割り当てられているときの選局（地上デジタル放送）

1 地上デジタル放送の画面でリモコンの 便利機能 を押す

2 ［枝番選局］を選んで、決定 を押す

- 放送局リストが表示されます。
- 同じチャンネル番号に割り当てられた放送が、複数局受信されたときに枝番号が表示されます。

3 放送局を選んで、決定 を押す

- CH番号入力 を押すと、選ばれている枝番の放送局にチェックマークが付きます。チャンネル番号入力時には、その放送局が選ばれます。

●お好み選局で選ぶ（デジタル放送）（→51ページ）

1 見たいデジタル放送に切り換える

- 地上デジタル 、BS 、CS1/2 で放送を切り換えます。

2 リモコンの お好み選局 を押す

- お好み選局画面が表示されます。
  お好み選局 を押すたびに次のページに切り換わります。

3 視聴したいチャンネルを選んで、決定 を押す

- お好み選局画面を消すには、元の画面 を押す。
- 選んだチャンネルが、有料番組（ペイ・パー・ビュー）や視聴制限のある場合は、手続きが必要になります。

●ラジオ番組や独立データ番組を視聴するには（サービス切換）

1 地上デジタル 、BS 、CS1/2 で視聴したいデジタル放送に切り換える

2 サービス切換 で視聴したい放送の種類を選ぶ

3 お好みのチャンネルを選んで、決定 を押す

- 簡単リモコンでは、デジタル放送のラジオ番組や独立データ番組を受信することはできません。

番組表で番組を選ぶ（番組表）

番組を番組表から選んで視聴したり、番組を予約（視聴・録画）したりできます。

共通手順

1 見たいデジタル放送に切り換える

- 地上デジタル、BS、CS1/2で放送を切り換えます。

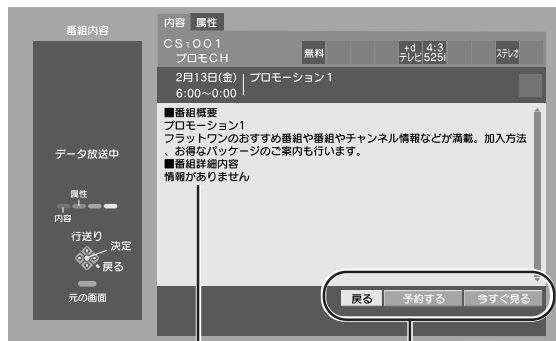
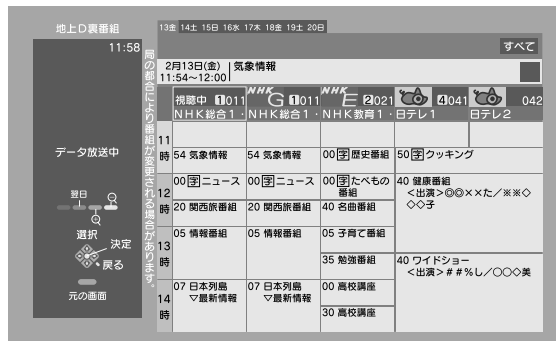
2 番組表を押す

3 番組を選んで、決定を押す

- 番組表を表示中にリモコンのサービス切換を押すと、切り換えた番組の番組表を表示することができます。

4 [今すぐ見る]か[予約する]を選んで、決定を押す

お知らせ

- 本機の電源を入れた直後は、番組表や番組内容表示、番組ナビなどの機能が働くまでに約1分程度かかることがあります。

放送予定の番組を見る （予約する）	① 予約方式から［見るだけ］を選ぶ ② ［予約する］を選んで、決定を押す • 予約時間になると番組が映ります。 **お知らせ** • 電源スタンバイ状態など、予約時間にテレビをご覧になっていないときは予約番組は映りません。
放送中の番組を見る （今すぐ見る）	選んだ番組が映ります。

■番組表の見かた

予約された番組
青色：見るだけ　赤色：録画

赤線部分には、放送時間の短い番組が存在します。
カーソルを合わせると番組を表示します。

お知らせ

- 選んだ番組は黄色で表示されます。
- 別の放送の番組表を見たいときは、 地上デジタル、BS、CS1/2で切り換えます。
- 別の日の番組表を見たいときは青で前日、 赤で翌日の番組表が表示されます。
- 番組表を拡大／縮小したいときは緑で拡大、 黄で縮小表示されます。
- CH番号入力を押して、3桁のチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルを含む番組表を表示できます。
- 最新の番組表を見るために、本機の主電源は切らずに、リモコンでスタンバイ状態にすることをお勧めします。
- 地上デジタル放送の番組データが表示されない場合は、その局を選んで、決定を押すと表示されます。（表示までに数分かかることもあります）

◎番組の詳細を表示する（画面表示、番組内容）

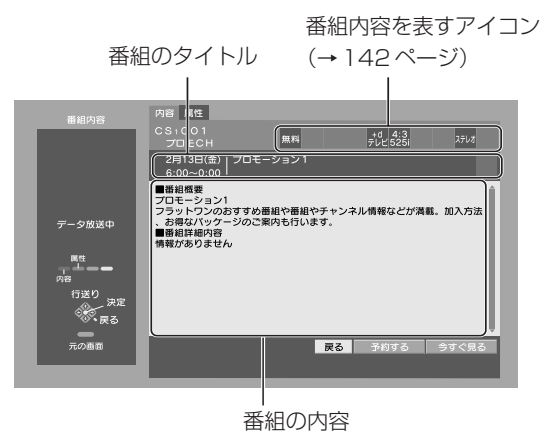
見ている画面や番組などの情報を表示します。

●アイコン表示されている番組の内容などを詳しく知りたいときは［赤］を押します。
［青］を押すと、[番組内容]画面に戻ります。

■画面内容を表示する

1 ［画面表示］を押す
- 情報を表示し、自動的に元の画面に戻ります。

■デジタル放送の番組内容を表示する

1 放送や番組表を見ているときに［番組内容］を押す

2 テレビ画面に戻るときは、［元の画面］を押す

音声を切り換える（音声切換）

複数の音声を同じチャンネルで放送しているデジタル放送や二カ国語（二重音声）放送、ステレオ放送のとき、お好みの音声に切り換えることができます。

1 を押す

- 番組に複数の音声があるとき、切り換えができます。
  - 二カ国語放送（二重音声）の場合は、「主音声」→「副音声」→「主音声＋副音声」の順で切り換わります。
  - ステレオ放送（地上アナログ放送のみ）の場合は、「ステレオ」→「モノラル」の順で切り換わります。
  - デジタル放送の場合は、「音声１」→「音声２」→「音声３」の順で切り換わります。

ご注意

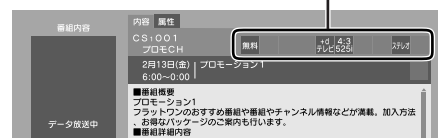
- 切り換えできる音声は番組によって異なります。また、切り換えた音声が有料の場合もあります。

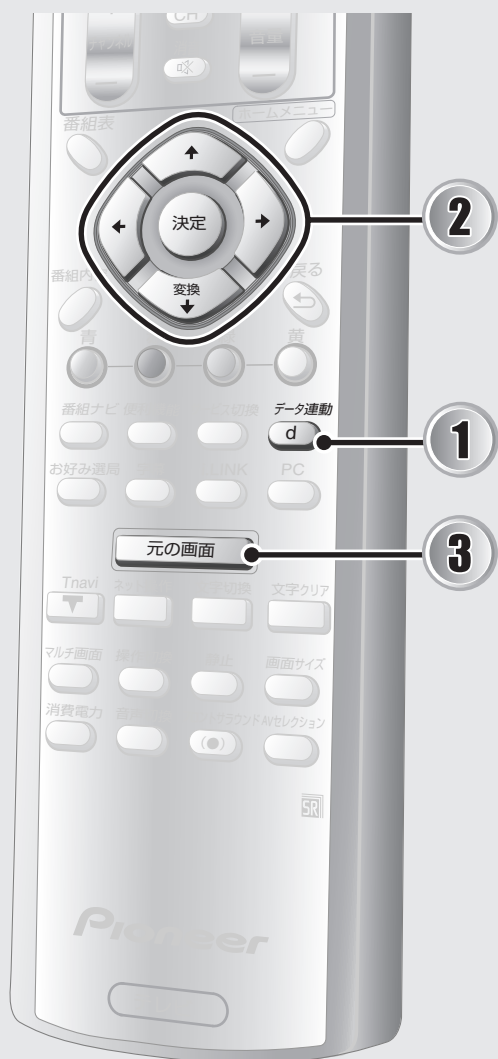
データ連動放送を見る

画面に表示される説明に従って操作することで、放送中の番組に連動したいろいろな情報を見ることができます(操作のしかたは番組によって異なります)。

■データ放送のある番組か確認する

1 デジタル放送を見ているときに 番組内容 を押す

- 下記のアイコンが表示される番組にはデータ放送があります(番組によってはアイコンは表示されません)。

2 番組内容 を押す

- 元の画面に戻ります。

■データ放送を見る

1 データ連動 を押す

- データ放送画面が表示されます。情報が多いときは、表示に時間がかかります。

2 項目を選んで、決定 を押す

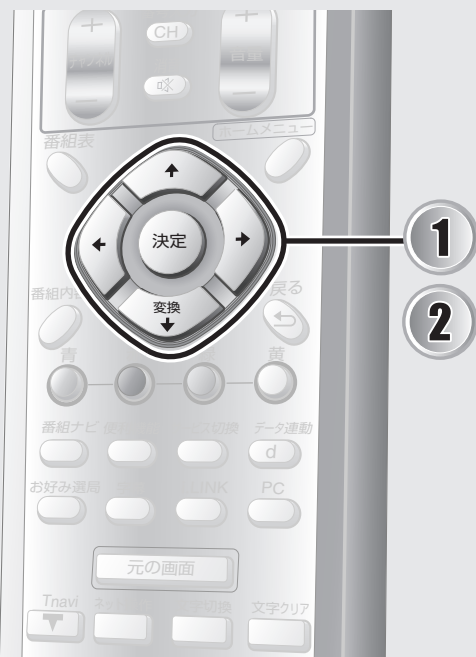
- 番組によっては、数字入力画面やカラーボタンなどを使った選択画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。また、お好みページへの登録案内が表示されることもあります。(→ 111 ページ)

3 終わったら 元の画面 を押す

お知らせ

- 独立データ放送を見るには「ラジオ番組や独立データ番組を視聴するには」(→75ページ)をご覧ください。
- データ放送では、本機に接続された電話回線で通信をすることがあります。通信中は電源ボタン以外の操作ができなくなることがあります。
- 本機が電話回線を使用中(回線インジケーターが緑色で点灯)には、同じ回線に接続した電話機などは使えません。

有料番組を見る（ペイ・パー・ビュー）

デジタル放送には、無料と有料のものがあります。有料チャンネルを見るには、電話回線の接続（→31ページ）と放送会社との契約が必要です。番組単位で購入できる（ペイ・パー・ビュー）番組を視聴または録画するには、放送会社とのペイ・パー・ビュー契約と画面上での購入操作が必要になります。

お知らせ

- 画面の表示は、番組によって異なります。
- 購入した番組を視聴していても他のチャンネルに切り換えたり、もう一度購入した番組のチャンネルに戻すことができます。ただし購入操作が終了していると、実際には番組を視聴していなくても料金が請求されます。
- 視聴制限の対象になる番組を選局すると、暗証番号の入力の画面が表示されます。視聴制限の解除については113ページをご覧ください。

コピーガードについて

- デジタル放送の中には、ビデオデッキなどで録画できないようにコピーガードをかけている番組があります。コピーガードを解除できない番組は[録画購入]の項目が表示されません。

CPRM について

- CPRM（Content Protection for Recordable Media）はレコーダブルメディア向けに開発された著作権保護技術です。「1回だけ録画可能」、「録画禁止／コピー禁止」などを制限できます。
- 2004年4月からデジタル放送の著作権保護のため、コピー制御の仕組みが導入されています。B-CASカードを常時挿入（→41ページ）していないとデジタル放送が視聴できません。

1 ペイ・パー・ビューの番組を選ぶ

プレビュー中 ｜「決定」ボタンで購入できます

- 番組によってはプレビュー（購入前に短時間だけ視聴できるサービス）が表示されます。プレビュー中に決定を押すと購入画面が表示されます。

2 項目を選んで、決定を押す

この番組は有料です。

購入しない	300円 視聴購入	1000円 録画購入

[購入する]	：番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードのかかっている番組は録画できません。
[購入しない]	：番組を購入しません。

- 追加料金を支払うと、視聴できる場合や、録画できる場合に次の項目が表示されます。

[視聴購入]	：視聴できますが、コピーガードのかかっている番組は録画できません。
[録画購入]	：視聴と録画ができます。

外部入力の映像を見る

1 **電源** を押して、電源を入れる

- メディアレシーバーとディスプレイの入インジケーターが緑色に点灯したことを確認してください。

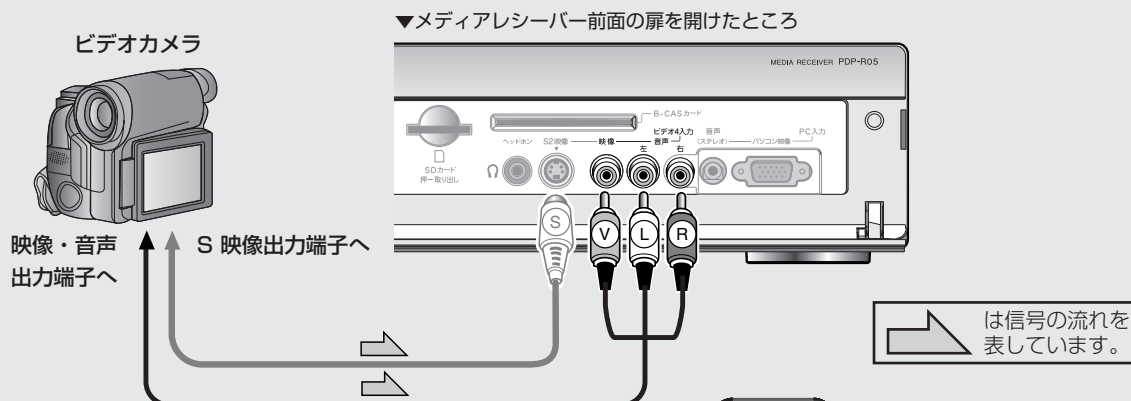
2 **外部入力端子につないだ機器の[電源]を入れる**

3 **機器を接続した入力を ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3 ビデオ4 で選ぶ**

- 簡単リモコンやディスプレイ右側面の操作パネルで操作するときは、入力切換を押して[ビデオ1] [ビデオ2] [ビデオ3] [ビデオ4]いずれかを選びます。
- HDMI端子に機器をつないだときは、[ビデオ3]を選びます。

4 **外部入力端子につないだ機器を再生状態にする**

■ビデオカメラやゲームを楽しむ

メディアレシーバー前面（扉内）のビデオ４入力端子につないで楽しみます。

ご注意

- お客さまが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- S2映像端子に接続したときは、「S映像」を優先して表示します。このとき映像端子の接続は不要です。詳しくは34ページをご覧ください。
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

省エネ機能を使う

日ごろの節電に役立つ、省エネ機能を設定することができます。

お知らせ

- 無信号オフや無操作オフを［する］に設定すると、電源がスタンバイ状態になる5分前から残り時間を1分ごとに表示します。

無信号オフ機能について

- 地上アナログ放送およびビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- PC入力のとき、無信号オフ機能は働きません。PC 入力のときは、パワーマネージメント機能（→124ページ）をお使いください。
- 次のような場合、正しく動作しないことがあります。
  - ー放送が終わっても、他局の放送電波が混入するとき
  - ー試験放送などその他の電波が混入するとき
  - ーブルーバックなどの映像信号が入力されているとき
- テレビを視聴中に、電波の状態によって、無信号オフ機能が働いて電源が切れてしまうときは、設定を［しない］にしてください。

無操作オフ機能について

- PC入力のとき、無操作オフ機能は働きません。

1 ホームメニューを押す

2 [省エネの設定]を選んで、決定を押す

3 設定したい項目を選んで、決定を押す

消費電力	
消費電力を抑える	
[標準]＊	通常の明るい映像です。
[省エネ]	節電しながらテレビを見るときに使います。
[消画]	画面を消して、音だけを楽しむ時に使います。消画状態からもう一度画面を表示させるには、音量＋/－、消音、フロントサラウンド 以外のボタンを押します。

無信号オフ	
無信号になったとき、約 15 分後に自動的に電源をスタンバイ状態にする	
[する]	無信号オフ機能を使います。
[しない]＊	無信号オフ機能を使いません。

無操作オフ	
約３時間何も操作しなかったとき、自動的に電源をスタンバイ状態にする	
[する]	無操作オフ機能を使います。
[しない]＊	無操作オフ機能を使いません。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

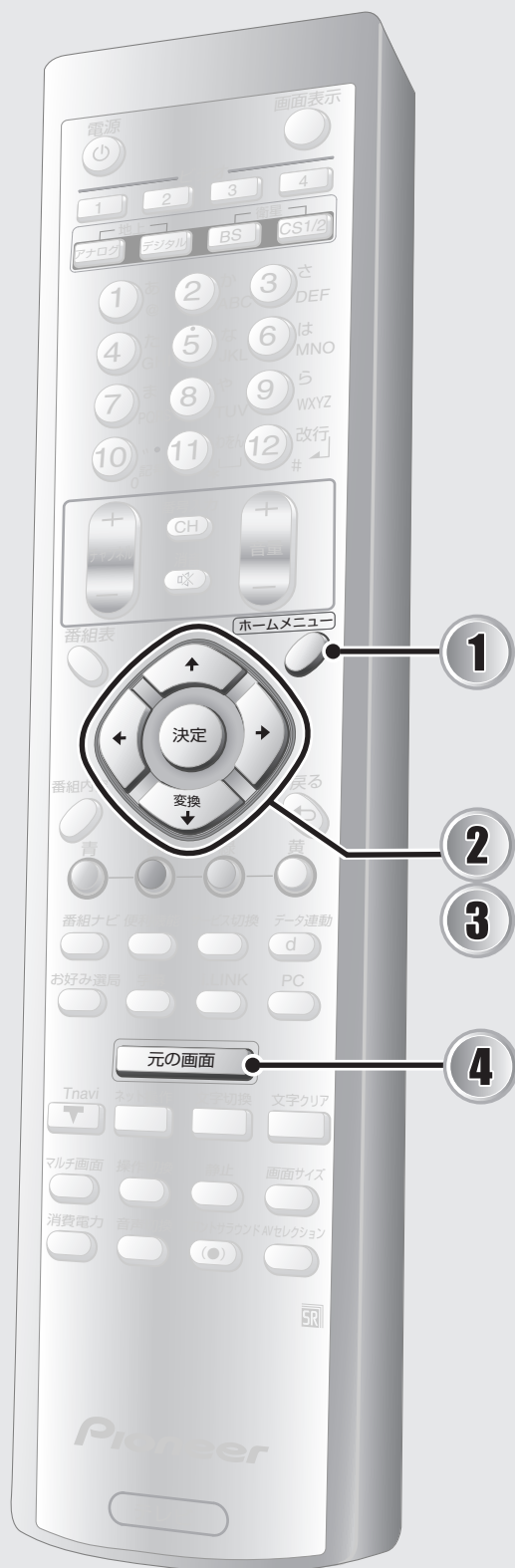
4 内容を選び決定を押す

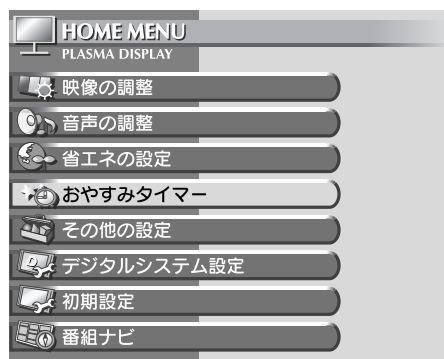
- 他の項目を選ぶときは戻るを押して手順3、4を繰り返します。

5 終わったら元の画面を押す

ふだんの使いかた　省エネ機能を使う

自動で電源を切る（おやすみタイマー）

設定時間が過ぎると自動的に電源スタンバイ状態になります。

1 ホームメニュー を押す

2 [おやすみタイマー]を選んで、決定 を押す

3 設定時間を選んで、決定 を押す

お知らせ

- お買い上げ時は、[しない]に設定されています。
- おやすみタイマーを設定すると、電源がスタンバイ状態になる5分前から残り時間を1分ごとに表示します。
- 残り時間が0分になると、残り0分表示のあと、電源スタンバイ状態になります。
- おやすみタイマーを使ったあとは、自動的に[しない]に設定されます。
- 本機の主電源を切ったり手動で電源スタンバイ状態にすると、おやすみタイマーは自動的に[しない]に設定されます。

4 終わったら 元の画面 を押す

画面サイズを切り換える

放送や映像の内容によって画面サイズを自動的に切り換えたり、お好みの画面サイズに変更したりすることができます。

ご注意

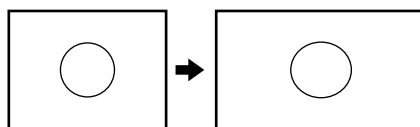
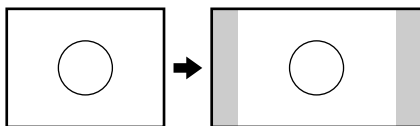
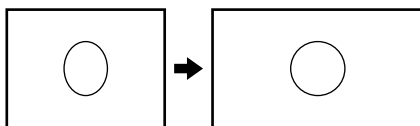
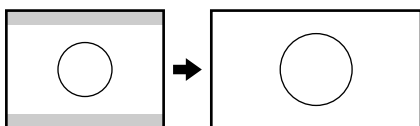
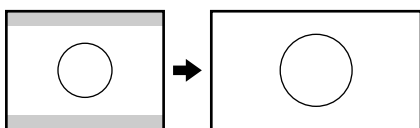
- 画面サイズ4：3や上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示すると焼き付きによる残像が残ります。著作者の権利を侵害する恐れがある場合を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えてお楽しみいただくことをお勧めします。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、画面サイズ切り換え機能などを使って、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- ハイビジョン映像(1125i)のときは、[フル1]、[フル2]、[ワイド]が選べます。
- [フル2] ：画面の上部に少し黒帯が見えるとき、画面いっぱいに映します。
  [ワイド] ：左右に黒帯が見えるとき、画面いっぱいに映します。
- [ワイド] を選ぶと映像や画面の一部が欠けることがあります。この場合は、 [フル1] または [フル2] で映すことをお勧めします。

1 画面サイズ を押して、お好みの画面サイズを選ぶ

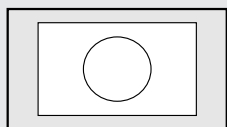
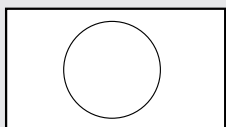
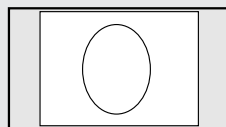
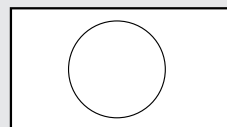
現在の画面サイズを表示します。

[ワイド] 通常の４：３映像を画面いっぱいに映します。

[４：３] 通常のテレビ画面（４：３サイズ）の映像をそのまま映します。

[フル] 16：9から4：3に圧縮（スクイーズ）された映像をもとの16：9に戻して画面いっぱいに映します。

[ズーム] シネマスコープサイズまたは16：9サイズの映像を画面いっぱいに映します。

[シネマ] ビスタサイズの映像を画面いっぱいに映します。

画面サイズを切り換える（つづき）

■画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

本機は、ビデオ入力端子から入力された映像信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動で選ぶ機能を備えています。

レターボックス ..... 4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

フルモード .... オリジナルの映像が 16：9のもの。

レターボックス制御信号の入った映像

自動的にズームで表示します

フルモード制御信号の入った映像

自動的にフルで表示します

D 識別対応機能 .... DVD プレーヤーなどを本機の D4 映像入力端子につないだとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

［S2 対応］機能 .... DVD プレーヤーなどの S1 または S1/S2 映像出力端子を本機の S2 映像入力端子につないだとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。あらかじめ下記の設定を行ってください。

●画面サイズを自動で切り換える（S2対応）

本機の S2 映像入力端子（ビデオ 1、2、4 入力）を設定します。

1. ホームメニュー を押す
2. ［その他の設定］を選んで、決定 を押す
3. ［S2対応］を選んで、決定 を押す
4. お好みの設定を選んで、決定 を押す

［する］＊	：フルモード制御信号やレターボックス制御信号を識別して、自動的に画面サイズを切り換えます。
［しない］	：画面サイズは自動的に切り換わりません。お好みの画面サイズを手動でお選びください。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

5. 設定が終わったら 元の画面 を押す

お知らせ

- テレビ番組やビデオソフトなどをオリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選ぶと、本来の映像とは見えかたが変わります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切り換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整（97ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、番組やビデオソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズ（シネマスコープサイズ・ビスタサイズなど）によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。

マルチ画面にする

いろいろな画面を同時に表示させるマルチ画面表示ができます。

●マルチ画面の状態で、操作できる画面を切り換えたいとき

（1）マルチ画面の状態で **操作切換** を押す

操作切換 を押すたびに［♪］記号が他の画面に移動し、音声が同時に切り換わります。

●マルチ画面で表示した画面を1画面で見たいとき

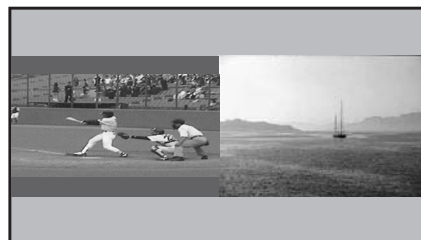
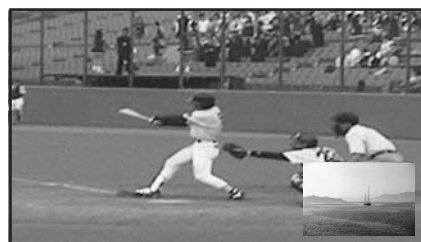
（1）**操作切換** で切り換えたい画面を選ぶ

（2）**マルチ画面** を押す

どのタイプのマルチ画面からでも、操作切換で選んだ画面が、1画面で表示されます。

1 マルチ画面 を押す

- 押すたびに次のように変わります。

→2画面表示 →PinP表示 →1画面表示 →（2画面表示に戻る）

2 画面表示

PinP 表示

2 マルチ画面を終了するときは、元の画面 を押す

ご注意

- 長時間マルチ画面表示したり、短時間でも毎日くり返しマルチ画面を表示すると焼き付きによる残像がでることがあります。

お知らせ

- 次の場合にはマルチ画面表示はできません。
  - 同じ入力の組み合わせ（例：デジタル放送どうし、ビデオ1入力どうしなど）
  - デジタル放送とi.LINK再生
  - メモリーカード（SDカード）やTナビの映像
- 2画面表示にしたとき、映像によっては右側の画面が粗く見えることがあります。
- マルチ画面表示中の画面サイズ切り換えはできません。

画面を静止させる

見ている放送や映像を静止させることができます。料理番組などのメモをとったりするときに便利です。

1 映像を静止させたいところで、**静止** を押す

- 2画面となり、左の画面が通常の画面（動画）、右側の画面が静止画面になります。

通常の画面　　静止画面

2 静止画面を終了するときは、**静止** を押す

ご注意

- 長時間画面を静止したり、短時間でも毎日くり返し静止画面を表示させると焼き付きによる残像がでることがあります。

お知らせ

- 静止画面表示になってから5分経過すると、静止画面表示は解除され自動的に 1 画面に戻ります。
- 静止画面表示中の画面サイズ切り換えはできません。

便利機能について

デジタル放送を視聴しているときやホームページを見ているときに、操作にかかわる便利な機能を表示します。
便利機能はさまざまな画面から利用できます。

1 便利機能 を押す

- 便利機能メニューが表示されます。

（例）地上デジタル放送視聴中

2 項目を選んで、決定 を押す

（例）アンテナレベル

3 終わったら 便利機能 を押す

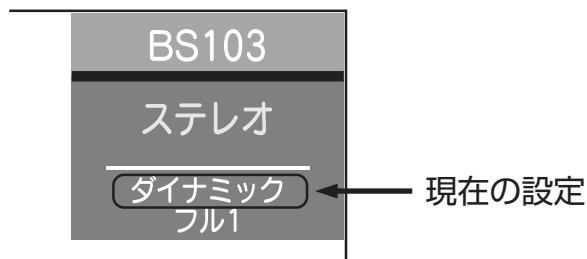
お知らせ

- 画面によって、表示される項目が変わります。呼び出せる機能がないときは、何も表示されません。
- 便利機能は地上アナログ放送や外部入力では使えません。

お好みの映像・音声にする（AV セレクション）

最適な映像・音声で楽しめるよう、あらかじめ5種類の設定を用意しています。

1 AVセレクション を押す

- 画面に現在の設定が表示されます。

2 AVセレクション を押すたびに設定が切り換わる

標準	：標準的な画質・音質の設定になります。
ダイナミック	：コントラストを最大限に引き上げた、メリハリの非常に強い映像にします。
映画	：コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	：テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目に優しい映像にします。
AVメモリー	：入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

お知らせ

- ホームメニューの［映像の調整］からAVセレクションを選ぶこともできます。
- テレビやビデオ入力など、各入力ごとに選ぶことができます。
- パソコン接続時のAVセレクションは、「標準」と「AVメモリー」の2種類になります。
- お買い上げ時は、「ダイナミック（テレビ、ビデオ入力）」または「標準（PC入力）」に設定されています。通常は「標準」でお使いになることをお勧めします。

お好みの画質にする

AVセレクションをお好みの画質に調整できます。あらかじめお好みの調整をしたい「AV セレクション」に切り換えてください。（→90ページ）

1 ホームメニュー を押す

2 [映像の調整] を選んで、決定 を押す

3 調整したい項目を選んで、決定 を押す

4 ← → でお好みの画質に調整する

項目	←を押すと	→を押すと
映像	明暗の差が弱くなる	明暗の差が強くなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	肌色が紫がかる	肌色が緑がかる
画質	やわらかな映像になる	くっきりした映像になる

- 他の項目を調整するときは、戻る を押して手順3、4を繰り返します。
- 調整中の画面で ↑ ↓ を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

5 終わったら 元の画面 を押す

ご注意

- AVセレクションで［ダイナミック］を選んでいるときは、調整できません。

いろいろな映像の設定（プロ設定）

現在［AVセレクション］で選ばれている項目に対し、いろいろな映像の設定ができます。あらかじめお好みの設定をしたい「AV セレクション」に切り換えてください。（→90ページ）

共通手順

1. ホームメニューを押す
2. [映像の調整]を選んで、決定を押す
3. [プロ設定]を選んで、決定を押す
4. 調整したい項目を選んで、決定を押す

●映像の調整を元に戻す（初期状態に戻す）

現在選ばれているAVセレクションの映像調整内容をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

1. 共通手順の1、2を行う
2. [初期状態に戻す]を選んで、決定を押す
3. [する]を選んで、決定を押す
4. 終わったら元の画面を押す

DVD映像をさらに美しく（ピュアシネマ）

お好みの白色にする（色温度）

MPEG映像をスッキリさせる（MPEG NR）

フィルム収録のDVD映像などを、さらに美しく再生することができます。

① **お好みの設定を選んで、決定 を押す**

- 525Pなどプログレッシブ信号が入力されているときは、[標準] は選べません。
- [アドバンス] にすると、映像信号によっては画面がちらついたり乱れることがあります。このような場合は、設定を [しない] または [標準] にしてください。

[しない]	： ピュアシネマを使いません。
[標準]	： 映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトやハイビジョン映像を表示するとき、記録されている映像情報を自動的に検出し、フィルム本来の滑らかで美しい映像を楽しむことができます。
[アドバンス]	：映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトを表示するとき、72Hzに変換し再生することにより、スクリーンで見るような滑らかな動きとフィルム映写の質感を楽しむことができます。

白色をお好みの色調に設定します。

① **お好みの設定を選んで、決定 を押す**

[高]	：青味が強い色調になります。
[高－中]	： [高] と「中」の中間の色調です。
[中]	：自然な色調になります。
[中－低]	： [中] と [低] の中間の色調です。
[低]	：赤味が強い色調になります。
[手動]	：お好みに調整した色温度になります。

● 色温度を手動で調整したいとき

1 手順①で[手動]を選んで、決定 を3秒以上押し続けて手動調整画面を表示する

2 調整したい項目を選んで、決定 を押す

3 ←→ でお好みの調整を行う

- 他の項目を調整するときは、戻る を押して手順2、3をくり返します。
- 調整中の画面で ↑ ↓ を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

4 終わったら 元の画面 を押す

項目		← を押すと	→ を押すと
R ドライブ	明るい部分の微調整です。	赤が弱くなる	赤が強くなる
G ドライブ		緑が弱くなる	緑が強くなる
B ドライブ		青が弱くなる	青が強くなる
R カットオフ	暗い部分の微調整です。	赤が弱くなる	赤が強くなる
G カットオフ		緑が弱くなる	緑が強くなる
B カットオフ		青が弱くなる	青が強くなる

デジタル放送やDVDなどの映像のざわつき（モスキートノイズ）を軽減し、MPEG映像をスッキリさせます。

① **お好みの設定を選んで、決定 を押す**

[しない]	： MPEG NR を使いません。
[強い]	： MPEG NR を強に設定します。
[中]	： MPEG NR を中に設定します。
[弱い]	： MPEG NR を弱に設定します。

終了するときは、元の画面 を押す

次ページにつづく

いろいろな映像の設定（プロ設定）（つづき）

はじめに92ページの共通手順を行ってください。

映像をスッキリさせる（DNR）

ビデオなどの映像のざらつきを軽減し、スッキリさせせます。
DNRはDynamic Noise Reductionの略です。

① お好みの設定を選んで、決定を押す

[しない]	：DNRを使いません。
[強い]	：DNRを強に設定します。
[中]	：DNRを中に設定します。
[弱い]	：DNRを弱に設定します。

色の境目を際立たせる（CTI）

色の輪郭を鮮明にします。CTIはColor Transient Improvementの略です。

① お好みの設定を選んで、決定を押す

[しない]	：CTIを使いません。
[する]	：CTIを使います。

コントラスト感を強くする（DRE）

映像の明るい部分と暗い部分を強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。DREはDynamic Range Expanderの略です。

① お好みの設定を選んで、決定を押す

[しない]	：DREを使いません。
[強い]	：DREを強に設定します。
[中]	：DREを中に設定します。
[弱い]	：DREを弱に設定します。

自然な色表現にする（カラーマネージメント）

色相を系列色ごとにより細かく調整できます。

① 調整したい項目を選んで、決定を押す

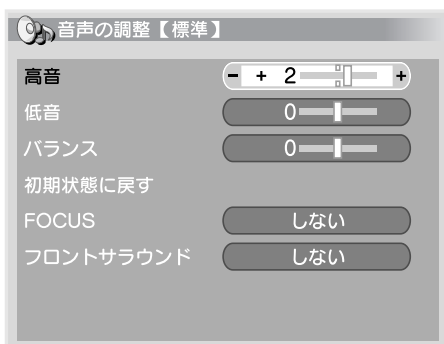
② ←→でお好みの画質に調整する

- 他の項目を調整するときは、戻るを押して手順①、②を繰り返します。
- 調整中の画面で↑↓を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

項目	←を押すと	→を押すと
R（赤）	マゼンタに近づく	黄に近づく
Y（黄）	赤に近づく	緑に近づく
G（緑）	黄に近づく	シアンに近づく
C（シアン）	緑に近づく	青に近づく
B（青）	シアンに近づく	マゼンタに近づく
M（マゼンタ）	青に近づく	赤に近づく

終了するときは、元の画面を押す

お好みの音質や音場に調整する

現在［AVセレクション］で選ばれている設定ごとに、音質をお好みに調整できます。あらかじめ調整したい「AV セレクション」に切り換えてください。（→90ページ）

共通手順

次ページにつづく

お知らせ

- ヘッドホンの音質調整や音場設定はできません。ヘッドホンを接続したまま設定を行うと、ヘッドホンを取り外したときのスピーカーからの音質や音場が設定されます。

●音声の調整を元に戻す（初期状態に戻す）

現在選ばれているAVセレクションの音声調整内容を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

1. 共通手順の①、②を行う
2. ［初期状態に戻す］を選んで、決定 を押す
3. ［する］を選んで、決定 を押す
4. 終わったら 元の画面 を押す

お好みの音質や音場に調整する（つづき）

はじめに95ページの共通手順を行ってください。

お好みの音質にする
（高音、低音、バランス）

① [←][→]でお好みの音質に調整する

[高音]	-7	～ 0 ～	+7
[低音]	-7	～ 0 ～	+7
[バランス]	左30	～ 0 ～	右30

お好みの音場にする
（FOCUS）
（フロントサラウンド）

より自然で立体的な音声にします。FOCUSとは、音が聞こえてくる方向（音像）を縦方向（上方向）に動かすとともに、音の輪郭を明確にする技術です。
［する］に設定すると、画面の中から音が聞こえてくるような効果が得られます。

● FOCUS

① [←][→]でお好みの音場に設定する

[する]	：FOCUSを使います。
[しない] ＊	：FOCUSを使いません。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

●フロントサラウンド

① [←][→]でお好みの音場に設定する

[SRS]	：どの位置でも自然な立体音場を楽しむことができます。
[TruBass] ＊	：無理のない豊かな低音を再生します。
[TruBass +SRS]	：TruBass とSRS の両方を使ったサラウンド効果が得られます。
[しない]	：フロントサラウンドを使いません。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

お知らせ

- ［FOCUS］を［する］、［フロントサラウンド］を［TruBass+SRS］にした状態を SRS WOW（ワウ）といいます。
- SRS WOWは、SRS Labs, Inc. の商標です。
- WOW 技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- 効果の度合いは信号によって異なります。
- [フロントサラウンド]で音場の設定を切り換えることができます。

終了するときは、[元の画面]を押す

画面の位置を調整する／画面左右の明るさを選ぶ

共通手順

1. ホームメニュー を押す
2. ［その他の設定］を選んで、決定 を押す

画面の位置を調整する

画面に表示する映像の位置調整を行います。

1. ［画面位置の調整］を選んで、決定 を押す
2. ［水平・垂直位置］を選んで、決定 を押す
3. ↑ ↓ ← → で、お好みの上下左右位置に調整する
   - 画面の位置を調節すると、映像や画面の一部が欠けることがあります。このようなときは、もう一度最適な画面位置に調節してください。

画面左右の明るさを選ぶ（サイドマスクの設定）

画面サイズ4：3を選んでいるとき、画面左右に現れる灰色部分（サイドマスク）の明るさを選ぶことができます。

1. ［サイドマスクの設定］を選んで、決定 を押す
2. お好みの設定を選んで、決定 を押す

［明るさ固定］＊	：サイドマスクの明るさを、一定の明るさ（灰色）で表示します。
［明るさ自動］	：サイドマスクの明るさを、映像に連動した明るさ（灰色）で表示します。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

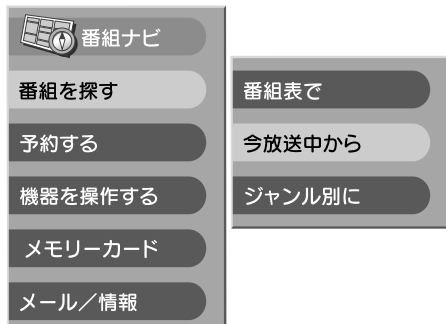
- ［明るさ自動］を選ぶと、画面の残像や焼き付きの発生を軽減することができます。

終了するときは、元の画面 を押す

●画面位置の調整を元に戻す（初期状態に戻す）

1. 共通手順の1、2を行う
2. ［画面位置の調整］を選んで、決定 を押す
3. ［初期状態に戻す］を選んで、決定 を押す
4. ［する］を選んで、決定 を押す
5. 終わったら 元の画面 を押す

番組を探す

「番組ナビ」を使うと裏番組や予約(録画・視聴)したい番組を簡単に探すことができます。

裏番組から探す
(今放送中から)

映画やドラマなどのジャンルで探す
(ジャンル別に)

お知らせ

- [番組表で]を選ぶと、番組表が表示されます。(→76ページ)
- 本機は放送局から送られた番組データをもとに番組を探します。実際の放送では該当する項目が含まれている番組でも探せないことがあります。
- 本機の電源を入れた直後は、番組表が表示されるまでに約1分程度かかることがあります。

① 番組を選んで、決定を押す

サービス切換を押して、探す範囲（テレビ・ラジオ・データなど）を切り換えることができます。

地上デジタル放送の裏番組は「地上D裏番組」と表示します。

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

●通常の番組を選んだとき→選んだ番組が映ります。

●有料番組を選んだとき（→81ページ）

●視聴制限のある番組を選んだとき（→112ページ）

お知らせ

- 別の放送の裏番組を見たいときは、地上デジタル、BS、CS1/2で放送を切り換えます。

① メインジャンルを選んで、決定を押す

② サブジャンルを選んで、決定を押す

③ 番組を選んで、決定を押す

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

●現在放送中の番組を選んだとき
　→今すぐ見るか予約するかの選択画面になります。（→76ページ）

●放送前の番組を選んだとき
　→予約設定画面になります。（→103ページ）

●有料番組を選んだとき（→81ページ）

●視聴制限のある番組を選んだとき（→112ページ）

お知らせ

- 別の日の番組表を見たいときは青で前日、赤で翌日の番組が表示されます。
- 便利機能で検索結果を絞り込むことができます。

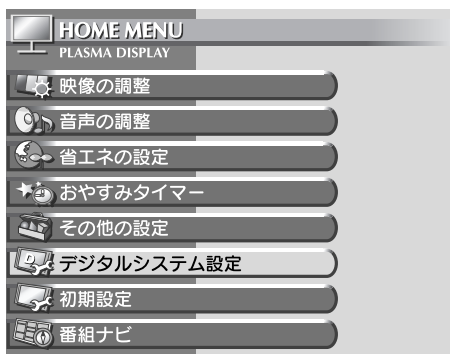
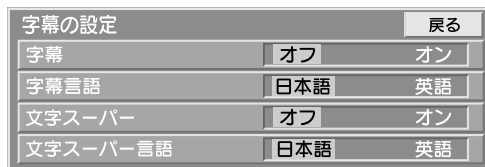
字幕や文字スーパーを設定する

字幕や文字スーパーの表示や、表示する言語の設定ができます。

1 ホームメニューを押す

2 [デジタルシステム設定]を選んで、決定を押す

3 [字幕の設定]を選んで、決定を押す

字幕の設定		戻る
字幕	オフ	オン
字幕言語	日本語	英語
文字スーパー	オフ	オン
文字スーパー言語	日本語	英語

4 各項目を設定する

字幕	
[オフ]＊	：字幕を表示しません。
[オン]	：字幕を表示します。
字幕言語	
[日本語]＊	：日本語の字幕を表示します。
[英語]	：英語の字幕を表示します。
文字スーパー	
[オフ]＊	：文字スーパーを表示しません。
[オン]	：文字スーパーを表示します。
文字スーパー言語	
[日本語]＊	：日本語の文字スーパーを表示します。
[英語]	：英語の文字スーパーを表示します。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

5 終わったら元の画面を押す

お知らせ

- 番組によっては設定が無効となり、強制的に字幕や文字スーパーが表示されることがあります。
- リモコンの字幕を押すたびに字幕のオン／オフが切り換わります。

録画を予約する

録画予約をする前に

「いろいろな機器をつなぐ」（→34ページ）および録画機器の取扱説明書もお読みください。

Ir システムで録画機器をつないだときは

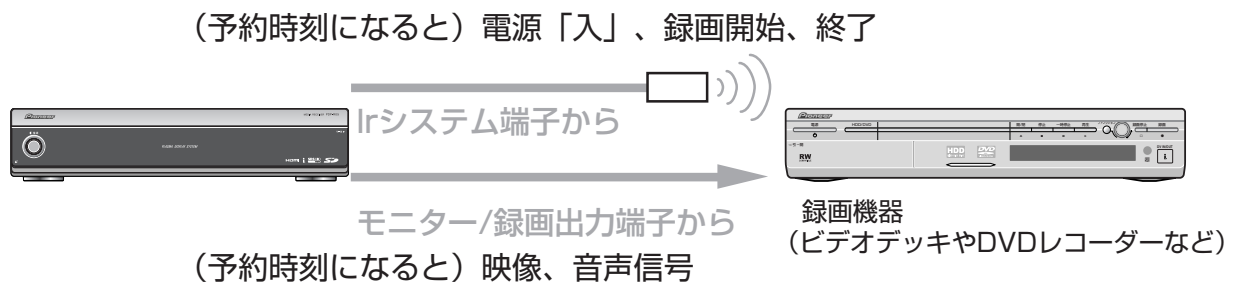
デジタル放送をビデオデッキなどで録画する場合は、「連動予約」で録画することをお勧めします。
「連動予約」（→ 103 ページ、104 ページ）の操作を行ってください。予約時刻になると、録画機器の電源が入り、録画が実行されます。

（予約時刻になると）電源「入」、録画開始、終了

Irシステム端子から

モニター/録画出力端子から

録画機器
（ビデオデッキやDVDレコーダーなど）

（予約時刻になると）映像、音声信号

お知らせ

- 予約実行の2分前までに録画機器側で次の操作を行ってください。
  - －テープやディスクを入れる
  - －本機の映像を見ることができる入力（外部入力）に切り換える
  - －ロック機能があるときは解除する
  - －録画モードを設定する
  - －録画できる状態であることを確認してから、電源を「切」にする
  （予約録画の待機状態にはしないでください）
- 録画予約中はメディアレシーバーの主電源は切らないでください。
- ［時間変更追従］の設定（→105ページ）を［する］にすると、番組時間が変更されても、予約時間も自動的に変更されます（最大3時間まで）。

お知らせ

- 1995年以降発売の松下製タイマー予約機能付録画機器（W-VHSを除くビデオデッキ、およびDVDレコーダー）では、「タイマー予約」もできます。「連動予約」と違い、予約実行前に録画機器側の入力や録画モードを設定する必要はありません。
  - －［時間変更追従］の設定（→105ページ）を［する］にしていても、予約時間は変更されません。録画機器側で変更してください。
  - －深夜放送の番組や24時間番組など、日付が変わって放送される番組は、正しく録画できないことがあります。また、24時間以上は録画予約できません。このようなときは、連動予約をお使いください。
  - －タイマー予約時の録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書をお読みください。

i.LINKでD-VHSビデオデッキをつないだときは

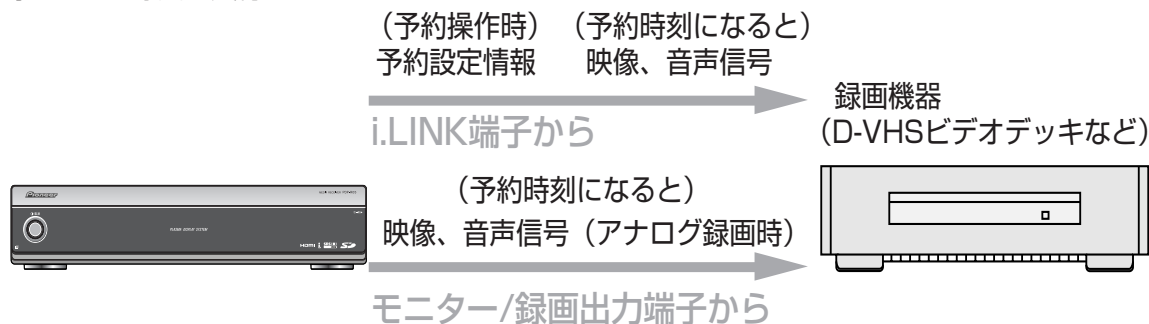
「i.LINK機器（D-VHSビデオデッキ）での録画」（→103ページ、104ページ）の操作を行ってください。予約時刻になると録画が実行されます。

（予約操作時）予約設定情報　（予約時刻になると）映像、音声信号

i.LINK端子から

録画機器（D-VHSビデオデッキなど）

（予約時刻になると）映像、音声信号（アナログ録画時）

モニター/録画出力端子から

お知らせ

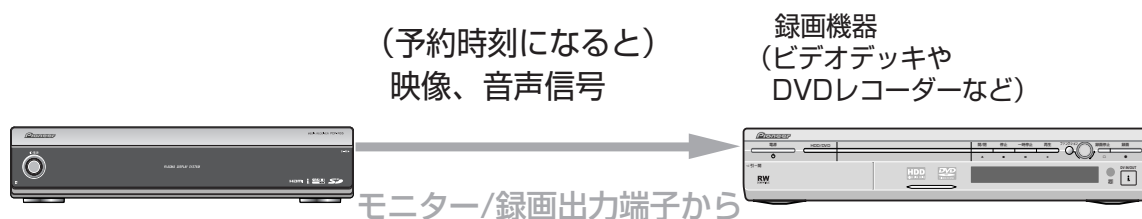
- 予約実行前に録画機器側で次の操作を行ってください。
  - －テープやディスクを入れる
  - －録画機器が予約録画の待機状態であることを確認する（予約すると録画機器は予約録画の待機状態になります）。
- 連動予約と違い、予約実行前に録画機器側の入力や録画モードを設定する必要はありません。

上記以外でつないだときは

「上記以外の機器で録画予約する」（→103ページ、104ページ）の操作を行ってください。録画予約の設定は録画機器側で行ってください。

（予約時刻になると）映像、音声信号

録画機器（ビデオデッキやDVDレコーダーなど）

モニター/録画出力端子から

お知らせ

- 録画機器に、予約設定の信号は送信されません。録画機器側で次の操作を行ってください。
  - －本機の映像を見ることができる入力（外部入力）に切り換える
  - －録画モードを設定する
  - －録画開始と録画終了の時刻を設定し、予約する
  - －テープやディスクを入れて、録画できる状態であることを確認する

■録画中の映像を見るには（録画機器の同時モニター）

デジタル放送の録画予約実行中に、録画同時モニターが可能です。
［マルチ画面］を押して2画面またはPinP表示を選び、デジタル放送と録画機器の映像を表示させます。

番組表からデジタル放送を録画予約する

デジタル放送では、本機とつないだ録画機器での録画を番組表から予約することができます。
さらに詳しい設定をしたいときは、録画の設定（→105ページ）を行ってください。

共通手順

1 予約したいデジタル放送に切り換える

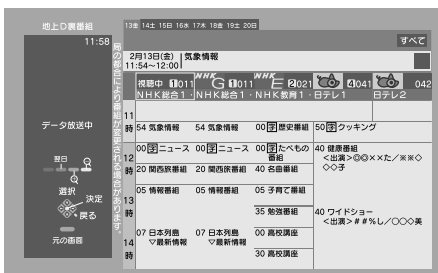
地上デジタル、BS、CS1/2で放送を切り換えます。

2 番組表を押す

3 番組表から、予約したい番組を選んで、決定を押す

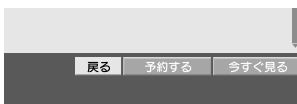
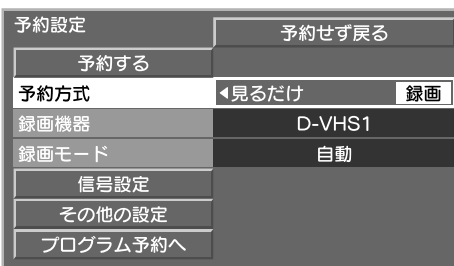
- 選んだ番組は黄色で表示されます。
- 別の日の番組表を見たいときは青で1日ずつ戻り、赤で次の日の番組表が表示されます。
- 番組表を拡大／縮小したいときは緑で拡大、黄で縮小表示されます。
- 地上デジタル放送の番組データが表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます（表示までに数分かかることもあります）。

4 [予約する]を選んで、決定を押す

- 本機の電源を入れた直後は、番組表が働くまでに約1分程度かかることがあります。

●放送中の番組のとき

●将来の番組のとき

戻る　予約する

5 [予約方式]から[録画]を←→で選ぶ

次ページにつづく

録画を予約する（つづき）

はじめに103ページの共通手順を行ってください。

連動予約（Irシステム）

① [録画機器]から[DVDレコーダー(連動)]または[ビデオ(連動)]を選ぶ

- DVDレコーダーで複数の予約をした場合、番組間隔が3分以内のときは1つの番組として録画されることがあります。

② [予約する]を選んで、決定を押す

タイマー予約（Irシステム）

松下製の録画機器を使っているときのみ設定できる機能です。

① 各項目を設定する

録画機器	：［DVDレコーダー（タイマー）］または［ビデオ（タイマー）］を選ぶ
録画モード	
ビデオのとき：	［標準］、［3倍］、［5倍］、［標3］、［機器側設定］から選びます。
DVDレコーダーのとき：	［XP］、［SP］、［LP］、［EP］、［FR］、［機器側設定］から選びます。

- 本機と録画機器のチャンネル設定は同じにしてください。同じでない場合、違う番組が録画されることがあります。
- [録画モード]の[5倍]に対応していない録画機器では、[標準]で録画されます。
- [機器側設定]を選んだときは録画機器で録画の設定をしてください。[録画モード]の詳細については、お使いの録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- タイマー予約時の[再送信]は録画機器が予約待機にならなかったときにしてください。

② [予約する]を選んで、決定を押す

i.LINK機器（D-VHSビデオデッキ）での録画

① 各項目を設定する

録画機器	：［D-VHS○］を選ぶ 末尾の○印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です。
録画モード	：［自動］、［標準］、［3倍］、［5倍］から選ぶ

- ［録画モード］から［自動］を選ぶと、デジタル放送の画質に合わせて録画します。ただし、デジタル録画できないときは録画機器で設定している録画モードでアナログ録画されます。
- ［5倍］に対応していない録画機器では、［標準］で録画されます。

② [予約する]を選んで、決定を押す

上記以外の機器で録画予約する

① [録画機器]から[--]を選ぶ

② [予約する]を選んで、決定を押す

- 録画予約の設定は録画機器側で設定してください。

お知らせ

- 暗証番号入力画面が表示されたときは、暗証番号を入力してください（→113ページ）。
- 確認画面やエラー画面が出た場合は、表示内容に従って操作してください。

録画の設定

■録画する映像、音声を設定する（信号設定）

① 103ページ手順⑤で[信号設定]を選んで、決定を押す

② 各項目を設定する

項目	説明
「マルチビュー」	：マルチビュー放送のときに番組を選ぶ
「映像」	：映像が複数あるときに映像を選ぶ
「音声」	：音声が複数あるときに音声を選ぶ
「二重音声」	：二重音声のとき[自動]、[主]、[副]、[主＋副]から選ぶ [自動]を選ぶと予約方法が[見るだけ]の場合、予約時に設定されている二重音声の設定となり、[録画]の場合、[主＋副]に設定されます。
「データ」	：データが複数あるときにデータを選ぶ [--]に設定すると、予約実行時にデータ放送の指示に従ってデータ放送画面を表示します。必ず表示させたい場合は[--]以外を選んでください。
「字幕」	：字幕を表示させたいとき[オン]、表示させないとき[オフ]を選ぶ
「字幕言語」	：字幕の言語を[日本語]、[英語]から選ぶ

●購入が必要な信号があるときは

[追加購入選択] を選んで決定を押すと [追加購入選択] 画面が表示されます。追加購入する信号を選びます。

お知らせ

- 設定できる項目は番組によって変わります。
- 設定が有効でない項目は、灰色で表示されます。

■その他の録画設定

① 103ページ手順⑤で[その他の設定]を選んで、決定を押す

② 各項目を設定する

項目	説明
時間変更追従	
[しない]	：デジタル放送の番組放送時間が変わっても、予約を自動で変更しません。
[する]	：デジタル放送の番組放送時間が変わったとき、予約も自動で変更します。
イベントリレー	
[オン]	：デジタル放送の延長番組が別のチャンネルで放送されるとき続けて録画します。
[オフ]	：デジタル放送の延長番組が別のチャンネルで放送されても、続けて録画しません。
開始時刻修正	：予約の開始時刻を－1分から+6分まで微調整できます。
終了時刻修正	：予約の終了時刻を+6分から－1分まで微調整できます。
マルチビュー録画	
[オン]	：マルチビュー番組のすべての信号を録画します。i.LINK対応機器のみ設定できます。
[オフ]	：信号設定の［マルチビュー］で設定した信号だけを録画します。

お知らせ

- 時間変更追従およびイベントリレーは放送局からの情報があるときのみ有効となります。
- 時間変更追従は最大3時間まで追従します。
- 時間変更追従およびイベントリレーで予約時間が変更された場合、他の予約と重複することがありますので、ご注意ください。
- 放送時間が6分以内の番組は[開始時刻修正]、[終了時刻修正]は設定できません。
- 設定が使用できない項目は灰色表示になります。

終わったら戻るを押して、[予約する]を選んで決定を押す

録画予約の際のご注意

録画予約するときは、次の点にご注意ください。

- 有料番組を予約したときは、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。
- 有料番組の予約が実行されると、実際には視聴や録画をしなくても料金が請求されます。
- ［衛星アンテナ設定］画面と［受信設定］画面を表示中に予約が始まると、予約が無効になります。

■ 録画を選んだときのご注意

- 予約録画中は、番組ナビや番組表、選局など一部の機能が使用できなくなります。これらの機能を操作すると、予約録画を中止してもよいかの確認画面が表示されます。予約録画を中止するときは画面の説明に従って操作してください。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器で正しく録画することができません。また、D-VHS ビデオデッキでは、デジタルコピーガードによってi.LINK端子からデジタル信号が出力されない番組では、アナログ品質の録画になります。
- 連動予約実行中は、録画機器は操作しないでください。録画が中止されるなど、正常に録画できなくなります。
- 予約録画実行中は、放熱のためメディアレシーバー背面のファンが回転しますが故障ではありません。
- 放送中または、開始直前の番組を録画予約したときは、録画機器の電源「入」後、録画できるようになるまで数十秒が必要です。（当社製品での例）
  － DVD レコーダー：約 90 秒
- チャンネルが異なる番組を、時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約5秒早く終了します。
- 年齢制限を設定しているときは、暗証番号を入力しないと録画できません（→ 113 ページ）。

■ 視聴を選んだときのご注意

- 予約した番組が始まる 20 ～ 30 秒前には本機の電源を入れてください。電源を切（スタンバイ状態）にしていると予約が無効になります。

■ 録画予約後のメッセージについて

画面表示	説明
予約できません。	契約が必要なチャンネルです。放送事業者と契約してください。
予約がいっぱいです。予約を削除してからやり直してください。	予約は最大24件です。予約一覧で不要な予約を取り消してください（→ 107 ページ）。
予約が完了しました。予約が重複しています。予約が実行されない場合があります。	予約一覧で予約を確認して、必要に応じて重複している予約を取り消してください（→ 107 ページ）。

そのまま実行すると、次のように録画されます。

（灰色）部分は録画されません。

- 放送開始時間の早い番組を優先

先に始まる番組　開始　終了
後から始まる番組　開始　終了

- 開始時刻が同じ場合
ペイ・パー・ビュー（有料）番組を優先

ペイ・パー・ビュー番組　開始　終了
ペイ・パー・ビュー以外の番組　開始　終了

上記以外の場合は、予約一覧の順に録画されます。

録画予約の際のご注意
使いこなす

その他の録画予約

日時を指定して予約する（プログラム予約で）／予約の確認や変更・取り消しをする（予約一覧）／録画と視聴の設定（録画・視聴設定）を設定することができます。

次ページにつづく

その他の録画予約

使いこなす

その他の録画予約（つづき）

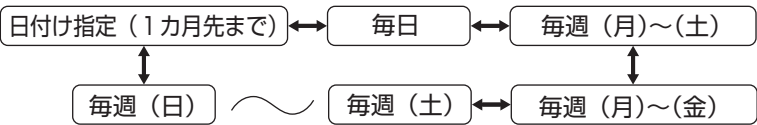
はじめに107ページの共通手順を行ってください。

日時を指定して予約する
（プログラム予約で）

視聴に年齢制限を設定しているときは暗証番号入力画面が表示されます（数秒たつと消えます）。暗証番号を入力しないと、年齢制限のある番組の視聴や録画はできません。

① 各項目を設定する

予約方式	：［見るだけ］か［録画］を選ぶ
放送種別	：放送種別を選ぶ
予約チャンネル	：チャンネルを選ぶ
曜日／日	：曜日／日を選ぶ
開始時刻	：開始時刻を設定する
終了時刻	：終了時刻を設定する
録画機器	：録画機器を選ぶ（→104ページ参照）
録画モード	：録画モードを選ぶ（→104ページ参照）

- 曜日／日は(←)(→)を押すたびに切り換わります。((青)(赤)を押すと、下のように切り換えることができます。）

② ［予約する］を選んで、決定を押す

- 確認画面やエラー画面が出た場合は、表示内容に従って操作してください。
- タイマー予約時の［再送信］は録画機器がタイマー予約状態にならなかった場合に行ってください。

予約の確認や変更、取り消しをする
（予約一覧）

① 変更や取り消したい項目を選んで、決定を押す

［履歴削除］	：実行済みの予約の履歴を削除します。
［変更］	：実行前の予約内容を修正します。画面上で内容を修正してから［修正する］と選ぶと変更できます。
［取消し］	：実行前の予約を取り消します。

- ［タイマー予約］の変更、取り消しは録画機器側でも行ってください。

録画と視聴の設定
（録画・視聴設定）

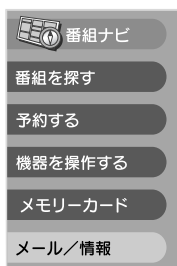
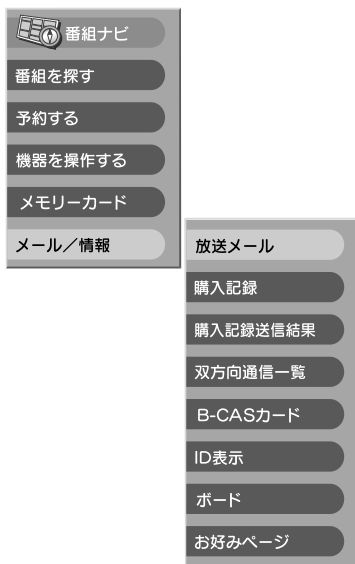
① 各項目を設定する

時間変更追従	
［しない］	：デジタル放送の番組放送時間が変わっても、予約を自動で変更しません。
［する］	：デジタル放送の番組放送時間が変わったとき、予約も自動で変更します。
マルチビュー録画	
［オン］	：マルチビュー番組のすべての信号を録画します。（i.LINK対応機器のみ設定できます）
［オフ］	：信号設定の［マルチビュー］で設定した信号だけを録画します。

その他の録画予約
使いこなす

終了するときは、元の画面を押す

デジタル放送の情報を見る

デジタル放送局や本機からのお知らせや情報、有料番組の購入記録などを見ることができます。

次ページにつづく

デジタル放送の情報を見る（つづき）

はじめに109ページの共通手順を行ってください。

メールを読む（放送メール）

インターネットのメールではありません。
デジタル放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）や本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）などがあります。

① 確認したいメールを選んで、決定を押す

- メール下部に［ダウンロード予約］が表示されることがあります。（→72ページ）

有料番組の履歴などを見る（購入記録）

購入した有料番組の履歴情報（最新の25番組まで）を見たり、累計金額の確認や累計金額をリセット（0円に戻す）します。

① ［購入記録］を選んで、決定を押す

月　日(　)からの累計金額 0円

リモコンの#で累計金額のリセットができます。

- 表示される金額は、価格改定などにより請求金額と違うことがあります。
- 累計金額をリセットするには12#を押し、表示される累計金額リセット画面で［はい］を選ぶとリセットできます。
- 累計金額がリセットされた項目は薄い文字で表示されます。

発信履歴などを見る（購入記録送信結果）

データ放送の番組から発信した最近の発信履歴内容と、まだセンターへ送っていない番組購入記録の有無を確認します。

① ［購入記録送信結果］を選んで、決定を押す

- 購入記録が再送信できるときは、その旨が表示されます。このときは［送信］を選ぶと送信できます。

双方向通信の結果一覧を見る（双方向通信一覧）

① ［双方向通信一覧］を選んで、決定を押す

- 電話番号には、上6桁が表示されます。
- 「空白」は通信に成功しています。

終了するときは、元の画面を押す

B-CASカードのカードIDなどを見る
(B-CASカード)

① [B-CASカード]を選んで、決定を押す

本機のソフトに関する情報などを見る
(ID表示)

① [ID表示]を選んで、決定を押す

- 青を押すと本機のソフトに関する情報が、赤を押すとデータ放送時のルート証明書の情報が表示されます。
- テレビ放送を見ているときに番組ナビを５秒以上押してもこの画面を表示できます。

スカイパーフェクTV!110からの情報を見る
(ボード)

110度CSデジタル放送のスカイパーフェクTV！ 110から送られてくる情報を確認します。

① [CS1ボード]または[CS2ボード]を選んで、決定を押す

② 確認したい情報を選んで、決定を押す

お好みのページを登録する
(お好みページ)

Tナビのお好みページとは違います。データ放送の画面上で指示に従って操作したとき、本機にデータ放送の「お好みページ」が登録されます。

① 赤を押して、[データ放送]に切り換える

	タイトル ／ 内容	有効期限
1	○○○○○○○○○○	×××××
2	○○○○○○○○○○	×××××
3	○○○○○○○○○○	×××××
4	○○○○○○○○○○	×××××
5	○○○○○○○○○○	×××××
6	○○○○○○○○○○	×××××
7	○○○○○○○○○○	×××××
8		

- Tナビに戻すときは青を押します。

② 実行したいタイトル/内容を選んで、決定を押す

- 登録されている内容に従って動作します。

お知らせ

- お好みページを削除するには便利機能を押し、[削除]を選んでください。
- データ放送からの指示で自動的に削除されるように設定できます。自動削除してもよい場合は、便利機能を押し、[消去許可設定]から[許可]を選び、続けて[更新]を選びます。

終了するときは、元の画面を押す

視聴制限を設定する

デジタル放送を視聴できる年齢や購入金額の上限などを設定して視聴できる番組を制限することができます。また見られるホームページを制限することができます。制限した番組やホームページなどを見るには暗証番号の入力が必要となります。

共通手順

1 ホームメニュー を押す

2 [デジタルシステム設定]を選んで、決定 を押す

3 [制限項目設定]を選んで、決定 を押す

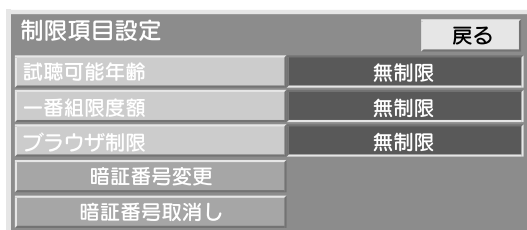
4 画面の指示に従い 1 ～ 10₀ を使って暗証番号を4桁で入力する

- 同じ暗証番号を２回入力してください。

ご注意

- 暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。

- 間違って入力したときは、12# を押すたびに最後の桁を取り消すことができます。
- 入力がないときは約10秒後に［デジタルシステム設定］画面に戻ります。

5 設定したい項目を選ぶ

視聴できる年齢を制限する
（視聴可能年齢）

一番組の購入金額を制限する
（一番組限度額）

見られるホームページを制限する
（ブラウザ制限）

暗証番号を変更する
（暗証番号変更）

暗証番号を取り消して視聴制限を無効にする
（暗証番号取消し）

お知らせ

- 暗証番号を忘れたときは有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。暗証番号の消去には手数料がかかります（2004年4月現在）。

① [視聴可能年令]を選んで、← →で[4才]～[19才]、[無制限]*から選ぶ

- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。
- ＊印は、お買い上げ時の設定です。

① [一番組限度額]を選んで、← →で[100円]～[3000円]、[無制限]*から選ぶ

- ＊印は、お買い上げ時の設定です。

① [ブラウザ制限]を選んで、← →で次の項目のいずれかを選ぶ

アドレス入力制限	：Tナビのコンテンツ以外のホームページを見るときに暗証番号の入力が必要になります。
すべて制限	：[Tナビ]を押したときに暗証番号の入力が必要になります。
無制限	：Tナビのコンテンツ以外のホームページも見られます。

① [暗証番号変更]を選んで、決定を押す
② 新しい暗証番号を4桁で入力する
③ もう一度、暗証番号を入力する

- 間違って入力したときは、12#を押すたびに最後の桁を取り消すことができます。
- 入力がないときは約10秒後に［制限項目設定］画面に戻ります。
- 暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。

① [暗証番号取消し]を選んで、決定を押す

② [はい]を選んで、決定を押す

終了するときは、元の画面を押す

●制限を一時的に解除する

制限項目を設定しているときに、対象となる番組やホームページを選ぶと、［暗証番号入力］画面が表示されます。

① 暗証番号を4桁で入力する

制限項目が一時的に解除されます。

- 視聴可能年齢を制限しているときは、一度解除すると、本機の電源を切（またはスタンバイ状態）にするまで解除が続きます。

視聴制限を設定する

使いこなす

i.LINK操作パネルでD-VHSビデオを操作する

画面に表示されたi.LINK操作パネルでD-VHSビデオデッキの基本的な操作ができます。操作パネルの表示方法には2通りの方法があります。

■ i.LINK を押して操作する

① i.LINK を押す

押すたびに操作パネルの表示が切り換わります。

操作パネル D-VHS1 ←→ 操作パネル D-VHS2

■ 番組ナビ を押して操作する

① 番組ナビ を押し、[機器を操作する] を選んで 決定 を押す

② 操作する機器を選んで、決定 を押す

設定が有効でない項目は灰色で表示されます。

●i.LINK操作パネルの使いかた

① 操作したい機能のボタンを選んで、決定 を押す

●録画設定について

① [録画設定] を選んで、決定 を押す

② 項目を選んで、← → で設定する

[録画終了時間] ：	[番組終了まで]、[15分]～[180分]、[指定なし]（停止させるかテープの終端まで録画）から選ぶ
[録画モード] ：	[自動]、[標準]、[3倍]、[5倍] から選ぶ ※ 選んだ録画モードを持たないD-VHSのときはD-VHSに設定されている録画モードで録画されます。
[マルチビュー録画]	
[オン] ：	便利機能の [信号切換] の [マルチビュー] で設定した信号のみを録画する（→89ページ）
[オフ] ：	すべての信号を録画する

●プログラムナビについて

- [プログラムナビ] を選んで、決定 を押すと、i.LINK機器で録画された番組内容の一覧が表示されます。再生したい番組を選ぶと、選んだ番組の頭出し再生ができます。

お知らせ

- 操作する録画機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 地上アナログ放送・ビデオ1～4入力・PC入力を視聴しながらi.LINK操作パネルを使用することはできません。
- 1台のD-VHSビデオデッキが録画中のとき、別のD-VHSビデオデッキの操作パネルは表示できません。
- 録画予約中のD-VHSビデオデッキは操作パネルを表示できません。
- 操作パネルでの操作中は、本機の機能（チャンネル一覧など）が一部使えなくなります。
- 地上アナログ放送は、操作パネルでは録画できません。
- 大切な番組を録画するときは、録画予約（→101ページ）をしてください。操作パネルから録画を行うと、i.LINK操作パネルが録画される場合があります。
- 本機のダウンロード機能を使って機能向上を行うと、新しいタイプのi.LINK機器を操作できることがあります。この場合は新しい操作パネルが表示されます。

終了するときは、元の画面 を押す

ホームページを見る

インターネットにつないで、ホームページを見ることができます。リモコンひとつで、ホームページの情報やサービスをご利用いただけます。

共通手順

1 Tnavi を押す

2 ポータルサイトから見たい項目を選んで、決定 を押す

- 項目を選ぶ操作を繰り返して見たいホームページを表示します。

（画面はイメージです。）

ページタイトル

SDカード内のページを見ているときに表示

ページのセキュリティを表示

ページの読み込み状況を表示

通常ページ　セキュリティで保護されたページ

- ポータルサイトに戻るときは Tnavi を押してください。
- お使いの状況により、ページを読み込むまでに時間がかかることがあります。
- デジタル放送の予約録画が開始されると、Tナビは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。

3 終わったら 元の画面 を押す

- チャンネル＋/－ を押してもTナビが終了します。

●はじめてTナビをお使いになるときは

Tnavi を押すと端末情報の送信画面が表示されます。
画面の指示に従って、端末情報を送信してください。

お知らせ

- 端末情報には端末の識別ID（本機にあらかじめ組み込まれた番号）や郵便番号（→53ページで登録）などが含まれます。
- 端末情報を送信しないと、Tナビの一部の機能が使えません。
- 一度、端末情報の送信を行うと、2回目以降は端末情報送信の画面は表示されません。
- 端末情報を送信しなかった場合や郵便番号が間違っていた場合、長時間ポータルサイトを使用しなかった場合は、送信の画面が表示されることがあります。

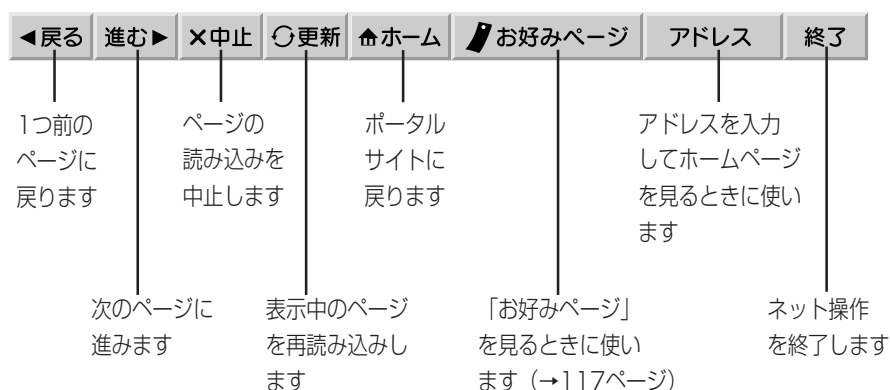
次ページにつづく

ホームページを見る（つづき）

はじめに115ページの共通手順を行ってください。

ホームページを操作する

① ホームページを見ているときに［ネット操作］を押す

② 項目を選んで、［決定］を押す

アドレス(URL)を入力してホームページを見る

① ホームページを見ているときに［ネット操作］を押す

② ［アドレス］を選んで、［決定］を押す

アドレス
アドレスを入力してください。
Tnaviサイト以外は正常に表示されない場合や、
予期しない情報・有害情報などを含む場合が
あります。
http://|
確定

③ アドレス(URL)を入力する

- 文字の入力方法は 119 ページをご覧ください。

④ ［確定］を選んで、［決定］を押す

ご注意

- 一般のホームページ（Tナビのコンテンツ以外のページ）は、本機では正確に表示されないことがあります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれている場合があります。
- Macromedia Flash™の機能を使った動画は表示できません。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分に注意してください。

お知らせ

- 一般のホームページ（Tnaviのコンテンツ以外のページ）を見られないようにしたいときは112ページをご覧ください。

お好みページを使う

閲覧しているホームページを「お好みページ」に登録すると、次回から簡単に呼び出すことができます。
また、データ放送では、画面上での指示があって操作したときに、本機に「お好みページ」が登録されます。
今後、そのようなデータ放送が増えていく予定です。（2004年6月現在）

■お好みページに登録する

1 登録したいホームページを見ているときに 便利機能 を押す

2 [お好みページ追加]を選んで、決定 を押す

- お好みページは20件まで登録できます。「これ以上登録できません」と表示されたときは、[編集]を選び、不要なお好みページを削除してください。（→118ページ）

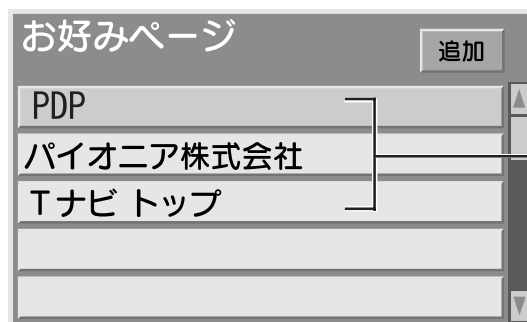
お好みページ追加
お好みページ
データを保存
保存データを見る

3 [確認]を選んで、決定 を押す

■登録したページを見る

1 ホームページを見ているときに ネット操作 を押す

2 [お好みページ]を選んで、決定 を押す

3 タイトルを選んで、決定 を押す

選んだページが表示されます。

お知らせ

- 提供者の都合により、登録したホームページがなくなったり、アドレスが変更されたときは登録したホームページが表示できません。
- データ放送の「タイトル」を選ぶと、登録されている内容に従った動作が行われます。たとえば
  －指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換える。
  －インターネット上のページを表示する。（Tナビの画面ではありません。外枠が消えます。）
  （ブロードバンド環境がない場合は、動作しません。）（Tナビと同じメッセージが表示されることがあります。）

お好みページを編集する

お好みページを削除したり、タイトルを変更したりします。

■ホームページを見ているとき

1 便利機能 を押す

2 [お好みページ]を選んで、決定 を押す

お好みページ追加
お好みページ
データを保存
保存データを見る

■テレビ放送を見ているとき

1 番組ナビ を押す

2 [メール／情報]を選んで、決定 を押す

3 [お好みページ]を選んで、決定 を押す

---

1 削除／変更したい[タイトル／アドレス]を選んで、便利機能 を押す

お知らせ

- 上段にタイトル、下段にアドレス（URL）が表示されます
- データ放送の「お好みページ」を編集するときは 赤 を押すと「お好みページ」一覧が表示されます。
- 青 を押すとTナビの「お好みページ」一覧に戻ります。

●タイトルを変更するとき

1. [タイトル]を選ぶ
2. 元のタイトルを削除して新しいタイトルを入力する
   - 文字の入力・削除方法は119、120ページをご覧ください。
3. [更新]を選んで、決定 を押す

●アドレス（URL）を変更するとき

1. [URL]を選ぶ
2. 元のアドレス(URL)を削除して新しいアドレス(URL)を入力するとき
   - 文字の入力・削除方法は119、120ページをご覧ください。
3. [更新]を選んで、決定 を押す

●「お好みページ」を削除するとき

1. [削除]を選んで、決定 を押す

お知らせ

- 画面キーボードが表示されたときは 黄 を押すと、下の項目に移動します。

---

1 [はい]を選んで、決定 を押す

- 一覧に戻ります。

2 一覧で確認したら、戻る を押す

文字を入力するとき

入力方法には、リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する「リモコンボタン」方式と画面上に表示されるキーボードを使って入力する「画面キーボード」方式があります。また、変換方法には「通常方式」（通常の変換方式）と「予測方式」（1文字の入力で変換候補を表示）の2種類があります。

■文字入力方式を［リモコンボタン］にする

1. ホームメニュー を押す
2. ［デジタルシステム設定］を選んで、決定 を押す
3. ［文字入力設定］を選んで、決定 を押す
4. ［入力方法］を選んで、← → で［リモコンボタン］にする

5. 終わったら 元の画面 を押す

文字入力欄で入力位置にカーソルが表示されると、文字が入力できます。

① 文字切換 を押す

- 押すたびに入力モードが切り換わります。
  かな→カナ→英数→数字
- 漢字を入力するときは［かな］を選んでください。
- 入力欄によっては、選べる入力モードが限られることがあります。

② 決定 を押す

③ 文字を入力する

例：「てんき」と入力するとき
4を4回、11＊を3回、2を2回押す
入力文字一覧表をご覧ください。

- 漢字に変換しないときは手順⑤に進みます。

④ 漢字に変換するときは変換したい漢字が出るまで ↓ を押す

⑤ 決定 を押す

- 続けて入力するときは手順①から繰り返します。

カーソル：
文字が入力される位置を示す

お知らせ

- 数字ボタンを押すたびに、入力文字一覧表（→120ページ）の順に文字が変わります。
  （例：「い」を入力するときは 1を2回押す）
- 未確定の文字があるときに 12# を押すと表の逆順で文字が変わります。
- 「英数」と「数字」は半角で入力されます（↓ を押すと全角に変換されるものもあります）。
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて 10₀ を押します。

次ページにつづく

文字を入力するとき（つづき）

●同じボタンで続けて入力するときは

例：「あい」と入力するとき

① 1 を押す

② → を押してカーソルを右に移動させる

③ 1 を2回押す

●文節を分けて変換するときは

例：「てんき」の「てん」だけ変換するとき

① 「てんき」と入力して ↓ を押す

② ← を押して「てん」だけを選んで、決定 を押す

③ ↓ を押して変換する

●記号を入力するときは

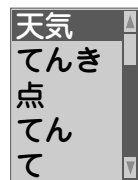
① 「きごう」と入力する

② 変換したい記号が表示されるまで ↓ を押す

●変換方式が［予測方式］のときは

例：「天気」と入力するとき

① 4 を4回押す

「て」で始まる言葉の候補が表示されます。

- 一覧に変換したい候補が表示されないときは 文字切換 を押し、一時的に変換方式を［通常方式］に切り換えて入力してください。

② 「天気」を選んで、決定 を押す

●文字を追加するときは

① ← → で追加したい位置にカーソルを移動する

② 文字を入力する

●文字を削除するときは

① ← → で消したい文字の位置にカーソルを移動する

- カーソルの右の文字が削除されます。カーソルの右に文字がないときは左の文字が削除されます。

② 文字クリア を押す

入力文字一覧表

ボタン ＼ 入力モード	かな	カナ	英数	数字
1 あ @.	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . ／ : ˜ _ 1	1
2 か ABC	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3 さ DEF	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4 た GHI	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5 な JKL	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6 は MNO	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7 ま PQRS	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8 や TUV	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9 ら WXYZ	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10 ゛゜ 記号 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	— , ; ’ ” ? ! ( ) & ¥ 0	0
11 わをん ␣ *	わ を ん ゎ — スペース	ワ ヲ ン ヮ — スペース	スペース	*
12 改行 ↵ #	改行	改行	改行	#

■文字入力方式を［画面キーボード］にする

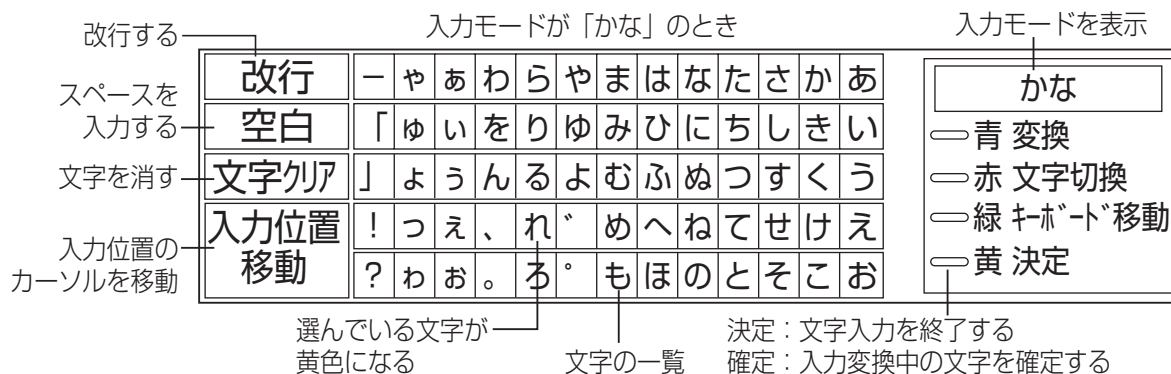
1 119ページの上側の手順①～③を行う

2 ［入力方式］を選んで、(←)(→)で［画面キーボード］にする

3 終わったら(元の画面)を押す

文字入力位置にカーソルが表示されると、画面にキーボードが表示され、文字が入力できます。

- 文字を入力しないときは(黄)を押します。
- 画面上のキーボードの位置を移動させたいときは(緑)を押します。押すたびに移動します。

画面キーボードの見かた

① (赤)を押して入力モードを切り換える

押すたびに、かな→カナ→英数の順に切り換わります。

- 漢字を入力するときは［かな］を選んでください。
- 英数のみが入力できる項目のときは、［英数］に固定されます。

② 画面上に表示されたキーボードで文字を選んで、(決定)を押す

- 手順②をくり返して文字を入力します。

③ 漢字に変換するときは(青)を押す

キーボードが消え、漢字が表示されたら(↑)(↓)で目的の漢字を選びます。

④ 入力が終わったら(黄)を押す

●記号を入力するときは

「きごう」と入力して、(青)を押し、(↑)(↓)で目的の記号を選びます。

●［予測方式］でうまく変換できないときは

(青)を押し、一時的に変換方式を［通常方式］に切り換えて入力してください。

パソコン（PC）の画面を見る

メディアレシーバーの前面（扉内）にパソコン用のPC入力端子があります。
パソコンを接続し、リモコンの PC を押すとパソコン画面を表示することができます。

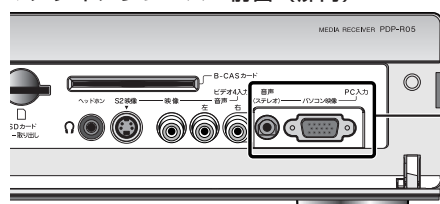
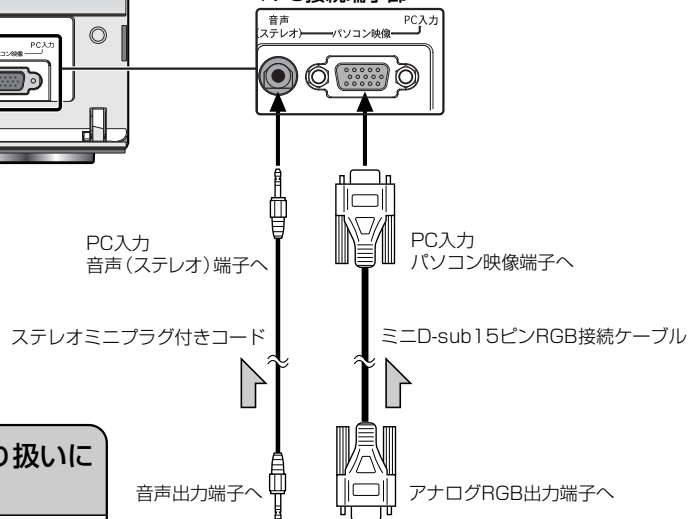
■パソコン入力対応表

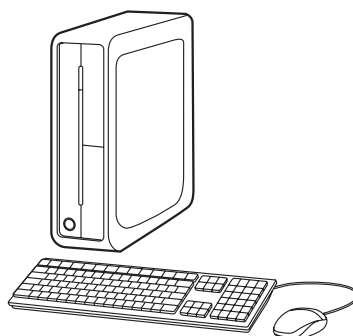
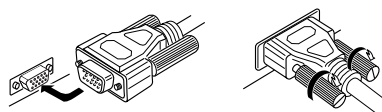
パソコンを接続する前に、対応表に合わせてパソコン側で解像度を設定してください。

画素数	垂直周波数	備考	画素数	垂直周波数	備考
720 × 400	70Hz		800 × 600	75Hz	
640 × 480	60Hz		832 × 624	74.5Hz	Macintosh16”
	65Hz	Macintosh13”(67Hz)	1024 × 768	60Hz	
	72Hz			70Hz	
	75Hz			75Hz	Macintosh19”
800 × 600	56Hz		1280 × 768	56Hz	
	60Hz			60Hz	
	72Hz			70Hz	

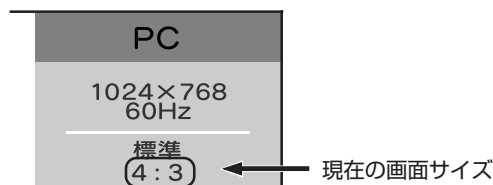
お知らせ

- パソコン側のモニター出力や解像度の設定（例：画面のプロパティ）が必要な場合があります。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- Macintoshは米国アップルコンピューター社の登録商標です。

■接続のしかた

RGB接続ケーブルの取り扱いについて

メディアレシーバーとパソコン（PC）を接続するRGB接続ケーブルは、端子とプラグの形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

■画面サイズを切り換える

PC入力端子から入力された映像を、お好みのサイズに調整します。

- 押すたびに画面サイズが切り換わります。
- 入力信号により、選べる画面サイズが異なります。次の画面サイズから選ぶことができます。

入力信号	4：3	フル	Dot by Dot
720×400 640×480 800×600 832×624	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	16：9画面いっぱいに映します。	入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。※2

入力信号 ※1	4：3	フル1	フル2
1024×768 1280×768	<例> 1024×768入力時 入力信号と画面の画素を一致させ、画面に映します。	<例> 1024×768入力時 16：9画面いっぱいに映します。	<例> 1024×768入力時 ワイド信号表示用のモードです。 1280×768の表示時にお使いください。
	1024×768の表示に最適です。		

※1：PDP-505HDL/PDP-505HDSをお使いの場合は、1024×768（XGA）信号入力時の Dot by Dot表示は「4：3」を、1280×768（ワイドXGA）信号入力時の Dot by Dot表示は「フル2」を選ぶことにより可能です。
※2：PDP-435HDL/PDP-435HDSをお使いの場合は、 横長画素のため、実際の入力信号より横長に映し出されます。

ご注意

- 静止画像、または画面サイズ4：3やDot by Dot、上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示すると焼き付きによる残像が残ります。著作者の権利を侵害する恐れがある場合（→85ページ・ご注意）を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えてお楽しみいただくことをお勧めします。

■画質を調整する

現在［AVセレクション］で選ばれている設定ごとに、画質をお好みに調整できます。調整したい「AVセレクション」に切り換えてください。(→90ページ)

1 ホームメニュー を押す

2 [映像の調整]を選んで、決定 を押す

3 調整したい項目を選んで、決定 を押す

お知らせ

- 調整を初期状態に戻すときは、92ページをご覧ください。

4 ← → でお好みの調整をする

項目	← を押すと	→ を押すと
映像	明暗の差が弱くなる	明暗の差が強くなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
R レベル	赤が弱くなる	赤が強くなる
G レベル	緑が弱くなる	緑が強くなる
B レベル	青が弱くなる	青が強くなる

- 他の項目を調整するときは、戻る を押して手順3・4をくり返します。
- 調整中の画面で ↑ や ↓ を押すと、調整項目を直接切り換えることができます。

終了するときは、元の画面 を押す

■パソコン画面を調整する

最適なパソコン画面を表示させるための設定です。

1 ホームメニュー を押す
2 [その他の設定]を選んで、決定 を押す

●自動で調整する

1 [画面の自動調整開始]を選んで、決定 を押す

お知らせ

- スクリーンセーバーや動画など動きのある映像や画面全体が単色になっている場合には、最適な画面が表示されないことがあります。
  その場合は、下記の「手動で調整する」を行ってください。

●手動で調整する

1 [画面の手動調整]を選んで、決定 を押す
2 調整したい項目を選んで、決定 を押す

- 調整を初期状態に戻すときは、［初期状態に戻す］を選んで、決定 を押し［する］を選んでください。

3 ←→（または↑↓）で適切な調整をする

[水平・垂直位置]
水平位置は、画像が右寄りや左寄りのとき ←→ で調整します。垂直位置は、画像が上がり過ぎや下がり過ぎのとき ↑↓ で調整します。
[クロック周波数]
映像に縦じま状のちらつきがあるときに ←→で調整します。
[クロック位相]
文字などを表示時に、映像のちらつきがあるときやコントラストがつかないとき ←→ で調整します。

■省エネ機能を使う

パソコン（PC）入力専用の省エネ機能です。

1 ホームメニュー を押す
2 [省エネの設定]を選んで、決定 を押す
3 [パワーマネージメント]を選んで、決定 を押す
4 お好みの設定を選んで、決定 を押す

[しない]＊	：パワーマネージメント機能を使いません。
[モード1]	：パソコン入力で無信号の状態になったとき、約8分後に電源をスタンバイ状態にします。
[モード2]	：パソコン入力で無信号の状態が8秒間続くと、自動的に入力信号待ち（サスペンド）状態にします。パソコンから再び信号が入力されると本機の電源が入ります。

＊印は、お買い上げ時の設定です。

お知らせ

- 消費電力の設定は83ページをご覧ください。
- 省エネ機能が働いているときに電源を押すと、本機の電源を入れることができます。もう一度電源を入れても、引き続き入力信号が途切れていると、省エネ機能が働きますので、ご注意ください。

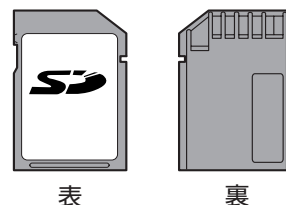
終了するときは、元の画面 を押す

メモリーカードの情報を楽しむ

本機では、メモリーカードを使って、デジタルカメラなどで撮影した画像データを見ることができます。また、ホームページ上のデータを保存、表示することができます。

メモリーカードについて

- 本機で使用できるメモリーカードはSDメモリーカードです。
- SDメモリーカードは、24mm × 32mm × 2.1mmの切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーです。
- 本機の画面でデジタルカメラやデジタルビデオカメラで撮影された画像データを見たり写真現像店に出すプリント枚数を設定することができます（DCF規格*の画像データに限ります）（→ 128ページ）。
  * JEITA（電子情報技術産業協会）が制定した画像ファイルフォーマット
- miniSD™カードを使うときは、必ず専用のminiSD™カードアダプターに装着してお使いください。

表　裏

画像データについて

- JPEG形式のファイルを見ることができます。
  拡張子は「.JPG」にしてください。また、長いファイル名をつけると、一部省略して表示されます。
- 画素数が 160 × 120 ～ 2560 × 1920 の画像データを表示できます。
- 同じファイル名があった場合や、DCF規格上表示をしないファイル名の場合は、それらを表示しません。
- パソコンで編集した画像データも見ることができます。パソコンでフォーマットする場合は、「FAT（FAT16）」形式を推奨します。
- パソコンでは、ディレクトリをフォルダと呼んでいます。

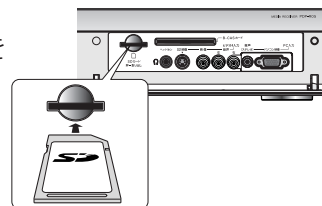
お知らせ

- 録画中は操作できません。
- 音楽や音声など、音の再生はできません。

■撮影した画像をメモリーカードで見る

デジタルカメラなどで撮影した画像データを見ることができます。

① メディアレシーバー前面の扉を開け、メモリーカードを挿入する

- カードの表面を上にして、奥まで押し込んでください。
- メモリーカードの挿入後、メディアレシーバー前面の扉を閉めてください。

② 表示方法を選んで、決定を押す

[マルチ表示（DPOF設定）]	：1画面に最大9つの縮小画像を表示させる。（→126ページ）
[シングル表示]	：1つの画像を画面に大きく表示させる。（→126ページ）
[スライド表示]	：連続して画像を表示させる。（→127ページ）

画像が表示されます。

- ディレクトリ内を探し、メモリーカードの画像をできる限りすべて表示対象とします。
- ディレクトリ数やファイル数が多いときは表示に時間がかかることがあります。

■ 画面に複数の縮小画面を表示させて見る（マルチ表示）

記録されている画像の枚数

データの読み込み中に表示
（表示中は電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。）

画像番号またはファイル名（先頭から半角8文字表示）

選択した画像の情報
- No.　：画像番号またはファイル名（先頭から半角8文字表示）
- 日付　：画像がメモリーカードに保存された日付
- 画素数　：横の画素数×縦の画素数
- プリント枚数　：写真現像店でプリントする枚数

エラー表示

選択した画像
（↑↓←→で移動）

スクロールバー
- 次ページに画像があるときは黄色で表示（↑↓で移動）

■ メモリーカードの抜きかた

1. 元の画面 を押す
2. 挿入されているメモリーカードを一度奥に押して、指を離す

ご注意
- 同じ画像を長時間表示しないでください。画面が焼き付き、残像が残ることがあります。
- 表示中は電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。

■ 1 枚ずつ見る（シングル表示）

●画面を切り換えるには

- ↑↓を押すたびに画像が切り換わります。

●画像を回転させるには

- →を押すたびに、時計回りに 90 度ずつ回転します。

●回転させた状態で保存するには

1. 決定 を押す
2. [はい] を選んで、決定 を押す

- マルチ表示のときや DPOF 自動再生ファイルでは反映されません。

■ 連続して見る（スライド表示）

① [再生モード]を選ぶ

[手動]	：［↑］［↓］を押すたびに画像が切り換わります。
[自動]	：設定した時間で自動的に画像が切り換わります。

●[自動]を選んだときは

[画像表示間隔（秒)］を選んで、画像を切り換える時間を設定します。

［←］［→］で秒数を設定します。

- 画像サイズが大きいときは、設定より間隔が長くなります。

● DPOF自動再生ファイル(将来デジタルカメラがサポート予定)があるときは

再生方法を選びます。

[全画面再生]	：すべてを連続再生します。
[DPOF自動再生ファイルn※]	：ファイルを選んで、自動再生します。

※ nはファイル番号

② [開始]を選んで、［決定］を押す

● 自動再生を止めるとき ➡ ［決定］を押す

● 終了するとき ➡ ［元の画面］を押す

■ 表示方法を変えたいときは

●表示方法を変えたいときは ➡

［赤］	シングル表示にします。
［緑］	スライド表示にします。
［青］	マルチ表示(DPOF設定) にします。

●画質調整をするときは ➡ ［ホームメニュー］を押して［映像の調整］を選んで、［決定］を押す（→91 ページ）

●元のテレビ画面などに戻すには ➡ ［元の画面］を押す

●もう一度表示したいときは ➡ ① ［番組ナビ］を押し、[メモリーカード]を選んで、［決定］を押す
② 表示方法を選んで、［決定］を押す

■ 画像のプリント枚数を設定する

DCF規格の画像データとファイル名が半角8文字以内のJPEGファイルは写真現像店でプリントする枚数を設定できます。ただし、パソコンで編集した画像は設定できないことがあります。

① マルチ表示画面でプリントしたい画像を選んで、［決定］を押す

② ［便利機能］を押し、[枚数設定]を選んで、［決定］を押す

③ 枚数を設定し、[設定］を選んで、［決定］を押す

- 0〜999枚まで設定可能です。(0枚にすると設定が解除されます)

④ 終わったら［元の画面］を押す

メモリーカードの情報を楽しむ（つづき）

■ ホームページ上のデータを保存する

将来のTナビサービスで提供予定の画像データなどをメモリーカードに保存するための機能です。

1. **ホームページを表示し(→115ページ)、メモリーカードを挿入する**
2. **保存したい項目を選ぶ**
   - 選んだ項目が黄色の枠で囲まれます。
   - 選んだ項目のハイパーリンク先が保存の対象です。見たままの画面を保存することはできません。
3. **便利機能 を押し、[データを保存]を選んで、決定 を押す**
4. **[このディレクトリに保存]を選んで、決定 を押す**
   - 他のディレクトリに保存するときは、保存するディレクトリを選び、決定を押します。
5. **メッセージを確認して、決定 を押す**

ご注意

- データ保存中は、電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

お知らせ

- ハイパーリンク先がホームページのときは全体を保存することはできません。

■ 保存したホームページや画像を見る

1. **Tnavi を押し、メモリーカードを挿入する**
2. **便利機能 を押し、[保存データを見る]を選んで、決定 を押す**
3. **アドレス入力画面(→115ページ)で以下の操作を行う**
   - 文字入力方式が［リモコンボタン］のときは 決定を押し、［確定］を選びます。画面キーボードが表示されているときは 黄を押し、［確定］を選び、決定を押します。
4. **一覧から見たいファイルを選んで、決定 を押す**

お知らせ

- メモリーカードのデータ削除はパソコンなどで行ってください。
- 一度表示したデータは「お好みページ」に登録できます。（→117ページ）
- 50万画素を超える画像や参照データのないHTMLファイルなどは表示できないことがあります。

メモリーカードに保存したデータを送信するには

- メモリーカードを挿入して、送信するファイルを選んで、決定 を押します。
- Tナビのページ上の説明に従って操作すると、データが送信されます。 送信するデータと送信先を確認してから操作してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。お使いのアンテナやビデオデッキなどもあわせてお調べください。下記の項目に従ってもう一度点検されても直らないときは、ご購入店にお問い合わせください。

	こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
全般	電源が入らない	・ディスプレイとメディアレシーバーの電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	26ページ
		・ディスプレイとメディアレシーバーの主電源は入っていますか。	74ページ
	映像が出ない 画面に緑色と赤色の長方形が交互に表示される	・システムケーブルが抜けていませんか。 または抜けかかっていませんか。	26ページ
	電源が切れた	・本機の保護回路が動作したと考えられます。ディスプレイとメディアレシーバーの電源ボタンを押して主電源を切り、1分以上たってからもう一度、電源を入れてください。	74ページ
	映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	26ページ
		・電源が「切」の状態になっていませんか。	74ページ
		・テレビ放送(地上アナログ・地上デジタル・BS・110度CSデジタル)を見たいのに、ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	74・82ページ
	リモコンが動作しない	・電池の極性(⊕、⊖)が逆になっていませんか。	20ページ
		・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	20ページ
		・リモコンはディスプレイのリモコン受光部に向けてお使いください。	19・74ページ
		・Irシステムケーブルがコントロール(入力／出力)端子に接続されていませんか。Irシステムケーブルはlrシステム端子に接続してください。	38ページ
	音が左右逆になる 片方しか音が出ない	・スピーカーケーブルが左右逆に接続されたり、片方が抜けたりしていませんか。	26ページ
		・「バランス」が正しく調整されていますか。	96ページ
	映像は出るが音声が出ない	・音量が最小になっていませんか。	75ページ
		・「消音」状態になっていませんか。	75ページ
		・ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続したままになっていませんか。	16ページ
		・ビデオ1～4入力やPC入力をお使いになるときは、音声端子も接続されていることを確認してください。	35・36, 122ページ
	音声は出るが映像が出ない	・[消費電力]の設定で[消画]が設定されていませんか？[消画]が選択されると音声のみ再生されます(映像は表示されません)。消画状態からもう一度画面を表示させるには、(音量＋／－)、(消音)、(フロントサラウンド)以外のボタンを押します。	83ページ
	デジタル放送が映らない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。2004年4月からデジタル放送の著作権保護のため、コピー制御の仕組みが導入されています。B-CASカードを常時挿入していないとデジタル放送が視聴できません。	41ページ
	色がうすい 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいなどは正しく調整されていますか。	91ページ
	特定チャンネル(地上アナログ放送)だけ映らない	・「個別チャンネル設定」(アナログチューナーの設定)の「手動微調整」がズレていませんか。	46ページ
	長時間(3時間以上)視聴していると、電源が切れてしまう	・「省エネの設定」で「無操作オフ」が「する」に設定されていませんか。	83ページ
	電源スタンバイ状態でもファンが回っている	・電源スタンバイ状態にしてもファンはすぐに止まりません。ファンの回転が止まるまでに、数秒かかります。	
		・電源スタンバイ状態にしても、次のような場合(デジタルチューナー部が動作中)にファンは回りますが、故障ではありません。 ①WOWOWや110度CSデジタル放送の無料視聴キャンペーンに加入した。 ②デジタル放送の予約録画(i.LINK予約・連動予約)を実行している。 ③衛星ダウンロードサービスにてデータをダウンロードしている。	 106ページ 72ページ

故障かな？と思ったら（つづき）

全般

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像が出ず雑音のみ出る	・アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。	28~30ページ
	・アンテナ線は正しく接続されていますか。	28~30ページ
色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整することによって、妨害がある程度少なくなることがあります。	

VHF／UHF（地上アナログ）アンテナ

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。VHF/UHF(地上アナログ)アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	
映像が二重になる（ゴースト）	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。VHF/UHF(地上アナログ)アンテナの向きや高さを変えてみてください。	
	・「個別チャンネル設定」（アナログチューナーの設定）で「GR」が「しない」に設定されていませんか。	46ページ
雪が降っているような画面になる	・VHF/UHF(地上アナログ)アンテナ線は正しく接続されていますか。	28ページ
	・屋外VHF/UHF(地上アナログ)アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ・VHF/UHF(地上アナログ)アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	

地上アナログ放送

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンのチャンネルボタン(1)～(12#)で希望のチャンネルが選局できない	・地上アナログ放送のリモコン番号「1」～「12」に希望の地上アナログチャンネルが設定されていますか。	45ページ
リモコンの(チャンネル(+ /–))で希望の地上アナログチャンネルが選局できない	・リモコン番号「1」～「48」に希望の地上アナログチャンネルが設定されていますか。	45ページ
	・「個別チャンネル設定」で「スキップ：する」に設定されていませんか。	46ページ

BS・110度CSデジタル放送関連

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない	・本機の保護回路が動作したと考えられます。メディアレシーバーの電源ボタンを押して主電源を切り、1分以上たってからもう一度電源を入れてください。	74ページ
	・衛星の「アンテナ設定」（デジタルチューナーの設定）でアンテナ電源が「オフ」になっていませんか。	54ページ
	・BS･110度CSデジタル放送受信用のアンテナケーブルが抜けていませんか。	29･30ページ
	・映像、音声のない放送ではありませんか。	
	・ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	82ページ
	・強い外来ノイズ（静電気、または落雷などによる電源電圧の異常など）を受けた場合などに発生することがあります。メディアレシーバーの主電源ボタンを押して電源を切り、1分以上たってからもう一度電源を入れてください。	74ページ
画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	・アンテナレベルを確認してください。	54ページ
	・BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナの向きがズレていませんか。	54ページ
	・BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナの前方に障害物はありませんか。	
	・アンテナはBS・110度CSデジタル放送対応のものを使用していますか。	30ページ
	・BS･110度CSデジタル放送受信用アンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	30ページ

BS・110度CSデジタル放送関連

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
有料放送の視聴ができない	・有料放送を視聴するための契約はしていますか。	81ページ
	・電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	31,56ページ
110 度CS デジタル放送が受信できない	・ブースターや分配器等が110度CSデジタル放送対応でないものを使用していませんか。	30ページ
	・放送切り換えが地上アナログ／地上デジタル／BSデジタル放送になっていませんか。	74ページ
BS・110度CSデジタル放送を見ていると、動きの速い映像で細かなブロック状のノイズが出る	・映像(コンテンツ)の情報量過多により、放送機材(エンコーダー)の処理能力を超えたときに発生します。この症状は、本機の故障ではありません。	
特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送や有料番組(ペイ・パー・ビュー)ではありませんか。	81ページ
	・アンテナレベルを確認してください。	54ページ
番組表が表示されない 番組表に表示されない番組がある	・電源を「入」にしたあと、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	
音声が途切れる	・雪や雨で、天候が悪くありませんか。	
Irシステムでの予約録画ができない	・Irシステムケーブルは正しく接続されていますか。	38ページ
	・ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。	103ページ
	・データ番組ではありませんか。	
番組の予約をしても受信できない場合がある	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	

地上デジタル放送関連

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像や音声が出ない、または時々出なくなる 映像が静止、または時々静止する	・風や振動によってアンテナの向きが変わっていませんか。またはアンテナケーブルに劣化などはありませんか。「地上デジタル放送のアンテナ入力レベルを確認する」でアンテナ入力レベルが受信可能レベルに達しているか確認してください。	54ページ
放送が受信できない	・お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか。 地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力電波で開始されます。そのため放送エリアが限られます。また、受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。 ・アンテナは地上デジタル放送の送信局に向いていますか。 地上アナログ放送の送信局と方向が異なる地域があります。 ・地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをお使いですか。	29ページ

デジタル放送（共通）関連

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
電話機に雑音が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	・付属のモジュラー分配器をお使いになると、一部の電話機やファクシミリで、この現象が起こることがあります。別売の自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で改善されることがあります。詳しくはお使いの電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	32ページ
字幕や文字スーパーが出ない	・メニュー画面などが表示されていませんか。(元の画面)を押して、メニュー画面や操作説明画面などを消してください。 ・［字幕の設定］の［字幕］や［文字スーパー］が［オフ］に設定されていませんか。［オン］に設定してください。 ・字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	100ページ

	こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
その他	i.LINK接続が認識されない	・接続先の機器の電源は入っていますか。	
		・i.LINKケーブルが抜けていませんか。	36ページ
		・接続先はD-VHSビデオデッキですか。 本機はD-VHSビデオデッキのみ接続が可能です。	36ページ
	Tナビが動かない	・ADSLなどのブロードバンド環境が必要です。	33ページ
	Tナビのコンテンツが表示されない	・天災やシステム障害などにより、表示できないことがあります。あらかじめご了承ください。	

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。このようなときはディスプレイおよびメディアレシーバーの主電源ボタンを押して電源を切り、1 分以上たってからもう一度電源を入れてください。

■ブロードバンド環境（ADSLモデムやブロードバンドルーター）のトラブル解決のヒント

・ADSL モデムの状態を示す表示ランプ（「ADSL」、「リンク」、「Link」、「LINE」、「PPP」 など）を確認して、ADSL 回線につながっているか確認してください。
※ 表示ランプの名称はADSLモデムによって異なりますので、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
・ADSL モデムやブロードバンドルーターの電源を入れ直してください。
・ファクシミリ、ホームテレホン、ビジネスフォン、電話線付きのガスメーターなどをお使いのときは、プロバイダーや回線業者などにご相談ください。
・ADSL モデムの PPPoA の設定やブロードバンドルーターの PPPoE の設定を確認してください。
・ID、パスワード、DNS の設定などを確認してください（お使いの機器の取扱説明書をご覧ください）。
・その他、ADSL 回線のトラブルは、プロバイダーや回線業者にご相談ください（プロバイダーや回線業者の説明書をご覧ください）。

■このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする
・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

BS・110 度 CS 共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害
・衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
・春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。

●次のコードやメッセージが画面に表示されている場合は、ご購入店にご相談ください。

コード	メッセージ	ここをお確かめください
SD04	内部温度上昇のため、電源をオフします。 PDP周辺の温度を確認してください。	ディスプレイ周辺の温度が高くなっていませんか？
SD05	内部保護回路動作により、電源をオフします。 スピーカーケーブルはショートしていませんか。	スピーカーケーブルの接続（ディスプレイ部・スピーカー部）をご確認ください。
SD11	内部温度上昇のため、電源をオフします。 メディアレシーバー周辺の温度を確認してください。	メディアレシーバー周辺の温度が高くなっていませんか？

■ i.LINK に関する注意文

注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続し直してください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。i.LINKでD-VHSビデオデッキをつなぐ(→36ページ)をお読みのうえ、接続し直してください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■ T ナビ関連でお困りのときは

ご質問	ご回答
T ナビの接続環境に制限はありますか。	ADSLなどの常時接続に限ります。常時接続でない場合には、接続プランの変更などが必要です。また、10BASE-Tが接続できるか確認してください。
CATVやFTTHのブロードバンドサービスでもTナビは使えますか。	一部のCATVやFTTHでは動作検証されています。ブロードバンドルーターの使用が許可されているかどうか確認してください。
現在ISDN回線ですが、Tナビは使えますか。	ISDN回線を通常の電話回線に戻してADSLを導入する必要があります。電話会社と回線業者にご相談ください。
テレビとルーターを離れた場所に置きたいのですが。	LANケーブルが配線できないときは、無線LANの導入をご検討ください。
パソコンと同時に使えますか。	ブロードバンドルーターなどで分配すれば、お使いいただけます。(→33ページ)
電話回線によるダイアルアップ接続でTナビは使えますか。	使えません。Tナビは、ブロードバンド環境を前提としたサービスとなっています。
Tナビのサービスにはどのようなものがありますか。	おでかけ情報、レジャー、レシピ、生活、占い、ゲーム、地域情報などがあります。
Tナビは有料ですか。	Tナビのサービス自体は無料です。ただし、Tナビサイトの中には有料のものもあります。また、ADSLなどの回線使用料やプロバイダー料金は別途、必要です。
Tナビのコンテンツはパソコンで見られますか。	基本的にはTナビ対応テレビのみのサービスですが、パソコンで見られるTナビサイトも一部あります。
Tナビから一般のホームページは見られますか。	見ることはできますが、推奨できません。一般のホームページは、テレビ向けに作成されていないので、文字が読みにくかったり、内容が表示されない場合があります。
Tナビサイトは、一般のホームページとどう違うのですか。	Tナビサイトは、一般のホームページとは異なり、本機の機能を用いて操作・閲覧できるように構成されています。リビングでの利用に配慮して運営されているサイトです。
Tナビサイトでは、個人情報は保護されるのでしょうか。	インターネットで広範に採用されている暗号化方式、SSLに対応しています。
TナビでEメール(電子メール)は使えますか。	本機単独では、インターネットのEメールは、使えません。Tナビサイトが提供するWEBメールが利用できる場合があります。
視聴制限機能はありますか。	URL入力による一般のホームページの閲覧を暗証番号で制限する機能があります。
一般のホームページを見ているときの画面スクロールはどうするのですか。	リモコンのカーソルボタンでスクロールできます。ただし、パソコンのようななめらかなスクロールはできません。また、正しく表示されないこともあります。
Tナビで表示されたページを印刷できますか。	できません。本機にはプリント機能はありません。
ワープロや表計算などのソフトは使えますか。	使えません。
PPPoEの機能は、Tナビにありますか。	ありません。ブロードバンドルーターでPPPoEの機能をお使いください。
ストリーミングに対応していますか。	対応していません。
デジタル放送のデータ放送とは、どう違うのですか。	デジタル放送のデータ放送は放送電波でデータが送られ、返信は電話回線を使います。Tナビは受信・送信ともにブロードバンド環境を使います。

メッセージ表示一覧

本機では、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主な「メッセージ」とメッセージが表示されたときの対処方法は下記のとおりです。

画面に表示されるメッセージ	確認内容や対処のしかた
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向は正しいですか？ または、使用できないカードが挿入されていませんか？ B-CASカードを正しく挿入してください。
B-CASカードの交換が必要です。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	本機(メディアレシーバー)の主電源を切った状態で、B-CASカードを抜き差ししてください。再度同じメッセージが表示されるときは B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	衛星デジタル放送受信用アンテナケーブルの芯線と網組線が接触(ショート：短絡)していませんか？ 衛星アンテナ設定でアンテナ電源は正しく設定されていますか？(→54ページ) 衛星デジタル放送受信用アンテナケーブルの接続が不完全ではありませんか？
データ取得中です。	デジタル放送からデータを取得中です。
選局中です。しばらくお待ちください。	選局動作中です。
購入できませんでした。	購入記録が送信できていますか？B-CASカードの記録容量が超えてませんか？電話回線の接続や設定を確認してください。(→110、31ページ)
受信できません。	受信データに何らかの異常がありました。
視聴できません。	有料番組ではありませんか？購入操作を行ってください。
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	放送が休止されているチャンネルを選んでいます。
降雨対応放送に切り替わりました。	雨の影響によって、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送が受信できるように降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示もできない場合があります。
緊急警告放送が開始されました。 決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警告放送が開始されています。必ず確認してください。
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	天候の影響などで受信障害が発生していませんか？放送されていないチャンネルを選局していませんか？アンテナの設定や調整は正しいですか？
番組データがありません。受信予定時間が取得できません。	地上デジタル放送では、番組表画面で選択して、決定ボタンを押すと、受信可能なチャンネルであれば、数分で受信します。
番組データ受信待ちです。	
時刻情報を取得中です。 しばらくお待ちください。	本機は時刻情報をデジタル放送から取得しています。衛星デジタル放送をプログラム予約するときは、衛星アンテナを接続してください。
放送の受信状況が変わりました。 再度、地上デジタルチャンネル設定を行ってください。	地上デジタル放送局が新規に開局するなど、受信状況が変わったことを検出しました。新規開局時は、地上デジタル放送のチャンネル修正で、放送局を追加できます。(→47ページ)
データ送信をします。よろしいですか？	データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。
無効なURLが指定されました。	アドレス(URL)に禁止された文字が使われています。正しいアドレス(URL)を入力してください。
サーバーがみつかりません。	アドレス(URL)が間違っていませんか？入力したアドレス(URL)が正しいか確認してください。アドレス(URL)が正しい場合は、ブラウザ設定やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
サーバーへの接続に失敗しました。	サーバーへのアクセスが集中しているため接続できないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってからもう一度実行してください。それでもホームページに接続できない場合は、ブラウザ設定やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
サーバーとの通信に失敗しました。	通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中している可能性があります。しばらく待ってから再度実行してください。
日付情報がありません。リモコンで今日の日付を設定してください。決定ボタンを押してください。	衛星アンテナが接続されていない場合などに表示されることがあります。メッセージに従って本日の日付を入力してください。

画面に表示されるメッセージ	確認内容や対処のしかた
認証に失敗しました。	回線業者やプロバイダーからのIDやパスワードを間違えて設定している可能性があります。ブロードバンドルーターなどの取扱説明書に従って、正しく設定してください。
指定されたページが見つかりませんでした。	アドレス(URL)が間違っていませんか？正しいアドレス(URL)を入力してください。
接続サイト先の証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか？サイト名：○○○	接続先サイトの安全性が確認できませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをお勧めします。しばらく待ってから再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。
接続できませんでした。LANケーブルの接続を確認してください。	ハブをお使いで、ハブのLinkランプが消えている場合はケーブルが正しく接続されているか(LANコネクタの接触不良、LANケーブル以外の使用、クロスケーブルとストレートケーブルの間違いなどがないか)確認してください。
IPアドレスが設定されていません。本機の「ネットワーク設定」をご確認ください。	ネットワーク設定でIPアドレスが「--.---.---.---」になっていませんか？ネットワーク設定を行ってください。
IPアドレスが取得できませんでした。ルーターとの接続や設定をご確認ください。	ハブをお使いの場合は、ハブ～ルーター間の接続をご確認ください。ルーターにつなぐ側のハブのポートはUPLINKにつないでください。また、ハブのLinkランプが消えている場合はケーブルが正しく接続されているか(LANコネクタの接触不良、LANケーブル以外の使用、クロスケーブルとストレートケーブルの間違いなどがないか)確認してください。上記で問題がなければルーターなどのDHCPが動作していない可能性があります。ルーターの設定や動作をご確認ください。いったん、ルーターのリセットを行ってください。
IPアドレスの重複を検知しました。設定をご確認ください。	本機と同じIPアドレスが他の機器で使われています。本機、および本機につながっている機器のIPアドレスを確認し、重複のないように再設定してください。
接続テストを実行できませんでした。	一度、メディアレシーバーの主電源を切って入れ直してから、再度実行してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
アドレスが正しく設定されませんでした。	
接続テストに失敗しました。ゲートウェイが応答しません。ルーターとの接続や設定を確認してください。	ハブをお使いの場合は、ハブ～ルーター間の接続をご確認ください。ルーターにつなぐ側のハブのポートはUPLINKにつないでください。また、ハブのLinkランプが消えている場合はケーブルが正しく接続されているか(LANコネクタの接触不良、LANケーブル以外の使用、クロスケーブルとストレートケーブルの間違いなどがないか)確認してください。ネットワーク設定でのIPアドレス、ゲートウェイアドレス、サブネットマスクを確認してください。無線LANをお使いの場合は通信設定を確認してください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から1年間です。 ただし、プラズマディスプレイのガラスパネル部分のみは2年間です。

ご注意

- 画素欠陥については故障・不良ではありませんので、保証の対象外とさせていただきます。
- お客様のご使用過程で発生したディスプレイの焼き付きも、保証の対象外です。
- 「使用上のご注意」（➔10ページ）をよくお読みの上、正しくご使用になることをお勧めいたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理受付センター（裏表紙）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

129～135ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

・ご住所
「付近の目印もあわせてお知らせください」
・お名前
・お電話番号
・製品名　デジタルハイビジョンプラズマテレビ
・型番　PDP-505HDL/PDP-505HDS
PDP-435HDL/PDP-435HDS
・お買い求め日
・故障または異常の内容
「できるだけ具体的に」
「画面に表示されたコードやメッセージ」
・訪問ご希望日
・ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。テレビの音量は心がけ次第で大きくも小さくもなります。とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などにはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

長年ご使用のプラズマテレビの点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電源が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、「保証とアフターサービス」（上記）をお読みのうえ、修理受付センター（裏表紙）に点検をご依頼ください。

地上アナログ放送地域コード一覧表

※地上アナログ放送地域コード別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。（2004年1月現在）

リモコン番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	001	1 北海道放送		3 NHK総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ			27 北海道文化放送		35 北海道テレビ		12 NHK教育
	小樽	002		2 NHK教育		4 北海道テレビ		24 テレビ北海道	7 札幌テレビ	26 北海道文化放送	9 北海道放送		11 NHK総合	
	旭川	003		2 NHK教育		33 テレビ北海道			7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	名寄	004				4 NHK総合		6 札幌テレビ	24 北海道テレビ	26 北海道文化放送		10 北海道放送		12 NHK教育
	稚内	005		30 NHK教育		24 北海道テレビ			22 札幌テレビ	26 北海道文化放送	28 NHK総合	10 北海道放送		
	室蘭	006		2 NHK教育				29 テレビ北海道	7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	苫小牧	007		49 NHK教育				47 テレビ北海道	57 札幌テレビ	53 北海道文化放送	51 NHK総合	61 北海道テレビ	55 北海道放送	
	函館	008				4 NHK総合	21 テレビ北海道	6 北海道放送	35 北海道テレビ	27 北海道文化放送		10 NHK教育		12 札幌テレビ
	帯広	009				4 NHK総合		6 北海道放送	34 北海道テレビ	32 北海道文化放送		10 札幌テレビ		12 NHK教育
	釧路	010		2 NHK教育				39 北海道テレビ	7 札幌テレビ	41 北海道文化放送	9 NHK総合		11 北海道放送	
	網走	011	1 北海道放送		3 NHK総合		5 札幌テレビ		35 北海道テレビ	27 北海道文化放送				12 NHK教育
	北見	012		2 NHK教育				61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	59 北海道文化放送	9 NHK総合		53 北海道放送	
青森	青森	013	1 青森放送		3 NHK総合	34 青森朝日放送	5 NHK教育			27 北海道文化放送			35 北海道テレビ	38 青森テレビ
	八戸	014		2 岩手放送	37 テレビ岩手	31 青森朝日放送	12 札幌テレビ		7 NHK教育	27 北海道文化放送	9 NHK総合	29 めんこいテレビ	11 青森放送	33 青森テレビ
	むつ	015				4 NHK総合		56 青森朝日放送				10 青森放送	58 青森テレビ	12 NHK教育
岩手	盛岡	016	1 東北放送	33 めんこいテレビ	35 テレビ岩手	4 NHK総合		6 岩手放送	32 東日本放送	8 NHK教育	34 ミヤギテレビ	38 青森テレビ	31 岩手朝日テレビ	12 仙台放送
	釜石	017		2 NHK総合	58 テレビ岩手						60 めんこいテレビ	10 岩手放送	62 岩手朝日テレビ	12 NHK教育
	二戸	018		2 岩手放送	37 テレビ岩手		5 NHK総合				29 めんこいテレビ		61 岩手朝日テレビ	12 NHK教育
宮城	仙台	019	1 東北放送		3 NHK総合		5 NHK教育		32 東日本放送		34 ミヤギテレビ			12 仙台放送
	石巻	020	59 東北放送		51 NHK総合		49 NHK教育		61 東日本放送		55 ミヤギテレビ			57 仙台放送
	気仙沼	021		2 NHK総合		4 東北放送		6 仙台放送	43 東日本放送		37 ミヤギテレビ	10 NHK教育		
秋田	秋田	022		2 NHK教育			31 秋田朝日放送				9 NHK総合		11 秋田放送	37 秋田テレビ
	大館	023	1 青森放送			4 NHK総合	59 秋田朝日放送	6 秋田放送		8 NHK教育				57 秋田テレビ
	大曲	024		43 NHK教育			41 秋田朝日放送				45 NHK総合		47 秋田放送	51 秋田テレビ
山形	山形	025				4 NHK教育		36 テレビユー山形		8 NHK総合		10 山形放送	30 さくらんぼテレビ	38 山形テレビ
	鶴岡	026	1 山形放送		3 NHK総合			6 NHK教育		22 テレビユー山形			24 さくらんぼテレビ	39 山形テレビ
	米沢	027				50 NHK教育		56 テレビユー山形		52 NHK総合		54 山形放送	60 さくらんぼテレビ	58 山形テレビ
福島	福島	028	1 東北放送	2 NHK教育		31 テレビユー福島		33 福島中央テレビ	32 東日本放送	34 ミヤギテレビ	9 NHK総合	35 福島放送	11 福島テレビ	12 仙台放送
	いわき	029	1 東北放送	62 テレビユー福島		4 NHK総合		34 福島中央テレビ	32 東日本放送	8 福島テレビ		10 NHK教育	12 仙台放送	60 福島放送
	会津若松	030	1 NHK総合		3 NHK教育	47 テレビユー福島		6 福島テレビ	32 東日本放送	37 福島中央テレビ	34 ミヤギテレビ	41 福島放送		12 仙台放送
茨城	水戸	031	44 NHK総合		46 NHK教育	42 日本テレビ	16 放送大学	40 TBSテレビ		38 フジテレビ	39 千葉テレビ	36 テレビ朝日		32 テレビ東京
	日立	032	52 NHK総合		50 NHK教育	54 日本テレビ		56 TBSテレビ		58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
栃木	宇都宮	033	29 NHK総合		27 NHK教育	25 日本テレビ	16 放送大学	23 TBSテレビ		21 フジテレビ	31 とちぎテレビ	19 テレビ朝日	48 群馬テレビ	17 テレビ東京
	矢板	034	51 NHK総合		49 NHK教育	53 日本テレビ		55 TBSテレビ		57 フジテレビ	33 とちぎテレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京
群馬	前橋	035	52 NHK総合		50 NHK教育	54 日本テレビ	48 群馬テレビ	56 TBSテレビ	40 放送大学	58 フジテレビ	38 テレビ埼玉	60 テレビ朝日		62 テレビ東京
	桐生	036	43 NHK総合		45 NHK教育	39 日本テレビ	41 群馬テレビ	37 TBSテレビ	40 放送大学	35 フジテレビ		33 テレビ朝日		31 テレビ東京
埼玉	さいたま	037	1 NHK総合	14 MXテレビ	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	48 群馬テレビ	12 テレビ東京
	熊谷	038	33 NHK総合		35 NHK教育	25 日本テレビ		23 TBSテレビ	28 テレビ埼玉	21 フジテレビ		19 テレビ朝日		17 テレビ東京
	秩父	039	51 NHK総合		49 NHK教育	53 日本テレビ		55 TBSテレビ	47 テレビ埼玉	57 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
千葉	千葉	040	1 NHK総合	14 MXテレビ	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	42 TVKテレビ	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	38 テレビ埼玉	12 テレビ東京
	銚子	041	51 NHK総合		49 NHK教育	53 日本テレビ		55 TBSテレビ		57 フジテレビ	39 千葉テレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京
東京	東京（23区）	042	1 NHK総合	14 MXテレビ	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	42 TVKテレビ	8 フジテレビ	46 千葉テレビ	10 テレビ朝日	38 テレビ埼玉	12 テレビ東京
	八王子	043	51 NHK総合	47 MXテレビ	49 NHK教育	53 日本テレビ		55 TBSテレビ		57 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
	多摩	044	30 NHK総合	28 MXテレビ	32 NHK教育	26 日本テレビ		24 TBSテレビ		22 フジテレビ		20 テレビ朝日		18 テレビ東京

地上アナログ放送地域コード一覧表（つづき）

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
神奈川	横浜１	045	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ	48 TVK テレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
	横浜２	046	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	42 TVK テレビ	8 フジテレビ		10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	平塚	047	33 NHK 総合		29 NHK 教育	35 日本テレビ		37 TBS テレビ	31 TVK テレビ	39 フジテレビ		41 テレビ朝日		43 テレビ東京
	秦野	048	47 NHK 総合		49 NHK 教育	51 日本テレビ		53 TBS テレビ	61 TVK テレビ	55 フジテレビ		57 テレビ朝日		59 テレビ東京
	小田原	049	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ	46 TVK テレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
山梨	甲府	050	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4 日本テレビ	5 山梨放送	37 テレビ山梨	6 TBS テレビ	8 フジテレビ		10 テレビ朝日		12 テレビ東京
長野	長野１	051		44 NHK 総合		50 長野朝日放送		40 テレビ信州			46 NHK 教育	42 長野放送	48 信越放送	
	長野２	052		2 NHK 総合		20 長野朝日放送		30 テレビ信州			9 NHK 教育	38 長野放送	11 信越放送	
	松本	053		44 NHK 総合		50 長野朝日放送		48 テレビ信州			46 NHK 教育	42 長野放送	40 信越放送	
	飯田	054	44 長野朝日放送		3 NHK 教育	4 NHK 総合		6 信越放送		42 テレビ信州		40 長野放送		
	岡谷・諏訪	055	61 長野朝日放送			4 NHK 総合		6 信越放送		8 NHK 教育	59 テレビ信州	47 長野放送		
新潟	新潟	056			21 新潟テレビ 21	29 テレビ新潟	5 新潟放送			8 NHK 総合		35 新潟総合テレビ		12 NHK 教育
	上越	057	1 NHK 教育		3 NHK 総合	27 テレビ新潟	37 新潟テレビ 21					10 新潟放送	33 新潟総合テレビ	
富山	富山	058	1 北日本放送	6 北陸放送	3 NHK 総合	37 石川テレビ		32 チューリップテレビ				10 NHK 教育		34 富山テレビ
	高岡	059	50 北日本放送		48 NHK 総合			42 チューリップテレビ				46 NHK 教育		44 富山テレビ
石川	金沢	060	1 北日本放送	25 北陸朝日放送	34 富山テレビ	4 NHK 総合		6 北陸放送		8 NHK 教育		33 テレビ金沢		37 石川テレビ
	七尾	061		59 北陸朝日放送			5 NHK 教育				9 NHK 総合	57 テレビ金沢	11 北陸放送	55 石川テレビ
福井	福井	062			3 NHK 教育			6 北陸放送			9 NHK 総合		11 福井放送	39 福井テレビ
	敦賀	063						6 NHK 総合		8 福井放送		38 福井テレビ		12 NHK 教育
岐阜	岐阜	064	1 東海テレビ		39 NHK 総合		5 CBC テレビ	25 テレビ愛知	37 岐阜放送	33 三重テレビ	9 NHK 教育		11 メ~テレ	35 中京テレビ
	高山	065		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 CBC テレビ	38 岐阜放送	8 東海テレビ			26 中京テレビ	12 名古屋テレビ
	中津川	066				4 NHK 総合		6 名古屋テレビ	28 岐阜放送	8 CBC テレビ		10 東海テレビ	26 中京テレビ	12 NHK 教育
静岡	静岡	067	1 東海テレビ	2 NHK 教育		31 静岡第一テレビ	5 CBC テレビ	33 静岡朝日テレビ	25 テレビ愛知		9 NHK 総合		11 静岡放送	35 テレビ静岡
	浜松	068	1 東海テレビ	30 静岡第一テレビ		4 NHK 総合	5 CBC テレビ	6 静岡放送	25 テレビ愛知	8 NHK 教育		28 静岡朝日テレビ		34 テレビ静岡
	富士	069		54 NHK 教育		27 静岡第一テレビ		29 静岡朝日テレビ			52 NHK 総合		41 静岡放送	39 テレビ静岡
	三島・沼津	070		51 NHK 教育		61 静岡第一テレビ		57 静岡朝日テレビ			53 NHK 総合		55 静岡放送	59 テレビ静岡
	島田	071	1 NHK 総合		3 NHK 教育	48 静岡第一テレビ	5 静岡放送	50 静岡朝日テレビ						58 テレビ静岡
	藤枝	072	42 NHK 総合		44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	40 静岡放送	26 静岡朝日テレビ						38 テレビ静岡
愛知	名古屋	073	1 東海テレビ		3 NHK 総合		5 CBC テレビ	37 岐阜放送	35 中京テレビ	33 三重テレビ	9 NHK 教育		11 メ~テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	074	56 東海テレビ		54 NHK 総合		62 CBC テレビ		58 中京テレビ		50 NHK 教育		60 メ~テレ	52 テレビ愛知
	豊田	075	57 東海テレビ		53 NHK 総合		55 CBC テレビ		59 中京テレビ		51 NHK 教育		61 メ~テレ	49 テレビ愛知
三重	津	076	1 東海テレビ	25 テレビ愛知	31 NHK 総合	4 毎日テレビ	5 CBC テレビ	6 ABC テレビ	33 三重テレビ	8 関西テレビ	9 NHK 教育	10 読売テレビ	11 メ~テレ	35 中京テレビ
	伊勢	077	57 東海テレビ		53 NHK 総合		55 CBC テレビ		59 三重テレビ		49 NHK 教育		61 メ~テレ	47 中京テレビ
	名張	078	62 東海テレビ		52 NHK 総合		60 CBC テレビ		58 三重テレビ		50 NHK 教育		56 メ~テレ	54 中京テレビ
滋賀	大津	079		28 NHK 総合		36 毎日テレビ		38 ABC テレビ	34 KBS 京都	40 関西テレビ	30 びわ湖放送	42 読売テレビ		46 NHK 教育
	彦根	080		52 NHK 総合		54 毎日テレビ		58 ABC テレビ		60 関西テレビ	56 びわ湖放送	62 読売テレビ		50 NHK 教育
京都	京都	081		2 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日テレビ		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK 教育
	舞鶴	082		51 NHK 総合		53 毎日テレビ		55 ABC テレビ	57 KBS 京都	59 関西テレビ		61 読売テレビ		49 NHK 教育
	福知山	083		50 NHK 総合		54 毎日テレビ		58 ABC テレビ	56 KBS 京都	60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK 教育
大阪	大阪	084		2 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日テレビ		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK 教育
兵庫	神戸	085		28 NHK 総合	19 テレビ大阪	18 毎日テレビ		20 ABC テレビ		22 関西テレビ	36 サンテレビ	24 読売テレビ		26 NHK 教育
	神戸灘	086		52 NHK 総合	19 テレビ大阪	54 毎日テレビ		56 ABC テレビ		58 関西テレビ	62 サンテレビ	60 読売テレビ		50 NHK 教育
	川西	087		29 NHK 総合		35 毎日テレビ		37 ABC テレビ		39 関西テレビ	33 サンテレビ	41 読売テレビ		31 NHK 教育

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
兵庫	三木	088		44 NHK 総合		34 毎日テレビ		38 ABC テレビ		40 関西テレビ	36 サンテレビ	42 読売テレビ		46 NHK 教育
	姫路	089		50 NHK 総合		54 毎日テレビ		58 ABC テレビ		60 関西テレビ	56 サンテレビ	62 読売テレビ		52 NHK 教育
	明石	090		51 NHK 総合	19 テレビ大阪	53 毎日テレビ		57 ABC テレビ		59 関西テレビ	55 サンテレビ	61 読売テレビ		49 NHK 教育
奈良	奈良	091		51 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日テレビ		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ	55 奈良テレビ	12 NHK 教育
	五条	092		43 NHK 総合		33 毎日テレビ		35 ABC テレビ		37 関西テレビ		39 読売テレビ	41 奈良テレビ	45 NHK 教育
和歌山	和歌山	093		32 NHK 総合		42 毎日テレビ	30 テレビ和歌山	44 ABC テレビ		46 関西テレビ		48 読売テレビ	55 奈良テレビ	26 NHK 教育
	海南・田辺	094		50 NHK 総合		54 毎日テレビ	56 テレビ和歌山	58 ABC テレビ		60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK 教育
鳥取	鳥取	095	1 日本海テレビ		3 NHK 総合	4 NHK 教育						22 山陰放送		24 山陰中央テレビ
島根	松江	096	30 日本海テレビ					6 NHK 総合		34 山陰中央テレビ		10 山陰放送		12 NHK 教育
	浜田	097		2 NHK 総合	54 日本海テレビ		5 山陰放送			58 山陰中央テレビ	9 NHK 教育			
岡山	岡山	098	35 岡山放送	23 テレビせとうち	3 NHK 教育		5 NHK 総合		25 瀬戸内海放送		9 西日本放送		11 山陽放送	
	津山	099	60 岡山放送	2 NHK 総合	56 テレビせとうち					62 瀬戸内海放送	58 西日本放送		7 山陽放送	12 NHK 教育
	笠岡	100	60 岡山放送	2 NHK 総合	19 テレビせとうち	4 NHK 教育		6 山陽放送	21 瀬戸内海放送		17 西日本放送			
広島	広島	101	31 テレビ新広島		3 NHK 総合	4 中国放送			7 NHK 教育		35 広島ホームテレビ			12 広島テレビ
	福山	102	54 テレビ新広島		3 NHK 教育		5 NHK 総合		7 中国放送		57 広島ホームテレビ		11 広島テレビ	
	尾道	103	1 NHK 総合	26 テレビ新広島					7 NHK 教育		24 広島ホームテレビ	10 中国放送		12 広島テレビ
	呉	104	1 NHK 教育	26 テレビ新広島			5 広島テレビ				9 中国放送	24 広島ホームテレビ	11 NHK 総合	
山口	山口	105	1 NHK 教育	28 山口朝日放送	35 広島ホームテレビ	4 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送		38 テレビ山口	31 テレビ新広島	9 NHK 総合	10 テレビ西日本	11 山口放送	37 福岡放送
	下関	106	41 NHK 教育	21 山口朝日放送		4 山口放送	23 TVQ 九州放送		33 テレビ山口		39 NHK 総合	10 テレビ西日本		
	宇部	107	14 NHK 教育	31 山口朝日放送					20 テレビ山口		16 NHK 総合	10 テレビ西日本	18 山口放送	
	岩国	108	1 NHK 教育	28 山口朝日放送					22 テレビ山口		9 NHK 総合		11 山口放送	
徳島	徳島	109	1 四国放送	19 テレビ大阪	3 NHK 総合	4 毎日テレビ	30 テレビ和歌山	6 ABC テレビ	36 サンテレビ	8 関西テレビ	9 西日本放送	10 読売テレビ	11 山陽放送	38 NHK 教育
香川	高松	110	19 テレビせとうち		39 NHK 教育	4 毎日テレビ	37 NHK 総合	6 ABC テレビ	33 瀬戸内海放送	8 関西テレビ	41 西日本放送	10 読売テレビ	29 山陽放送	31 岡山放送
	丸亀	111	16 テレビせとうち		40 NHK 教育		44 NHK 総合		42 瀬戸内海放送		20 西日本放送		18 山陽放送	22 岡山放送
愛媛	松山	112	23 テレビせとうち	2 NHK 教育	12 広島テレビ	35 広島ホームテレビ	31 テレビ新広島	6 NHK 総合	25 愛媛朝日テレビ	29 あいテレビ	9 西日本放送	10 南海放送	11 山陽放送	37 愛媛放送
	新居浜	113	23 テレビせとうち	2 NHK 総合	12 広島テレビ	4 NHK 教育	31 テレビ新広島	6 南海放送	14 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ	9 西日本放送	35 広島ホームテレビ	11 山陽放送	36 愛媛放送
	今治	114		32 NHK 総合		30 NHK 教育		34 南海放送	17 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ				36 愛媛放送
	宇和島	115	1 NHK 教育					6 NHK 総合	16 愛媛朝日テレビ	34 あいテレビ		10 南海放送		32 愛媛放送
高知	高知	116				4 NHK 総合		6 NHK 教育		8 高知放送		38 テレビ高知	40 高知さんさんテレビ	
福岡	福岡	117	1 九州朝日放送	36 サガテレビ	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送	6 NHK 教育			9 テレビ西日本		11 熊本放送	37 福岡放送
	久留米	118	57 九州朝日放送		46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	14 TVQ 九州放送	54 NHK 教育			60 テレビ西日本			52 福岡放送
	大牟田	119	58 九州朝日放送		53 NHK 総合	61 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送	50 NHK 教育			55 テレビ西日本			43 福岡放送
	北九州	120		2 九州朝日放送	35 福岡放送	36 サガテレビ	23 TVQ 九州放送	6 NHK 総合		8 RKB 毎日放送		10 テレビ西日本	11 熊本放送	12 NHK 教育
	行橋	121		57 九州朝日放送	43 福岡放送		19 TVQ 九州放送	49 NHK 総合		60 RKB 毎日放送		54 テレビ西日本		46 NHK 教育
佐賀	佐賀	122	57 九州朝日放送	40 NHK 教育	52 福岡放送	36 サガテレビ	14 TVQ 九州放送	34 テレビ熊本	5 長崎放送	48 RKB 毎日放送	38 NHK 総合	60 テレビ西日本	11 熊本放送	
長崎	長崎	123	1 NHK 教育	57 九州朝日放送	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	5 長崎放送	34 テレビ熊本	25 長崎国際テレビ	9 テレビ西日本	27 長崎文化放送	11 熊本放送	37 テレビ長崎	22 熊本県民テレビ
	佐世保	124		2 NHK 教育					17 長崎国際テレビ	8 NHK 総合	31 長崎文化放送	10 長崎放送	35 テレビ長崎	
	諫早	125	45 NHK 教育		47 NHK 総合		49 長崎放送		20 長崎国際テレビ		24 長崎文化放送		42 テレビ長崎	
熊本	熊本	126	1 九州朝日放送	2 NHK 教育	16 熊本朝日放送	22 熊本県民テレビ	5 長崎放送	34 テレビ熊本	37 テレビ長崎	36 サガテレビ	9 NHK 総合	19 TVQ 九州放送	11 熊本放送	4 RKB 毎日放送
大分	大分	127	24 大分朝日放送	38 テレビ山口	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	5 大分放送	10 南海放送	36 テレビ大分	37 福岡放送	9 テレビ西日本	19 TVQ 九州放送	11 山口放送	12 NHK 教育
	中津	128	17 大分朝日放送		48 NHK 総合		51 大分放送		37 テレビ大分					45 NHK 教育
宮崎	宮崎	129	1 南日本放送		35 テレビ宮崎				32 鹿児島放送	8 NHK 総合	38 鹿児島テレビ	10 宮崎放送		12 NHK 教育
	延岡	130	1 南日本放送	2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 宮崎放送	32 鹿児島放送	39 テレビ宮崎	38 鹿児島テレビ			
鹿児島	鹿児島	131	1 南日本放送	34 テレビ熊本	3 NHK 総合	35 テレビ宮崎	5 NHK 教育	10 宮崎放送	32 鹿児島放送	22 熊本県民テレビ	38 鹿児島テレビ	16 熊本朝日放送	11 熊本放送	30 鹿児島読売テレビ
	阿久根	132		34 テレビ熊本		23 鹿児島放送	17 鹿児島読売テレビ	35 鹿児島テレビ	22 熊本県民テレビ	8 NHK 総合	16 熊本朝日放送	10 南日本放送	11 熊本放送	12 NHK 教育
	鹿屋	133		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 南日本放送	31 鹿児島放送		33 鹿児島テレビ			25 鹿児島読売テレビ
沖縄	那覇	134		2 NHK 総合						8 沖縄テレビ		10 琉球放送	28 琉球朝日放送	12 NHK 教育

地上デジタル放送チャンネル一覧表

お住まいの地域	北海道(札幌)		北海道(函館)		北海道(旭川)		北海道(帯広)		北海道(釧路)		北海道(北見)		北海道(室蘭)	
放送局名	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・函館	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・帯広	3	NHK総合・釧路	3	NHK総合・北見	3	NHK総合・室蘭
	2	NHK教育・札幌	2	NHK教育・函館	2	NHK教育・旭川	2	NHK教育・帯広	2	NHK教育・釧路	2	NHK教育・北見	2	NHK教育・室蘭
	1	HBC札幌	1	HBC函館	1	HBC旭川	1	HBC帯広	1	HBC釧路	1	HBC北見	1	HBC室蘭
	5	STV札幌	5	STV函館	5	STV旭川	5	STV帯広	5	STV釧路	5	STV北見	5	STV室蘭
	6	HTB札幌	6	HTB函館	6	HTB旭川	6	HTB帯広	6	HTB釧路	6	HTB北見	6	HTB室蘭
	8	UHB札幌	8	UHB函館	8	UHB旭川	8	UHB帯広	8	UHB釧路	8	UHB北見	8	UHB室蘭
	7	TVH札幌	7	TVH函館	7	TVH旭川	7	TVH帯広	7	TVH釧路	7	TVH北見	7	TVH室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島		青森		東京	
放送局名	3	NHK総合・仙台	1	NHK総合・秋田	1	NHK総合・山形	1	NHK総合・盛岡	1	NHK総合・福島	3	NHK総合・青森	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・仙台	2	NHK教育・秋田	2	NHK教育・山形	2	NHK教育・盛岡	2	NHK教育・福島	2	NHK教育・青森	2	NHK教育・東京
	1	TBCテレビ	4	ABS秋田放送	4	YBC山形放送	6	IBCテレビ	8	福島テレビ	1	RAB青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT秋田テレビ	5	YTS山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB秋田朝日放送	6	テレビュー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビュー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	東京MXテレビ
													12	放送大学

お住まいの地域	神奈川		群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉		長野	
放送局名	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・水戸	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・長野
	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	5	ABN長野朝日放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	6	SBC信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	8	NBS長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京		
	3	TVKテレビ	3	群馬テレビ	12	放送大学	3	ちばテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレビ埼玉		
	12	放送大学	12	放送大学			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学		

お住まいの地域	新潟		山梨		大阪		京都		兵庫		和歌山		奈良	
放送局名	1	NHK総合・新潟	1	NHK総合・甲府	1	NHK総合・大阪	1	NHK総合・京都	1	NHK総合・神戸	1	NHK総合・和歌山	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・新潟	2	NHK教育・甲府	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪
	6	BSN	4	YBS山梨放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	8	NST	6	UTY	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ
	4	TeNYテレビ新潟			8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	5	新潟テレビ21			10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ
					7	テレビ大阪	5	KBS京都	3	サンテレビ	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ

■デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、ＢＳアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

お住まいの地域	滋賀		広島		岡山		香川		島根		鳥取		山口	
放送局名	1	NHK総合・大津	1	NHK総合・広島	1	NHK総合・岡山	1	NHK総合・高松	3	NHK総合・松江	3	NHK総合・鳥取	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・広島	2	NHK教育・岡山	2	NHK教育・高松	2	NHK教育・松江	2	NHK教育・鳥取	2	NHK教育・山口
	4	MBS毎日放送	3	RCCテレビ	4	RNC西日本テレビ	4	RNC西日本テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY山口放送
	6	ABCテレビ	4	広島テレビ	5	KBS瀬戸内海放送	5	KSB瀬戸内海放送	6	BSSテレビ	6	BSSテレビ	3	TYSテレビ山口
	8	関西テレビ	5	広島ホームテレビ	6	RSKテレビ	6	RSKテレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	YAB山口朝日
	10	よみうりテレビ	8	TSS	7	テレビせとうち	7	テレビせとうち						
	3	BBCびわ湖放送			8	OHKテレビ	8	OHKテレビ						

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
放送局名	3	NHK総合・名古屋	3	NHK総合・津	3	NHK総合・岐阜	1	NHK総合・金沢	1	NHK総合・静岡	1	NHK総合・福井	3	NHK総合・富山
	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・金沢	2	NHK教育・静岡	2	NHK教育・福井	2	NHK教育・富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBCテレビ	1	KNB北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT富山テレビ
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	MRO	4	静岡第一テレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
放送局名	1	NHK総合・松山	3	NHK総合・徳島	1	NHK総合・高知	3	NHK総合・福岡	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・長崎	3	NHK総合・鹿児島
	2	NHK教育・松山	2	NHK教育・徳島	2	NHK教育・高知	3	NHK総合・北九州	2	NHK教育・熊本	2	NHK教育・長崎	2	NHK教育・鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHK教育・福岡	3	RKK熊本放送	3	NBC長崎放送	1	MBC南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHK教育・北九州	8	TKUテレビ熊本	8	KTNテレビ長崎	8	KTS鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC九州朝日放送	4	KKTくまもと県民	5	NCC長崎文化放送	5	KKB鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB毎日放送	5	KAB熊本朝日放送	4	NIB長崎国際テレビ	4	KYT鹿児島讀賣TV
							5	FBS福岡放送						
							7	TVQ九州放送						
							8	TNCテレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄							
放送局名	1	NHK総合・宮崎	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・佐賀	1	NHK総合・那覇						
	2	NHK教育・宮崎	2	NHK教育・大分	2	NHK教育・佐賀	2	NHK教育・那覇						
	6	MRT宮崎放送	3	OBS大分放送	3	STSサガテレビ	3	RBCテレビ						
	3	UMKテレビ宮崎	4	TOSテレビ大分			5	QAB琉球朝日放送						
			5	OAB大分朝日放送			8	沖縄テレビ(OTV)						

（2003年6月現在）

■表の見方

お知らせ

- 地域コードによる設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別チャンネル設定（→46ページ）を行ってください。

画面に表示されるアイコンの説明

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示している画面の情報をお知らせします。
主なアイコンと内容は次のとおりです。

番組内容画面

アイコン	内容
テレビ	デジタルテレビ放送（映像＋音声）番組。
データ	データ放送番組。
+d テレビ	デジタル放送で、番組に合わせたデータ放送を行っている番組。
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組に合わせたデータ放送を行っている番組。
信号	映像、音声、データのいずれかを信号切り換えできる番組。
主	二重音声信号があり、「主」を選択している場合。
モノラル	モノラル音声の番組。
ステレオ	ステレオ音声の番組。
デジタル XCOPY	デジタルコピーガードされている番組。（i.LINK で録画できません）
アナログ XCOPY	アナログコピーガードされている番組。（アナログ録画できません）
デジタル 1COPY	１回のみデジタル録画ができる番組。（録画後、ダビングできません）
デジタル X出力	i.LINK端子からデジタル信号を出力しない番組。（録画できません）
アナログ X出力	モニター／録画出力端子から映像・音声信号を出力しない番組。（録画できません）
ラジオ	ラジオ放送の番組。
臨時	予定外の臨時ニュースなどの番組。
d テレビ	デジタルテレビ放送（映像+音声）番組で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
16:9 1125i	番組の映像信号情報。（上：アスペクト比、下：信号方式）
副	二重音声信号があり「副」を選択している場合。
主+副	二重音声信号があり「主＋副」を選択している場合。
有料	有料の信号を含む番組。（ペイ・パー・ビュー番組）
無料	無料の番組。
マルチビュー	マルチビュー放送の番組。
字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組。
20才～	視聴年齢制限がある番組。（表示される年令：４～20才）

予約一覧画面

アイコン	内容
見るだけ	見るだけ予約をした番組。
録画 i.LINK / 録画 D-VHS / 録画 HDR / 録画 Ir	録画予約をした番組。（下：録画機器、または録画方式）
録画	上記以外の機器で録画予約をした番組。
月~土 / 月~金 / 毎日 / 毎週	毎週、毎日、曜日指定で予約をした番組。
重複	予約時間が重なっていたときの、優先順位が低い番組。
録画済 / 視聴済	予定通り終了した、録画・見るだけ予約の番組。
録画実行中 / 視聴実行中	現在、実行中の録画・見るだけ予約の番組。
変更	番組の放送開始時間を変更して予約が実行された番組。
検索中	時間変更追従の実行中に表示。（時間確認中）
取消	お客様の操作や録画機器状態により、録画が取り消されたときに表示。
警告	予約実行の中断、時間の変更、指定された信号で録画できない、録画機器が正しく動作していないなどのときに表示。
PPV	有料の信号を含む番組。（ペイ・パー・ビュー番組）
リレー	イベントリレー予約が実行された番組。（→ 105 ページ）

番組ジャンル

ジャンル別に番組を検索するときに選びます。（→ 98 ページ）

アイコン	内容
（映画アイコン）	映画
（ドラマアイコン）	ドラマ
（スポーツアイコン）	スポーツ
（音楽アイコン）	音楽
（バラエティアイコン）	バラエティ
（情報アイコン）	情報・ワイドショー
（ニュースアイコン）	ニュース・報道
（アニメアイコン）	アニメ・漫画
（ドキュメンタリーアイコン）	ドキュメンタリー・教養
（劇場アイコン）	劇場・公演
（趣味アイコン）	趣味・教育
（福祉アイコン）	福祉

上記とは別に、ジャンル名をイラスト化したアイコンがあります。

その他の画面

アイコン	内容
4才～	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだとき、設定している視聴可能年齢を「暗証番号入力」画面に表示。
有料	一番組限度額の設定より高い金額の番組を選んだとき、「暗証番号入力」画面に表示。
（未読メールアイコン）	お客様がまだ読まれていないメール。（未読メール）
（既読メールアイコン）	お客様が既に読まれたメール。（既読メール）
（電話アイコン）	本機が電話回線を使用中のときに表示。

お知らせ

- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンが表示されないことがあります。
- 「デジタル 1COPY」のアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。

おもな仕様

型番			PDP-505HDL/PDP-505HDS	PDP-435HDL/PDP-435HDS
型名			デジタルハイビジョンプラズマテレビ	
受信チャンネル	地上アナログ		VHF1～12チャンネル／UHF13～62チャンネル／CATV C13～C63チャンネル	
	デジタル放送		BSデジタル000～999チャンネル／110度CSデジタル000～999チャンネル／ 地上デジタル000～999チャンネル	
ディスプレイパネル （画面寸法）			50V型AC方式プラズマパネル （幅109.8cm、高さ62.1cm、対角126.1cm）	43V型AC方式プラズマパネル （幅95.2cm、高さ53.6cm、対角109.3cm）
画素数			1280×768	1024×768
音声出力			13W＋13W（1kHz、10%、8Ω）	
スピーカー			（PDP-505HDL／PDP-435HDL） 低音用（ウーファー）：長円コーン形、高音用（トゥイーター）：2cmソフトドーム形 （PDP-505HDS／PDP-435HDS） 低音用（ウーファー）：長円コーン形、高音用（トゥイーター）：2.5cmソフトドーム形	
定格電圧			AC100V	
定格周波数			50/60Hz	
消費電力			377W	326W
		スタンバイ（リモコン待機）時	0.5W	0.5W
		機能待機時	27W（アンテナ電源「オン」時）	27W（アンテナ電源「オン」時）
入出力端子	VHF/UHF （地上アナログ）アンテナ	入力	1系統、75ΩF型コネクター	
		出力	1系統、75ΩF型コネクター	
	地上デジタルアンテナ入力		1系統、75ΩF型コネクター／CATVパススルー対応（UHF）	
	BS・110度CSデジタルアンテナ入力		1系統、75ΩF型コネクター	
		アンテナ電源出力	DC15V　最大4W（DC11V　最大3W）	
	ビデオ入力	映像	1.0Vp-p、75Ω、同期負	
		S2映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75Ω、同期負 色（C）信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω	
		D4映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75Ω、同期負 色差（C_B/P_B、C_R/P_R）信号：0.7Vp-p（カラー100%）、75Ω	
		音声	0.5Vrms、22kΩ以上	
		HDMI端子（ビデオ3入力）	1系統	
	モニター／録画出力	映像	1.0Vp-p、75Ω、同期負	
		S2映像	輝度（Y）信号：1.0Vp-p、75Ω、同期負 色（C）信号：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω	
		音声	0.5Vrms、1kΩ	
	デジタル音声出力（光）		1系統（角型）	
	音声出力		0.5Vrms、1kΩ	
	サブウーファー出力		0.5Vrms（100Hz、音量最大時）、1kΩ	
	ヘッドホン出力	（16～32Ω推奨）	0.5Vrms（音量最大時）、32Ω	
	電話回線（モジュラー）端子		1系統、2400bps	
	i.LINK（TS）端子		2系統、S400	
	Irシステム端子		1系統	
	コントロール端子	入力	1系統	
		出力	1系統	
	パソコン（PC）入力	RGB映像 （DDC2B対応）	RGB信号：0.7Vp-p、75Ω、同期なし 同期信号（HD/VD）：TTLレベル（1～5Vp-p、）、2.2kΩ、正負極性	
		音声（ステレオミニ）	0.5Vrms、22kΩ以上	
LAN(10BASE-T)端子			1系統	
SDカードスロット			1系統	
外形寸法	ディスプレイ部	スピーカー取り外し時	幅1270mm、奥行　93mm、高さ737mm	幅1120mm、奥行　93mm、高さ652mm
		HDL　ダイレクト取付時	幅1462mm、奥行　93mm、高さ737mm	幅1312mm、奥行　93mm、高さ652mm
		HDL　ワイド取付時	幅1500mm、奥行　93mm、高さ737mm	幅1350mm、奥行　93mm、高さ652mm
		HDS　サイド取付時	幅1438mm、奥行100mm、高さ737mm	幅1288mm、奥行100mm、高さ652mm
		HDS　アンダー取付時	幅1270mm、奥行100mm、高さ833mm	幅1120mm、奥行100mm、高さ748mm
	メディアレシーバー部		幅　420mm、奥行295mm、高さ　90mm	
質量	ディスプレイ部	スピーカー取り外し時	32.8kg	26.8kg
		HDL　取り付け時	ワイド取付時37.8kg	ワイド取付時31.5kg
		HDS　取り付け時	アンダー取付時36.4kg	アンダー取付時30.2kg
	メディアレシーバー部		5.6kg	

■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

ブラウザ仕様

記述言語	HTML4.0準拠	モノメディア（静止画）	JPEG、PNG、GIF
スタイルシート規格	CSS1/CSS2（Subset）	プラグイン	なし
動作記述言語	JavaScript 1.4/ECMA Script (ECMA-262)	文字入力 外部入出力	画面キーボード方式、携帯（リモコン）方式 メモリーカード（SDカード）
セキュア通信	SSL 2.0/SSL 3.0/TLS 1.0	画面解像度	800×450
Cookie	バージョン0	カラーモデル	フルカラー

本機で使用している特許など

• 本機は、MPEG2 AAC に関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,54	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

• あなたが DVD レコーダーなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかには、著作権法上権利者に無断で使用できません。

• 本機が記憶したメールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報が、万一、本機の不具合によって消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

• This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

• 本機では画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。
※ Font Avenue は NEC の登録商標です。

• 本機で使用しているソフトウェアに関する情報は、デジタル放送受信中に番組ナビボタンを押し、メール / 情報→ ID 表示→ソフト情報表示をご覧ください。

• D-VHS は、日本ビクター株式会社の登録商標です。

• i.LINK（アイリンク）と i.LINK ロゴ は、ソニー株式会社の商標です。

• SD ロゴは商標です。

• CP8　PATENT

• Tnavi ロゴは登録商標です。

• SRS WOW は、SRS Labs, Inc. の商標です。
WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

• HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

• 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

• 録画をする場合はビデオ録画機器が必要です。

• 日本語交換はオムロンソフトウェア(株)のモバイル Wnn を使用しています。
"Mobile Wnn" ©OMRON SOFTWARE Co., Ltd　1999-2002 All rights Reserved

本取扱説明書に記載されている企業名や製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
また、各社の商標および登録商標について、特に注記のない場合でも、これを尊重いたします。

用語の解説

■ 110 度 CS デジタル放送
BS デジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経 110 度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ 1125i
走査線 1125 本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 16：9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の４：３映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線 525 本、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）や BS アナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線 525 本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線 750 本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ ADSL
電話線を使ったブロードバンド接続方式の一種です。プロバイダーや回線業者との契約が必要です。

■ ADSL モデム
本機やパソコンなどを、ADSL回線などと接続するための機器です。ブロードバンドルーター機能があるものとないものがあります。

■ B-CAS カード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合や NHK との受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BS デジタル放送
2000 年 12 月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来の BS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。2004年４月以降はB-CASカードを常時挿入していないと視聴できなくなります。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ CPRM
CPRM（Content Protection for Recordable Media）はレコーダブルメディア向けに開発された著作権保護技術です。「１回だけ録画可能」、「録画禁止 / コピー禁止」などを制限できます。

■ DCF(Design rule for Camera File system)
デジタルカメラの統一フォーマットとして JEITA（電子情報技術産業協会）によって制定された画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器間で画像ファイルを相互に利用することが簡単にできます。

■ D 端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）を３本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを、１本のケーブルで接続できるようにしたのが D 端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によって D1 〜 D5 の規格があり（本機は D4 に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
HDMIは、家電向けのデジタルインターフェイス規格です。映像のほかにマルチチャンネルオーディオ信号や制御信号を１本のケーブルで伝送できます。

■ i.LINK（アイリンク）

IEEE1394 の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際標準規格です。
i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINK ケーブル 1 本で接続することができます。
現在、100Mbps/200Mbps/400Mbps の転送速度があり、それぞれS100/S200/S400 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送速度が可能です。

■ IP アドレス

ネットワーク（インターネットなど）に接続された機器に割り振られている識別番号のことです。家庭では、ブロードバンドルーターなどの DHCP 機能を使って、自動的に割り振るのが一般的です。（例：192.168.0.1）

■ Ir システム

Ir（Infrared：赤外線）で制御するシステムです。
メディアレシーバーの背面のIrシステム端子に、付属のIrシステムケーブルを接続して、リモコン発光部を録画機器のリモコン受光部に向けて設置することにより、本機に接続された録画機器で、デジタル放送の番組を簡単に録画するシステムです。

■ MAC アドレス

本機に内蔵している Ethernet カードに与えられている固有の ID 番号のことです。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル動画圧縮技術の符号化方式の 1 つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、およそ40分の 1 に圧縮することができます。

■ MPEG2 AAC（MPEG2 Advanced Audio Coding）

MPEG2 音声圧縮技術の符号化方式の 1 つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ NTSC（National Television System Committee）

日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒 30 フレーム（フィールド周波数 60Hz）、走査線数 525 本のインターレース方式です。

■ PCM（Pulse Code Modulation）

アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の 1 つです。音楽 CD は、この方式を利用しています。

■ S1/S2 映像

セパレート（S）映像信号に、画面比率４：３で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、16：９の映像素材を横方向に圧縮して４：３にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「ズーム」に、スクイーズは「フル」になります。

■ アドレス（URL）

インターネット上のページを指定するときの名前です。（例：http://www.pioneer.co.jp）

■ インターレース（飛び越し走査）

NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます（この１画面を１フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線 525 本の 1 枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース（interlace）を表します。

■ ゲートウェイアドレス

通信手順が違うネットワークどうしを接続するための機器のIPアドレスのことです。通常は、ブロードバンドルーターの IP アドレスを指します。（例：192.168.0.1）

■ コンポジット接続

通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は１つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の３色に分かれたケーブルを使うのが一般的です。

■ サブネットマスク

ネットワークを効率的に使うため、ブロードバンドルーターにつないだ機器の IP アドレスを絞り込むための数値です。（例：255.255.255.0）

■ スプリッター

電話回線の信号を、ネットワーク用と電話用とに分ける機器のことです。

■ 地上デジタル放送

UHF帯の電波を使ったデジタル放送で、2003年12月より一部の地域で放送が開始され、徐々に全国に拡大されます。従来の地上アナログ放送に比べ高画質と高音質、そしてデータ放送が特長です。

■ データ放送

デジタル放送の一種です。静止画像や文字によって視聴者参加型の双方向的な番組を楽しむことができます。デジタルテレビ放送などと連動したデータ連動放送と、独立データ放送の2種類のデータ放送があります。

■ 電子番組表

デジタル放送では、映像や音声のほかに番組情報も一緒に送られてきます。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示することができます。この番組表を電子番組表と呼びます。電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。本書では、「番組表」と記載しています。

■ ハイビジョン放送

高画質放送のことです。現行の地上アナログ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。

■ ハブ

複数の機器をネットワークに接続するための機器です。

■ ブラウザ

インターネット上のページを表示するためのソフトウェアです。本機には、あらかじめTナビ用のブラウザが入っています。

■ ブロードバンド

いつでもインターネットを楽しめるADSLなどのインターネット接続環境です。電話モデムを使うのに比べて、高速なアクセスができます。

■ ブロードバンドルーター

複数の機器を同時にインターネットに接続するための機器です。ルーターの接続や設定についての詳細は、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

■ プライマリDNS、セカンダリDNS

インターネット上で、機器の名前にあたるドメイン名を、住所にあたるIPアドレスに変換するコンピューターのことです。本機は、このコンピューターのアドレスを2つまで登録することができます。

■ プロキシサーバー

企業などの内部ネットワークにあるコンピューターの「代理」として、直接インターネットとの接続を行うサーバーのことです。プロキシサーバーの指定があるときに、設定が必要です。

■ プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、ちらつきのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を表します。

■ プロバイダー

電話回線やケーブルに接続した機器をインターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。

■ ペイ・パー・ビュー

番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ ポータルサイト

Tnaviを押したときに最初に表示されるホームページのことです。（ポータルとは、入口、玄関という意味です。）

■ ラジオ放送（デジタル音声放送）

デジタル放送の一種です。音楽CD並みの高音質な放送です。

索引

●数字・アルファベット

●あ行

●か行

●さ行

索引

その他

メニュー項目一覧

テレビ、ビデオ

映像の調整	
ＡＶセレクション	→90ページ
標準	→90ページ
ダイナミック	→90ページ
映画	→90ページ
ゲーム	→90ページ
AVメモリー	→90ページ
映像	→91ページ
明るさ	→91ページ
色の濃さ	→91ページ
色あい	→91ページ
画質	→91ページ
プロ設定	
ピュアシネマ	→92ページ
色温度	→92ページ
MPEG NR	→92ページ
DNR	→94ページ
CTI	→94ページ
DRE	→94ページ
カラーマネージメント	→94ページ
初期状態に戻す	→92ページ
音声の調整	
高音	→96ページ
低音	→96ページ
バランス	→96ページ
初期状態に戻す	→95ページ
FOCUS	→96ページ
フロントサラウンド	→96ページ
SRS	→96ページ
TruBass	→96ページ
省エネの設定	
消費電力	→83ページ
標準	→83ページ
省エネ	→83ページ
消画	→83ページ
無信号オフ	→83ページ
無操作オフ	→83ページ
おやすみタイマー	→84ページ
その他の設定	
画面位置の調整	→97ページ
水平・垂直位置	→97ページ
初期状態に戻す	→97ページ
S2対応	→86ページ
アナログ接続の設定	→67ページ
サイドマスクの設定	→97ページ
HDMI入力設定	→66ページ
モニター出力の設定	→65ページ
デジタルシステム設定	
字幕の設定	→100ページ
制限項目設定	→112ページ
視聴可能年齢	→112ページ
一番組限度額	→112ページ
ブラウザ制限	→112ページ
暗証番号変更	→112ページ
暗証番号取消し	→112ページ
文字入力設定	
入力方法	→119ページ
リモコンボタン	→119ページ
画面キーボード	→121ページ
変換方式	→119ページ
選局対象	→52ページ

初期設定	
かんたん設置	→41ページ
アナログチューナーの設定	
一括チャンネル設定	→44ページ
自動チャンネル設定	→45ページ
チャンネル設定結果	→45ページ
個別チャンネル設定	→46ページ
デジタルチューナーの設定	
チャンネル設定	→47ページ
地域設定	→53ページ
アンテナ設定	→54ページ
電話設定	→56ページ
B-CASカードテスト	→58ページ
ネットワーク設定	→60ページ
ブラウザ設定	→63ページ
受信設定	→58ページ
接続機器関連設定	
i.LINK接続設定	→68ページ
Irシステム設定	→70ページ
i.LINK待機	→69ページ
デジタル音声出力	→65ページ
i.LINK自動切換	→68ページ
自動更新設定	→72ページ
設定リセット	
設定項目リセット	→73ページ
個人情報リセット	→73ページ
番組ナビ	
番組を探す	
番組表で	→76ページ
今放送中から	→98ページ
ジャンル別に	→98ページ
予約する	
番組表で	→103ページ
ジャンル別に	→98ページ
プログラム予約で	→108ページ
予約一覧	→108ページ
録画・視聴設定	→108ページ
時間変更追従	→108ページ
マルチビュー録画	→108ページ
機器を操作する	→114ページ
メモリーカード	
マルチ表示	→126ページ
シングル表示	→126ページ
スライド表示	→127ページ
メール/情報	→109ページ
放送メール	→110ページ
購入記録	→110ページ
購入記録送信結果	→110ページ
双方向通信一覧	→110ページ
B-CASカード	→111ページ
ID表示	→111ページ
ボード	→111ページ
お好みページ	→111ページ
便利機能	→89ページ
視聴制限一時解除	→89ページ
データ放送表示オフ	→89ページ
信号切換	→89ページ
アンテナレベル	→89ページ
枝番選局	→89ページ

パソコン（PC）

映像の調整	
AVセレクション	→90ページ
映像	→123ページ
明るさ	→123ページ
Ｒレベル	→123ページ
Ｇレベル	→123ページ
Ｂレベル	→123ページ
初期状態に戻す	→92ページ
音声の調整	
高音	→96ページ
低音	→96ページ
バランス	→96ページ
初期状態に戻す	→95ページ
FOCUS	→96ページ
フロントサラウンド	→96ページ
SRS	→96ページ
TurBass	→96ページ
省エネの設定	
消費電力	
標準	→83ページ
省エネ	→83ページ
消画	→83ページ
パワーマネージメント	→124ページ
その他の設定	
画面の自動調整開始	→124ページ
画面の手動調整	
水平・垂直位置	→124ページ
クロック周波数	→124ページ
クロック位相	→124ページ
初期状態に戻す	→124ページ

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を1度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名 ②ご購入日 ③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

● **ホームページ　商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内**
http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、ＰＨＳ、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）
受付　月曜～金曜　9：30～ 17：00、土曜・日曜・祝日　9：30 ～12：00、13：00～ 17：00 （弊社休業日は除く）
家庭用オーディオ／ビジュアル商品の
お問い合わせ及びカタログのご請求窓口： **0070-800-8181-22**
一般電話：**03-5496-2986**　ファックス受付：**03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

● **部品受注センター**
受付　月曜～金曜　9：30 ～18：00、 土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00 （弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）： **0120-5-81095**
一般電話：**0538-43-1161**　ファックス（フリーダイヤル）： **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

● **修理受付センター**（沖縄県を除く全国）
受付　月曜～金曜　9：30～20：00、 土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00 （弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）： **0120-5-81028**（ゴーパイオニア）
一般電話：**03-5496-2023**　ファックス（フリーダイヤル）： **0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜　9：30～18：00 （土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
一般電話：**098-879-1910**　ファックス：**098-879-1352**

お客様メモ

● 覚えのため記入されますと便利です。

ご購入店名	電話番号	お近くのご相談窓口	
ご購入年月日	年　月　日		

JIS C 61000 -3-2適合品

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<04D10001> <ARA1333-A>